

081.7
N627
H
00253461



Kodak Gray Scale



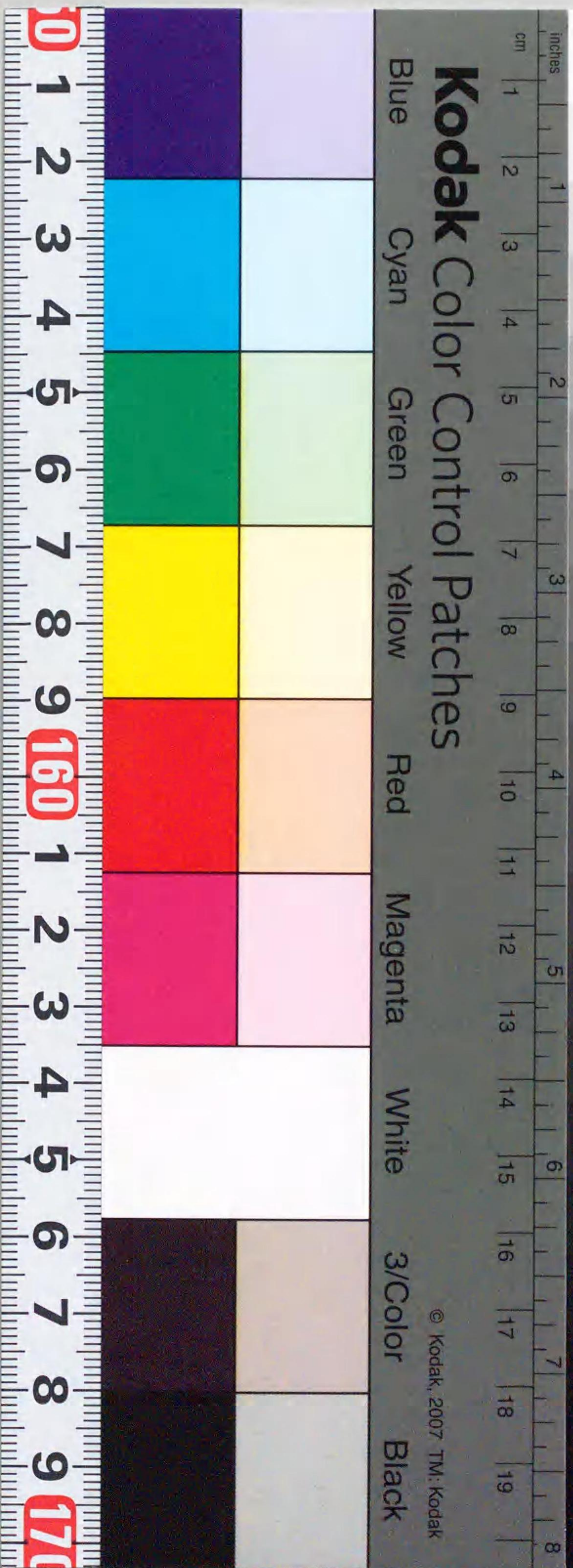
© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak





新橋

浪連齋書

第九

浪連兼書

第九

081.7 V 627H

大政高業史資料



253461

解題

一 此の『大阪商業史資料』については、當初、内容見本に於て、説明いたしました如く、原本は大阪商工會議所の所藏で、未刊行のものに屬し、總冊數三十五冊、その總丁數は八千七百餘にも上る大部のもので、完成までに多大の經費と少なからざる歲月とを要したことは略ぼ想像されます。この三十五冊の内容は、商業に關する各種の材料、即ち御用金、金融、統計等に屬する諸件を始め、商工業諸職の沿革、諸組合仲間問屋及其規約、外國貿易、商業上の慣例、運輸及船舶、米穀、生魚、鹽魚、干魚、鱈節、薪炭并に石油、製油及油商、肥料商、質、古道具并に貨物業、酒、醬油、鹽、菓子、餅、昆布、茶、烟草、砂糖、藥種、その他萬般の大阪商業に關する最も確實なる調査を集めたもので、既刊の『大阪商業習慣録』よりも、量に於て遙かに多く、その質に於ても優れる點が多く認められます。まかし總丁數八千七百餘、字數にして五百幾十萬字といふ大部のものゆゑ、これを全部我が浪速叢書に収録するには、約拾冊の分量がございませうから、こゝには、その卷九、十、十一、十二の四冊、即ち本書の最重要部分たる『諸組合仲間問屋及其規約』、『工業商業諸職沿革』、『外國貿易、商業上の慣例』の諸項目を收めて、本

叢書第九を刊行することに致しました。

一 聞く所によりますと、此の『大阪商業史資料』が、編纂に着手されたは明治二十年頃からのこととで、その材料の蒐集が多方面に亙つてゐるだけ、その結果、文體や辭句の用方が多種多様で、まかそもその編纂に就て少しも技巧を弄さず、集まるまゝに單にこれを類別したゞけで、何等統一されてゐませんが、それが却つて興味の津々たるものを覚えしめるのでございます。唯だ遺憾なことは、材料の出所不明なものが少なからぬ點ですが、これは今日、やむを得ないこと、諦めるより外はございません。それと、この『大阪商業史資料』の全部を、我が刊行會に於て翻刻することが出來ず、僅かにその十が一に止めて置かなければならぬのも残念の至りですが、これまた今日のところ、到底不可能のこと、讀者各位の御了承を希ふ次第でございます。

一 此の『大阪商業史資料』を本叢書中に加へることについては、本會相談役佐古慶三氏が、熟慮の末の推薦にかゝり、亦其全部のうち、卷九、十、十一、十二を撰んだのも、同氏の意見を徵し、更に本會に於て、本書の全部を調査し、この四冊を、本叢書の商業篇とするに最も當を得たものと認めて刊行することに致しました。本會は、相談役としての佐古氏の勞を茲に深く謝する次第でございます。氏は又別に、この『大阪商業史資料』全部の中から、その粹中の粹を抽

き、新に商業篇を編しては如何との意見を洩らされたこともありますが、新に編纂するといふことは、本會當初よりの趣旨ではありませんから、遺憾ながら此の點は見合せ、全部のうちより、主要と認むる此の四冊を收めることにした次第であります。

一 此の『大阪商業史資料』卷九の中に『天保度改革の由來』と題した記事が、四十五丁に亙り收載されてゐます。まかしこれは故福地櫻痴居士の筆に成る小説『水野閣老』の或る一章、或る一節を、其所此所と抜書したものでありますから、これのみは特に省略することに致しました。

一 本冊、最初の頁、『大阪商業史資料』の表題文字は、原本の題簽をそのまゝ、凸版に撮つたものです。

昭和四年二月

大阪商業史資料 目錄

諸組合仲間問屋及其規約……………自一頁至三六頁

- 正徳年間ノ大阪問屋 正徳年間ノ大阪諸商仲買 明和年間ノ諸商株數統計 明和年間ノ大阪商業仲間
- 明和年代ノ大阪諸商株 問屋唱之儀ニ付御觸 大阪ノ商業組織(元文、寛保) 諸商申合停止(明和)
- 爲申合印形帳寫(天明) 兵庫瀬戸内仲買方出買之引合(天明) 石問屋(明和) 疊表問屋(安永) 灰屋仲間(安永)
- 諸株仲間名稱(天明頃) 灰問屋 石灰 株元年行司同支配方同月行司四町中買年番名前帳并行司支配方心得
- 組合仲間濫觴(嘉永) 諸國荷受問屋(安永、嘉永) 薩摩問屋商記録(嘉永) 薩州小問屋仲間名前帳(嘉永)
- 荷受問屋商規則(明治) 箱館生産取扱規則(明治) 干鯛一條ニ付テ書類(明治) 荒物染草問屋(寶曆——明治)
- 舶來物品問屋附仲買規則ノ事(天文——明治) 問屋ニ關スル唱方(天保) 轆轤挽物仲間取締印形帳同申合(安政)
- 株仲間ノ濫觴(嘉永) 明和年間ノ商業組合 株仲間再興(嘉永) 爲取替一札(嘉永) 足袋漿束屋仲間定(安政)
- 足袋商 大阪足袋屋總代願書(寛政) 乾物商 煙草問屋 藥種問屋 麻苧商仲間 砥石硯問屋
- 組合ノ種類(御免株、願株其他) 吳服壹番組 吳服二番組 吳服現金正札ノ初 問屋仲間ノ區別及賣買ノ事
- 下職取締書(明治) 小問物問屋仲買組合申合(明治) 仕入染物形付同業組合申合(明治) 染形貸藍蠟製造組合申合(明治)
- 紅製造業仲間規約(明治) 仲間規約ニ就テノ達(明治) 十組諸問屋ノ事 七百年以來ノ會社設立數

問屋及仲買之沿革 諸株問屋仲間組合御再興一件留(嘉永) 大阪各商仲間沿革 問屋仲間組合(申渡(天保))
 煮賣屋仲間(達(文政)) 湯屋株ノ外錢湯禁止(文政) 旅籠屋株借受ノ件(文政) 諸島問屋 問屋ノ由來
 相庭所立會刻限ニ就テノ建(天保)

商業工業諸職沿革……………自二七頁 至四〇九頁

維新以前ノ大阪諸工場 鐵道敷設ノ達 工藝沿革 吳服ノ賣始 大阪ノ商業 大阪商家ノ興廢
 帳簿ノ沿革 天明年開ノ御用商人 長州征伐ノ御用金 徳川時代ニ於ケル大阪ノ商業 三郷惣年寄由緒書
 三郷惣年寄勤書 總年寄由緒書 三郷惣年寄家筋 北組惣年寄比田仁兵衛家筋 大阪商家老功ノ手代
 昔時ノ奉公人給料 吳服店ノ商標 大阪商家ノ符牒 大阪長者ノ開店 物ノ始マリ 變災
 堺ノ商人 大阪ノ三大市 特種ノ商人 掛屋ノ事 漬物ノ由來 日本藥業ノ沿革 丹ノ製法
 唐藥問屋 藥種仲買 延享年開大阪市中ノ賣藥 天保年開ノ賣藥 大阪新聞雜誌ノ沿革 大阪ニ於ケル出版事業
 履物商ノ初

外國貿易并商業上ノ慣例……………自四二頁 至五七〇頁

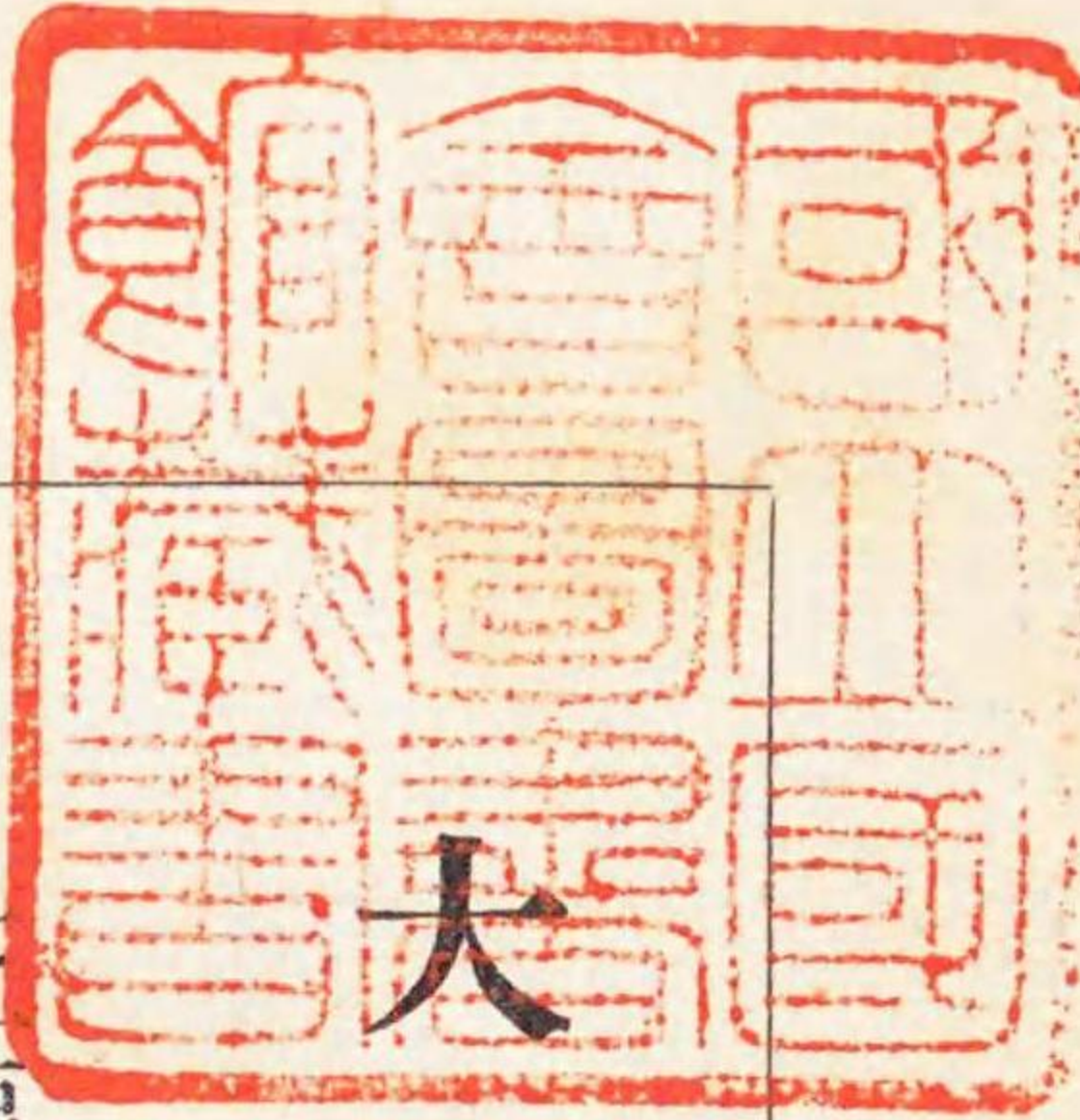
呂宋商船狼藉御法度(慶長) 阿蘭陀人通商御朱印(慶長) 伊祇利須船狼藉御法度(元和) 交趾御法度(元和)
 呂宋船着岸下知狀(元和) 阿蘭陀人ノ御朱印并松浦肥前守ノ奉書(元和) 黑船いざりす船之儀ニ付奉書(延寶)
 阿蘭陀人ノ御書付(延寶) 異國より調候義無用之品(寛文) 朝鮮國ノ密々武器指渡候者罪科覺(寛文)

異國ノ遣開敷并異國ヨリ持渡開敷品之覺(寛文) 入津船ヨリ調候儀停止之品(天和) 異國貨物賣買之儀ニ付御觸書(寛文)
 絲割符之事(貞享) 長崎奉行ノ申達候趣(元祿) 異國貨物直段附其外之儀ニ付御書付(元祿) 唐船拔荷買取候儀制禁并
 右ニ携リ候者ヲ訴出候者ノ御褒美被下之事(正徳) 長崎奉行ノ相渡候書付(正徳) 唐藥種荒物類賣買之儀ニ付御觸書(天保)
 長崎表廻銅定例(正徳) 唐船數并船別商賣割合定例(正徳) 通事共唐人トノ約定草案(正徳)
 奉行所ヨリ別ニ唐人共ニ可被申渡條々(正徳) 通事共ヨリ唐人ニ可相渡割符之案(正徳) 唐船入津之時定例(正徳)
 商賣之法定例(正徳) 唐船歸帆之時定例(正徳) 地下配分之法定例(正徳) 阿蘭陀人ニ新例可申渡次第(正徳)
 阿蘭陀人ニ申渡之書付(正徳) 阿蘭陀人商賣方定例(正徳) 阿蘭陀人ニ可申渡別條之案(正徳)
 長崎出銀運上金之儀ニ付御書付(享保) 長崎銅商賣ニ付唐船暫減候御書付(元文) 貿易ニ關スル諸願書(明治)
 外國貿易會社要用記(明治) 大阪港ノ外國貿易 外國貿易ノ俾止 模擬唐船作製 諸色調 支那絹絲輸入
 外船長崎ノ外着港停止 葡蘭人日本ニ交通ス 彼我輸出品 葡人退テ葡人其利ヲ占有ス 長崎信牌
 外船ヨリ白絲買取ノ件 外國(銀貨輸出) 銅外輸ノ額 外國商店開始 外人(米麥賣渡禁止)
 蘭人初航 外國行停止 外國貿易中運上ノ始 格幣贖札ニ就テ布令 大阪最初ノ外國貿易 延享時代ノ大阪本商人
 文政五年二月ノ御觸 維新以來ノ綿絲輸入高 青筵輸出入表(自明治十二年同十六年) 安政以來ノ條約國
 神戸貿易會社規則書 貿易品増加ノ御觸(文政) 唐物一件(享保——天保) 唐毛反物ニ就テ幕府ノ政令(享和)
 外航者姓名及所至ノ地名 明商交易ノ宿口錢(×) 通商方法ノ令(×) 互市方法ノ令(×) 相對商賣(×)
 金一兩ニ銀六十八匁(×) 輸出入禁制品(×) 市法商賣(×) 俵物ト諸色(×) 掛物高下ノ仔細(×)
 交易方法ノ改令(×) 私販船ヲ撃ツ(享保) 清舶二十五艘(×) 海參鮑等ニ就テ(×) 荷蘭ヨリ鼈甲ヲ(×)

元文頃ノ輸出入(×) 清商ト煎海鼠其他(×) 荷蘭王ノ圖書至ル(×) 日米條約調印(×) 日葡條約調印(×)
 輸出入品運上目錄(×) 海產物輸出ニ付テ幕府ノ禁令 三百年前ノ對外思想 安南國 文化時代外國貿易ノ獎勵
 幕府時代ニ於ケル手形ノ保護 手附金ニ付テノ習慣 米穀量方ノ慣習 市場ノ獄門板 商家雇人慣行
 從業者——雇入——教育及昇進——待遇——賞罰——分家、別家——奉公人ニ關スル法令
 〔コノ目錄中(×)ヲ付シアルハ原本ニ題目ナキヲ以テ校訂者ガ假ニ附シタルモノナリ〕

四

諸組合仲間問屋及其規約



大阪商業史資料

正徳年開ノ大阪問屋

大阪ハ昔シヨリノ問屋地ナリ今ヲ距ル百八十年前即チ正徳年間ニ於テ問屋ト稱シタル者ヲ見ルニ

大阪菱垣廻船問屋	十軒
江戸大廻船問屋	五軒
駿河船問屋	一軒
丹座製法人	七人
下米問屋組合	六人
關東筋問屋	百六十九軒
陸奥國問屋	二十軒
同船宿	二軒
松前問屋	八軒

出羽國問屋	三十一軒
若狹因幡國問屋	三軒
同船宿	二軒
丹後國問屋	四軒
同船宿	一軒
但馬國問屋	十一軒
同船宿	一軒
石見國問屋	十八軒
同船宿	二軒
出雲國問屋	二十四軒
同船宿	三軒
伯耆隱岐國問屋	五軒
同船宿	三軒

出羽國問屋	三十一軒
若狹因幡國問屋	三軒
同船宿	二軒
丹後國問屋	四軒
同船宿	一軒
但馬國問屋	十一軒
同船宿	一軒
石見國問屋	十八軒
同船宿	二軒
出雲國問屋	二十四軒
同船宿	三軒
伯耆隱岐國問屋	五軒
同船宿	三軒

同船宿	三軒
伯耆隱岐國問屋	五軒
同船宿	三軒
出雲國問屋	二十四軒
同船宿	二軒
石見國問屋	十八軒
同船宿	一軒
但馬國問屋	十一軒
同船宿	一軒
丹後國問屋	四軒
同船宿	二軒
若狹因幡國問屋	三軒
出羽國問屋	三十一軒

(諸組合仲間問屋及其規約)

本兩替屋	二十四人	青物屋仲間	百軒
南兩替惣組合	百軒	土佐薪問屋	五十軒
三郷總錢屋組合	三百軒	竹問屋	四軒
阿波材木問屋	六軒	諸國炭問屋	十七軒
日向材木問屋	四軒	瀨戶物問屋	六軒
北國材木横問屋	四軒	備前燒物問屋	一軒
秋田材木問屋	二軒	砥石問屋	七軒
尾張材木問屋	三軒	ぬか問屋	八軒
土佐材木問屋	五軒	江戸積塗物問屋	五軒
同酒桶類天井板杉木問屋	八軒	毛綿問屋	十八軒
酒造類株	六百三十六軒	江戸積釘問屋	十六軒
江戸積酒屋ノ分	十七軒	刀脇指小道具問屋	五軒
諸紙問屋	二十五軒	諸國蠟問屋	五軒
大和紙問屋	三軒	芋問屋	三軒
紙問屋諸藏立會組頭	三十九軒	江戸蠟燭問屋	三十四軒
江戸買物問屋	三十一軒	熊野薪問屋	六軒

石炭問屋并藥灰問屋	五十軒	大工道具問屋	六軒
秋田銅鉛問屋	六軒	佛具問屋	五軒
丹波播磨疊問屋	三軒	紀州綱問屋	三軒
漆問屋	二軒	薩摩國小問屋	三十二軒
煎茶問屋	六十四軒	諸國薪問屋	六軒
八百屋物問屋	四十三軒	諸國石問屋	六軒
北國干物問屋	八軒	菜種子問屋	三百六軒
江戸積油問屋	六軒	丹波擻鉢問屋	一軒
京積油問屋	三軒	備後疊表問屋	十三軒
鯨油壹岐平戸呼すじ油ひけ油問屋	八軒	藍玉問屋	九軒
油粕問屋	二十五軒	諸國鹽問屋	十八軒
多葉粉問屋	三十二軒	木綿問屋	九軒
北國問屋	二十一軒	江戸積毛綿問屋	三軒
北國布問屋	六軒	小刀庖丁問屋	二十四軒
紀州認問屋	三軒	武具馬具問屋	八軒
鐵はがね問屋	十軒	生魚問屋	二十八軒

鹽魚干魚問屋	二十五軒
鬩斗問屋	四軒
鯉節問屋	七軒
川魚問屋	五軒
鳥問屋	二軒
玉子問屋	八軒
干鯛問屋	軒
繰綿屋仲問	二百五十軒
算盤問屋	軒
合計	五千六百五十五

但シ干鯛問屋ヲ除ク

正徳年間ノ大阪諸商仲賣

正徳年間百八十三年前ノ大阪ノ諸商及仲買ハ左ノ如シ

米仲買	合計 千三百軒
唐和藥種仲買	二百二十九人
古鐵古道具仲買	三千二百四十二人
古手屋仲買	三千三百人
船板帆柱仲買	四軒
檣木之類仲買	三軒
梶仲買	二軒
多葉粉仲買	三百軒
鐵仲買	三十六軒
江所積釘仲買	三十六軒
前引大鋸仲買	五軒
刀脇指小道具	四軒
瀬戸物仲買	六十三軒

漆仲買	六十三軒
八百屋物仲買	六十軒
鹽魚干魚仲買	百軒
吳服仲買	四軒
真綿仲買	四軒
油仲買	十三軒
合計	八千七百六十五

但吳服仲買ヲ除ク

卸醬油屋	三軒
京積醬油屋	七軒
下リ醬油屋	八軒
地賣醬油屋	千軒
造リ酢屋	二十一軒
鷹屋	二軒
北國積綿屋	五軒
吳服物現銀店	九軒
大經師年曆弘所	一軒
數奇道具屋	三軒
諸藥種屋	百廿四軒
鮫屋	四軒
諸國宿屋	百六十四軒
合計	二千三百四十三人

明和年開ノ諸商株數統計

大阪ノ諸商營業ニ株ノ定アリシハ恰モ今ノ專賣特許

商業株種類	御免株軒數	年行司	冥加銀
油 仲 買	二百五十軒	年行司五人	初年一人別金一兩宛翌年ヨリ一ケ年人別金一歩
鍋釜鑄鑄輔師	十軒	同一人	初年銀三十五枚翌年ヨリ一ケ年銀二十五枚
糠 問 屋	七十軒	同一人	一ケ年銀六十枚
糠 仲 買	七十軒	同一人	一ケ年銀二十五枚
石 問 屋	四十八軒	同一人	一ケ年銀六十兩
石 切 屋	四十軒	同一人	初年限十五枚翌年ヨリ銀十枚宛
天 滿 青 物 屋	四十二軒	同一人	初年銀四十枚翌年ヨリ一ケ年銀二十兩宛
市 場 問 屋	九軒	同一人	初年銀七十枚翌年ヨリ銀四十枚
同 仲 買	七軒	同一人	初年銀二十枚翌年ヨリ一ケ年銀十二枚
御 料 郷 宿	七十軒	支配人三人	一ケ年銀五十枚
諸 島 問 屋	七十軒	年行司三人	一ケ年銀十枚
同 仲 買	七十軒	同一人	一ケ年銀十二枚
薩 州 定 問 屋	七軒	同一人	

ニ等シキモノナリ則チ明和年開(今ヨリ百三十年前)ノ諸商株數ヲ統計スルニ

三所綿問屋	五軒	同一人	一ケ年銀七枚
綿買次積問屋	古株十一軒	同一人	初年銀三十五枚翌年ヨリ一ケ年銀三十枚
同	新株一軒	同一人	一ケ年銀四枚
京 飛 脚	二十二軒	同一人	初年金三十兩翌年ヨリ一ケ年金十兩
江戸積酒并ニ	八軒	同一人	一ケ年銀十枚
諸荷物廻船問屋	八軒	同一人	一ケ年銀九貫目
雞喉場生魚問屋	八十四軒	年行司三人 定行司一人	

明和年開ノ大阪商業仲開

明和年中(百三十年前)幕府へ御禮ヲ申上グル商人即チ彼ノ冥加仲開トモ云フベキモノハ

古銅屋 仲開	三千八百五十九人
十三組古手屋	千五百七十七人
在々古銅屋仲開	千貳百四十六人

上町組古手仲開	八百五十五人
仲買組古手仲開	六百六十九人
同在々古手屋	四百二十九人
本仲開兩替屋	三百六十七人
十三組在々古手屋	三百三十六人
上町組在々古手屋	二百八十人
藥種問屋	二百二十八人

藥種仲閒	百六人	堀江操り(御池通二丁目) 座本豊竹此吉
本屋仲閒	九十八人	小芝居(御池通四丁目) 座本荒木與三郎
南兩替仲閒	八十九人	右之外御禮ハ申上グルモ諸仲閒ノ外ニシテ名目ノ立チシ商人ハ概略左ノ如シ
三郷錢屋仲閒	五十六人	鍛冶屋善四郎 種物問屋 生蠟絞リ屋
長町旅籠屋	十五人	緑綿屋 銅細工人仲閒 毛綿帆屋
八軒屋旅籠屋	十一人	仕入紺屋 藍無地染屋 材木屋
南側小芝居 竹田近江座本藤川柳藏		端物問屋 近在紺屋 唐物屋
歌舞妓 座本藤川三十郎立慶町		銅吹屋 油仲買 菜種絞リ油屋
歌舞 座本藤川三十郎立慶町		綿實絞リ油屋 油小樽屋 油樽步寸仲閒
名代鹽屋九郎右衛門芝居		雜喉場魚問屋 京橋鮒市場 天滿青物市場
同 座本中山與三郎		
休 名代豊竹越前		
小芝居 名代宇兵衛 座本山枳甚吉		
操り歌舞伎芝居 座本竹田新松		
小芝居 名代鹽屋源太夫 座本三枳長五郎		
同 (座摩宮社内) 座本嵐佐野八		

明和年代ノ大阪諸商株

今ヲ距ル二十八九年前即明治維新以前ニ在リテハ諸商業ヲ營ムニモソレノノ株式ナルモノアリテ濫ニ隨意ノ業ヲ開クコト能ハサルノ制ナリシガ茲ニ明和七庚寅年 <small>今明治廿七年ヲ距ル一廿五年</small> 同九年ニ至ル三年間ニ當業者ヨリ開申シタル大阪諸商ノ株數其冥加金額及年行司人員等ハ左ノ如シ	同 一六開屋新 一田ノ内建家三郷村中通用髮結床株 一株
明和七年正月調査上申	同 一西高津村建家限リ湯屋株 一株
一鍋釜鑄鑄師 株數未詳 年行司一人	同 一五月調査上申
此冥加銀初年銀三十五枚第二年ヨリ二十五枚	同 一菜種油搾リ屋株 二百五十株
同 一六開屋新 一田ノ内建家三郷通用茶屋株 六株	同 一綿實油搾リ屋株 三十五株
同 一六開屋新 一田ノ内建家三郷賣賣屋株 五株	同 一出油屋株 十三株
	同 一江戸口油問屋株 十三株
	同 一油仲買株 二百五十株 年行司五人
	此冥加銀初年金一兩第二年ヨリ金一分
	同年閏六月上申
	一天滿寺前建家限リ賣賣屋株 三株

同年十月調査上申
 一糠問屋株 十株 年行司一人
 此冥加銀年々銀六十枚
 同
 一同仲買株 十株 年行司二人
 此冥加銀年々銀二十五枚
 同年十二月調査上申
 一西宮茶屋株 二十五株
 同
 一兵庫津茶屋株 二十五株
 同八年二月調査上申
 一石材問屋株 株數未詳 年行司二人
 此冥加銀年々金六十兩
 同
 一石切屋株 四十八株 年行司一人
 此冥加銀初年銀十五枚第二年ヨリ銀十枚

同九年正月調査上申
 一天滿青物市場問屋株 四十株 年行司一人
 此冥加銀初年銀四十枚第二年ヨリ二拾枚
 同
 一同仲買株 八十二株 年行司一人
 此冥加銀初年銀七十枚第二年ヨリ四十枚
 同
 一御料地郷宿株 九株 年行司一人
 此冥加銀初年銀二十枚第二年ヨリ銀十二枚
 同
 一曾根崎村建家限リ茶屋株 拾五株
 同
 一曾根崎村建家限リ煮賣屋株 十株
 同年二月調査上申
 一諸島問屋株 七株 支配人三人
 此冥加銀初年銀五十枚

同
 一同仲買株 七十株 年行司三人
 此冥加銀初年銀十枚
 同
 一薩州定問屋株 七株 年行司一人
 此冥加銀初年銀十二枚
 同年七月調査上申
 一三郷綿問屋株 五株 年行司一人
 此冥加銀初年銀七枚
 同
 一江戸積酒并諸荷物廻船問屋株 八株 年行司一人
 此冥加銀初年銀十枚
 同
 一檜村屋敷限リ貸附煮賣屋株 十株
 同年九月調査上申
 一雜喉場生魚問屋株 八十四株 年行司三人
 定行司一人

此冥加銀初年銀九貫匁
 同年十月調査上申
 一綿買次積問屋古株 十一株 年行司二人
 此冥加銀初年銀三十五枚第二年ヨリ銀三十枚
 同
 一綿買次積問屋新株 一株
 此冥加銀初年銀四枚
 同
 一京飛脚株 二十二株
 此冥加銀初年金三十兩第二年ヨリ十兩

町中御觸
 此度問屋唱之儀ニ而御觸達有之候ニ付而者都而株札

并ニ問屋仲間組合等差止候儀當三月以後止之相觸候
節竹材木屋賣筋等之儀先唯今迄之通可相心得旨申
渡置候處尙又取調之上右之分モ差構無之ニ付今般十
人材木屋指止外同様素人直賣買勝手次第申付候
一本屋之儀モ右同様申渡置候處是又指構無之候ニ付
今般本屋行司差止素人直賣買勝手次第申付候乍併本
屋之儀者猥ニ相成候而者元締リニ拘候ニ付以來新規
ニ右商賣相始候者ハ月番之奉行所へ可届出其砌委細
取締リ之廉可申渡候且新作之書物等致板行候節モ前
同様奉行所へ下書指出改受可申候尤右體手廣相成候
迎前々賣買指止又は絶板等申付有之候書類決而取扱
申聞敷候
右之通三郷町中可觸知モノ也

寅五月 石見

遠江

大阪ノ商業組織

同種ノ商品ヲ一ヶ所ニ集メテ賣買スルモノヲ取引所
トス而シテ此ノ取引所(ブルス)ハ各種商業ノ繁盛
ニ赴クト共ニ必要缺クベカラザルモノタルハ論ヲ俟
タズ故ニ近來各地ニ於テ俄然取引所ノ勃興スルヲ見
ル然レドモ大阪ニ於テハ其商業組織ノ劃然トシテ各
商業トモニ自カラブルスノ組織ヲナシ到ル處ブル
ルス的ノ大商業タラザルハナシ見ヨ古手屋ノ商賣ハ
御靈筋ト天神裏に限ラレ古道具ハ井池ト御藏筋ニ止
マリ材木ハ長堀立賣堀芝居ハ道頓堀見世者ハ千日藥
種ハ道修町駄菓子ハ松屋町ト云フガ如ク總ベテ商業
皆團體ヲ作ラサルハナシコレ蓋シ大阪商業ノ進歩ヲ
徵證スル所以ナリ今試ミニ元文寬保 今ヨリ百
五十年前 時代ニ

廻リ商業割據ノ狀ヲ觀察センニ先ツ船場ニ於テハ
高麗橋一丁目東堀筋マテリ 鮫屋 書林 吳服店
同 二丁目中堀筋マテリ 兩替商 紙屋 苧屋
同 三丁目中堀筋マテリ 苧屋
上 人 町井池筋マテリ 屏風屋 繪馬屋
伏 見 町梅檀木橋筋マテリ 長崎物唐物店
吳 服 町心齋橋筋マテリ 吳服店
道修町一丁目東堀筋マテリ 藥種商
同 二丁目中堀筋マテリ 藥種商
同 三丁目中堀筋マテリ 藥種商
西横堀七郎右衛門町二丁目 材木商
平野町一丁目東堀筋マテリ 藥種問屋 兩替商
淡路町一丁目東堀筋マテリ 藥種問屋
同 二丁目中堀筋マテリ 箱屋 簞笥屋
瓦町一丁目東堀筋マテリ 疊表商 鐵屋
三郎右衛門町心齋橋筋マテリ 戸障子商 襖骨職人

大阪商業史資料

備後町三丁目八百屋町筋ヨリ 魚屋
本町一丁目本町一丁目ヨリ 吳服店 古手屋
唐物町一丁目唐物町一丁目ヨリ 革細工商
同 三丁目中堀筋マテリ 絹 煙草入 足袋屋
同 四丁目心齋橋筋マテリ 竹商人 細工人
南久寶寺町一丁目東堀筋マテリ 合羽屋
同 五丁目井池筋マテリ 菓子屋
車 町鹽町三休橋筋マテリ 古手屋
南本町角ヨリ長堀迄
久寶寺町ヨリ長堀迄 櫛引職人町
島ノ内長堀ヨリ一丁南 棕櫚等店
東堀ヨリ二筋目(一丁目筋) 刀脇差 武道具
北濱ヨリ本町マテ 鐵かね屋
本町ヨリ南長堀マテ 古金 古道具屋多シ
石灰町ヨリ大和橋町迄 綿商人 綿袋屋
同三筋目(鍛冶屋町筋)

備後町安土町ノ間	烏商人 烏屋町ト	南久寶寺町ヨリ鹽町マテ	古道具店
北久太郎町ヨリ南長堀迄	大工道具 鍛冶職人多シ	長堀ヨリ南笠屋町御前町	茶屋町
道頓堀宗右衛門町	針金鍛冶	同八筋目(大溝筋)(井池)	
同四筋目(堺筋)		長堀ヨリ南疊屋町	疊職人町
高麗橋ヨリ本町マテ	塗物屋 鏡屋 卷物屋 眞綿屋 小間物屋 藥種屋 すすみ屋	布 袋 町	茶屋町
本町ヨリ長堀マテ	木綿店 道者宿	同九筋目(心齋橋筋)	
長堀橋ヨリ南長町マテ	傘屋 團扇屋	北濱ヨリ長堀マテ	塗物屋 書物屋 古道具屋 琴三味線屋 飾屋
長町二丁目ヨリ六丁目迄	旅籠屋 道者宿	京町堀北側(江戸堀ヨリ四筋目)	生魚市場
同六丁目ヨリ九丁目マテ		雜喉場町西濱側	小間物屋
同五筋目(難波橋筋)		茂左衛門橋ヨリ西北橋マテ	
道修町ヨリ淡路町マテ	足袋屋 提灯屋	同南側	
北久太郎町ヨリ長堀マテ	塗師職人多シ	二丁目ヨリ劔先町マテ	鱒問屋商人町
同六筋目(中橋筋)		新天満町(京町堀ヨリ二筋目)	
北久太郎町ヨリ長堀マテ	塗師職人多シ	西 横 堀	瀬戸物町
長堀ヨリ南玉屋町塗師町	茶屋町	同海部堀マテ	鹽肴干魚問屋
同七筋目(杵檀木橋筋)		同海部堀ヨリ劔先町マテ	干鰯屋町

新靱町(京町堀ヨリ三筋目)	鹽肴 干魚 干鰯 問屋仲買	橋ヨリ北へ一町	繩筵問屋 小間物店
同海部堀迄	鹽魚干魚商人	宮前町又次郎町	木綿問屋
海部堀川町	鹽肴 干魚 干鰯問屋	同町一丁目(堀川ヨリ五筋目)	銅道具 鍛冶仲買
油掛町(京町堀ヨリ四筋目)		南木幡町	
同海部堀上			
奈良屋町(阿波座堀南側濱筋)	解キ船 古木店		
同 太郎助橋迄			
神田町(阿波座堀ヨリ三筋目)	戸障子職人多シ		
箱 屋 町			
堂島新地(難波橋ヨリ西へ濱側)			
同一丁目ヨリ五丁目迄	米問屋仲買多シ	明曆三四年九月	
同 五 丁 目	船大工小屋	一吳服屋 絲屋 綿屋 緒屋	
天満八丁目(天満東淀川ノ川端ヨリ十四筋目)	將基碁盤屋多シ	物之本屋 紙屋 扇子屋 兩替屋	
天神東ノ通り		鮫 屋 藥屋 材木屋 竹屋	
同門町(同十七筋目)		釘 屋 槇屋 米屋 酒屋	
天神橋東へ五丁西へ三丁目ノ間	青物市場	肴 屋 草屋 石屋 塗物屋	

諸商申合停止

此之外諸商人中ケ間一同之申合を仕候ニ付新規之商

賣人中ケ開入候共或大分之禮金をハ過分之振舞爲致候故商賣新規ニ企候もの迷惑仕候其上商物時としてまめうり致候由内々相聞候并町中明棚有之處家主才覺を以棚借付候得者中ケ聞之者一味仕其棚ニ障を申棚中聞と相對無之者ニ者棚からせ不申候故家主迷惑仕候由相聞候自今以後一同之申合停止の事

- 一 材木問屋 米問屋 薪問屋 炭問屋
- 竹問屋 油問屋 鹽問屋 茶問屋
- 酒醬油問屋

此外諸問屋是又一同他國より參候船商人問屋へ不着直ニ荷物賣拂候得者其船之商人重而問屋へ不着候故旅人迷惑致ス由聞候只旅人之勝手且者諸人之甘勞ニ候間向後者船商人心次第ニ商賣可爲致候一味之申合皆停止之事

- 一 大工木挽屋根 同石切左官疊屋

此外諸職人會所を定中ケ聞一同之寄合致し手間料高

直申合候ニ付最寄其段相觸候間彌可得其意事
右惣別一味同心之寄合何事ニよらす御法度之旨最寄も相觸候若自今以後一同之申合仕候も在之ハ可爲曲事者也

九月

(天明六丙午年十二月)

爲申合印形帳 寫シ

問屋中申堅前書之事

一 三町家々從往古相定來候爲申合近年猥ニ相成り相互ニ差障り出來及難澁第一不益增長致候ニ付此度相改左之通り取極候仕法致シ承知候
一 仕切直段相極候上聊カニテモ相違在之候ハ、不法

之事

但シ惣廻り書高下書相對無之儀ハ不法同様ノ事

一 仕切表エ直段ハ無相違別段ニ餘銀差下或ハ封銀書付ヨリ餘分掛込ミ遣シ候儀又ハ魚數餘慶ニ書増シ候類何ツレモ不法同様之事

一分レ荷物相對無之内一分ニ荷主へ直段引合申聞敷候事

但シ分レ荷物賣直段空直在之候ハ、不法同事ナル事

一 外當名在之候送り荷物引込ミ候歟又ハ送狀當名并付張符切取候類ヒ成ラバ書直シ候儀有之後日糺之上相譯リ候ハ、不法同様ニ候條右體不埒之儀決メ致聞敷候事

一新規之荷物送り來ル節八年行司エ相届ケ仲間内一統差支無之候ハ、格別自然取替銀有之候荷主歟又

ハ至テ大切之荷先キニ候ハ、相互ニ相愼對談行届候上取捌可申候事

但シ對談不行届候ハ、行司エ申入レ行司取計ヒ請可申候事

一 取替銀催促杯ト唱へ新規之間鋪へ罷越或ハ書通テ以テ猥リニ荷主船頭へ相頼ミ荷物取付申聞敷候一分之勝手ヲ以テ猥之儀在之候ハ、不法同様之事

但シ自分問鋪エ諸用ニ付罷下候トモ行司エ届可申候事

右之通り此度三町問屋一同相互ニ商賣永續之趣意ヲ以テ對談得心之上相極候條以來堅ク相守可申候若シ箇條ニ相洩レ自然差支之儀在之候ハ、行司之差略ヲ請可申候一分之勝手損益ニ拘リ不筋之儀又ハ取替候怪敷儀急度致聞敷候萬一任我意違背致候ハ、仲間内一同評談之上商内ニ差障リ被成候トモ其之外如何様ニ被取斗候共一言之申分無御座候爲後日連印一札依

テ如件

天明六年丙午十二月

南部屋三郎兵衛

外三拾八名也

(天明三年癸卯正月)

兵庫 仲買方出買之引合

瀬戸内

三町問屋年行司

覺

一當三町問屋共株御免之後何卒土地繁昌致問屋仲買御衆中共商賣相榮候様と毎事相考候處彼是差障之儀共在之所存之通ニも難參殊更問屋共至テ難澁之儀御座候ニ付此度惣分仲買御衆中へ及御相談候口上ニテ申達候テハ委敷難行届問違等も可有御座依

之右趣意書付テ以得御意候得者御考之上三町一同相榮候様之御了簡ニ被及被下度事
一問屋共株御免之發端兵庫之津ハ勿論瀬戸内出買之儀仲買御衆中堅御差留被下候様申入候處其段御承知ニハ御座候得共此方ヨリ賣物代銀之取引先方ヨリ代口物差送り候程之儀ニ用捨致格別ニ出買ト申儀ハ被成間敷之段御返答之趣今一段紛敷難譯立儀ナガラ問屋共格別之支トモ不相成儀ニ御座候ハバ勝手ハ御互之事ト問屋共承知致置候事
一近來兵庫表仲買 殊之外繁昌ニテ京都直積モ夥敷猶又當地仲買御衆中へ直段付ヲ以荷物積送り或ハ當地ヨリ切目之代口物ハ出買又ハ注文等被差遣候ニ付兵庫表商事日々增長致依之ハ爰元問屋中心當之荷物も時節宜敷切目之代口物ハ不殘兵庫ニテ取捌不景氣之魚類ハ彼地ヨリ送來候テモ仲買御衆中御請持不被成候故無是非荷立大阪表へ積登候何辻

モ兵庫ニテ相捌候荷物ハ景氣能當地へ直着之荷物ハ不景氣故遠國ヨリ積登候荷主右體之譯ハ不存ハ兵庫ハ賣口宜大阪へ登候へハ不捌之様ニ評判致夫故仕入致置候荷物者色々ト手段を付兵庫賣ヲ第一ニ心掛候様ニ相成大阪問屋共日々荷物減少衰微ニ及候事

一元來兵庫表仲買ハ金銀通辨甚手短成土地ニ御座候處近比ハ大阪表ニテ手廣之仲買御衆中へ直段付送り荷物致又ハ過分之注文等引受候故金銀通辨殊之外自由ニ相成右之餘情ニテ京都直登荷物も日追テ相増候儀當時之成行ニテハ大阪ヨリ兵庫商人仕送り銀主之様ニ相成彼地ハ追々繁昌致當地問屋ハ次第ニ及衰微ニ候畢竟兵庫ニテ諸荷物自由ニ相捌不申迄ハ不殘大阪へ着船致候事故根元之大阪問屋荷物多相成候得ハ自然ト御分仲買中モ繁昌之基ト被存候事

一近比三町問屋共次第ニ不如意之趣各方ニも御存御見及被下候通之儀追々右體ニ相成候へハ永續甚無心元被存候間何卒商法今一入繁昌をも致銘々取續申度候處存ニ御座候間問屋分至テ難澁之儀者仲買御衆中一統被仰合御助勢ニ預リ申度此段ハ譯テ御頼申入候御事

一去年雜喉場爭論ニテ已後鹽生之差別も相立賣留後商之妨も無之鹽魚問屋株持之外取捌も不相成候様取入候故追々商賣相榮可申樂候得ども兵庫表之商事ケ様ニ增長致候テハ當地之取入も無詮事也と問屋共相歎候事
右之趣ハ近年問屋共一統之難澁ニ御座候處近比別テ增長致候間此段問屋共一決致書付ヲ以テ申入候以後出買ハ勿論彼地ヨリ直付之送り荷物并當地ヨリ注文等之品御差留リ被下候様御頼申入候已上

卯正月十三日

三町問屋

仲買方年行司御衆中
 右書付三枚三町へ相渡候事
 (原本半丁餘空白)

口 上

一先達テ申入候兵庫瀬戸内出買之儀御差留リ被下候様申入候儀御評議ニ被及被下候ヤ又々當十二日ハ雜喉場出入之日限ニ相成候其節彼方返答之品ニヨリ毎再御召出も在之候へハ問屋共其儀ニ打掛候故外事ノ食着も難致候夫迄ニ早々否御返答承リ御得心も被下候へハ問屋共安心致雜喉場爭論之儀も一入出精致候内事右體之難義ヲ抱御公邊筋毎事打掛候儀心勞御察可被下候御行司方御捨置も被成間敷候得共一向御左右も無御座候故又々書付ヲ以申入候已上

卯二月四日

三丁問屋

中買方
 年行司御衆中
 右書付三町へ三枚 相渡候事

石問屋

石問屋ハ明和八卯年二月初メテ許可セラレタルモノニシテ冥加金年々三十兩ツ、テ上納シ來レリ但シ此石問屋ノ業務トスル所ハ普請用ノ石材ノミ取扱フモノニシテ兩川口十番水尾杭ヨリ内へ入津スル石荷ハ問屋立會ノ上現銀ヲ以テ殘ラス之ヲ引取該荷仕切銀高百目ニ付七匁ツ、ノ口錢ヲ收入スルヲ例トス尤モ慶應元丑年ヨリ五匁ツ、ニ引下ケタリ又石商人ヨリ

石元へ直法文ノ分ハ其石荷入津ノ時間屋ニ於テ之レガ送狀ヲ改メ現品ト査較シ更ニ送狀ノ書替ヲナシ之ヲ渡スヲ例トス又石荷實殘リアルトキハ兩川口ニ問屋濱ト唱フル場所アリテ爰ニ之ヲ揚置キ問屋ニ於テ之レガ賣買ノコトヲ擔任セリ
 石燈籠石鳥居其他諸細工ニ切立タル石類ハ切石屋仲間ノ取扱フ所ニシテ石問屋ハ之ニ關セス但シ此切石屋仲間ノ株數ハ四十二枚アリ

疊表問屋 (安永)

疊表問屋ニ二種ナリ其類ヲ以テ之ヲ區別スルモノニシテ一ヲ七島青筵問屋ト云ヒ二ヲ備後表問屋ト云フ七島青筵問屋ハ四五軒ニテ之ヲ營ミ備後表問屋ハ十

二三軒ニテ之ヲ取扱ヒ來レリ兩問屋共各二名ノ年行司及ヒ一名ノ肝煎ヲ置ク皆同業中ヨリ公選セシモノナリ但シ備後表ニ於テ仲買業ハ問屋ニテ之ヲ兼ネ七島青筵ニ於テハ十二人ノ仲買アリ又七島青筵問屋ハ安永九丑年九月官認ヲ得冥加銀年々惣仲間ヨリ二十貫目ヲ上納セリ
 七島青筵ハ舊來薩摩南島ノ産ナリシカ後世豊後國ニテ織出スモノハ此名ヲ冠セシメ遂ニ同地ノ物産トナレリ
 七島ハ送荷ニシテ荷主ヨリ陸續之ヲ送致シ又備後表ハ之ニ反シ皆問屋ノ註文ニ係ル
 送荷ハ該荷物ノ大阪へ入津スルニ際シ問屋ニ於テ之レガ水揚ヲナシ是レヲ仲買へ通達シテ評價セシメ直段定リテ後チ之ヲ賣渡シ問屋ハ其口錢トシテ荷主ヨリ百分ノ二ヲ收入シ仲買ヨリ一分半ヲ領收スルモノニシテ其仕切ハ直チニ船頭ニ渡セリ又註文品ハ荷物

ト俱ニ船爲換八分ヲ渡ス 船爲換トハ荷主ヨリ代價ヲ報シ來リ其代價ヲ直チニ船頭ニ渡スモノニシテ八分ハ百而シテ其殘金ハ荷主年々二三圓ニ付八十圓ノ割合ナリ

同モ登阪シ來リテ漸次精算ヲナセリ

又荷主ヨリ指直ニテ積送ル品ニシテ其目的通りノ價格ニ至ラサルトキハ荷主ノ登阪スルヲ待チ相對シテ相談ヲ遂ケ然ル後チ賣捌ヲナセリ

疊表商ノ内別ニ江戸積問屋仲間ナルモノ六軒アリ江戸積問屋ハ重ニ青筵ノミヲ取扱ヒ來リ備後表ノ取引ハ尤モ僅少ナリトス但シ此仲間ニ於テ積出スモノ年々其數十五六萬束 一束ハ十枚也 又江戸積船ニハ何品ノ積込ニ拘ハラス每船必ス別ニ百束ノ疊表ヲ積込ミ以テ江戸城中ノ用ニ供セリ又兵庫ヨリモ江戸表ヘ積出スコトアレトモ五千束ヲ限リトシ若シ其定數ヲ超過シテ積送ルカ或ハ仲間外ノモノ及ヒ遠國ノモノト雖トモ此青筵ヲ江戸積スルトキハ其由ヲ大阪町奉行ヘ訴フルノ權ヲ有セリ

江戸積ハ菱垣廻船問屋ニ託シ送狀ヲ附シ別段荷物ノ直段ヲモ取極メスシテ輸送スレトモ大ナル相場ノ替差ハアラサルナリ又積付トテ問屋ヨリ文通ニテ證文ヲ指立先方ニテハ之ヲ證トシテ爲換ヲ送り越スコトアリ

出船ノ節四極印元ニテ燒印ヲ捺シ船脚ヲ定ムルコトアリ

仲買ノ數ハ十二人アリ

灰屋仲間

灰屋仲間ハ安永二巳年創メテ株仲間ヲ認許セラレ是レヨリ年々冥加銀二十五枚ツ、ヲ上納ス而シテ其株數八十五枚アリ其產地ハ重ニ近江土佐等トス

(舊幕府執政中)

諸株仲間名稱 (天明頃)

由比氏ヨリ借用ノ古記録ニ據ル

- △商事ニ關係ナキモノ
- 舊慣ノ調査ヲ要スル分
- △目下實存シテ名ノ變ゼルモノ
- 目下名實共ニ消滅セシモノ

舊幕府執政中大阪株仲間ノ名稱

- 一上 問 屋 株 一青物 問 屋
- 一上 積米 屋 株 一同 仲 間 屋
- 一出 油 屋 株 一同 仲 間 屋
- 一茶種絞油屋 一生魚問屋
- 一茶種綿實兩問屋 一鹽魚經節干魚問屋
- 一綿實絞リ油屋 一材木并竹問屋
- 一油 問 屋 一同 仲 買

- 一油 仲 買 一作用買次仲買屋
- 一藥 種 屋 一藥 商 人
- 一合 藥 屋 一畫具 商 人
- 一唐反物問屋 一砂糖類諸木 商 人
- 一唐小問物屋 一煎雜喉問屋
- 一薩州小問屋 一同 仲 買
- 一沈香白檀伽羅 商 人 一綿 問 屋
- 一線香降眞香 商 人 一三 鄉 綿 屋
- 一砂糖其外荒物商人 一三 鄉 綿 屋
- 一砂糖類同漬物蘇木 商 人 一綿買次問屋
- 一丹 商 人 一同買次積問屋
- 一籠甲象牙唐木 商 人 一近在掃除人株
- 一三郷家請仲間 一茶 屋 株
- 一近在家請株 一茶 屋 株
- 一糠 問 屋 一煎 賣 屋 株
- 一同 仲 買 一煎 賣 屋 株
- 一鍋釜鑪鑄物師 一湯 屋 株
- 一家普請ニ遺候石問屋株 一旅籠屋株

一切石屋株	一江戶廻酒諸荷物積問屋	一同仕入積問屋	一柿澁糟干場 貳口
一同 仲 買	一 郷 宿 株	一同仕入商賣人 三口	一田作用水道具株
一薩州定問屋	一菱垣廻船諸荷物積問屋	一北組 中買組 毛綿屋株三口	一麩粕豆腐粕干場
一京 飛 脚 屋	一荒和布仲買株	一粉挽 水車 貳口	一水力車貸付株
一江戶三度飛脚屋	一植 木 問 屋	一白 粉 職	一薪問屋 天明七年三月廿日差止
一伊豫砥 石引請 江戶積問屋	一生 蠟 問 屋	一薪仲買 天明七年三月二十日差止	一船 大 工 株
一池田村魚屋株	一生 蠟 絞リ屋	一同上積問屋	一繩 筵 屋
一近 在 相 撲	一同晒蠟仲買	一江戶積釘問屋	一藁灰引請株
一炭問屋株貳口	一白 革 屋	一貳拾 四組 江戶積問屋	一薪 土 置 場
一鍛冶炭仲買	一泉州路ヨリ絞 出候油荷物 引受人	一麩 屋 株	一本仲開兩替 三鄉綿屋仲開
一灰 屋 株	一河州在方出油人足繼場	一春米屋駄賣屋 十二月廿日 差止	一練綿延賣買所
一筏 鳶 仲 仕 株	一櫓 權 屋	右ハ天保年度諸株一旦解放ノ前ノモノナリト由比氏云 フ後チ再ヒ復舊シ少異アル由	
一椀盃食籠木地職	一眞鍮箔打職		
一椀折敷家具一切塗師職	一打貫井戸株		
一七島青筵問屋株	一攝河兩國築貫井戸株		
一毛 綿 問 屋	一播州 打拔井戸堀株		

灰 問 屋

該問屋ハ一定屯集ノ場所トテハナク府下各所ニ散在セリ其數二十戸ニ過キシテ内十二戸ハ下卸問屋ナリ安永二年始メテ業ヲ開キシカド斯ル業ノ微々トシテ振ハザルハ理ノ正サニ然ルヘキ處ニテ固ヨリ以テ其ノ隆盛ヲ見ルベクモアラザリシ然ルニ寛政十二年ノ頃ヨリ近江及ビ土佐等ノ産ヲ輸送シ來ル陸揚其他ノ諸費ハ總テ貨主ノ支辨ニ屬シ入荷ハ投票ヲ以テ賣與シ或ハ直賣買シ又ハ爲替金ヲ貸與スルナド其ノ時ノ宜シキニ隨ツテ處辨ス其經紀スル品類ハ葉灰、石灰、皮灰ノ三種ニシテ產地ノ重ナルモノハ近江土佐而シテ此レガ販路ハ畿内中國四國九州等ナリ

石 灰

江戶表及關八州ニテ賣捌方ハ武州八王子并野州村々ニ限ルノ定メ
諸國共願人ニ許ス 天明元年

名 前 帳 (文政七)

行司支配方年番心得
心得之次第

一株元年行司之儀ハ惣株一體取締能司取重役之儀ニ付組合仕來リ申合之趣ヲ以テ惣分ヲ相サトシ候義ハ勿論臨時ニ操合等出來候ハ、誠心ヲ以順道ニ取

斗候儀肝要ニ候聊ニ而モ當年行司一己之勝手筋ニ
抱^(物カ)リ我儘之取斗ハ不及申最貞之沙汰非分之取捌決
テ致聞敷事

一年行司取斗候儀一分之勝手ヲ申立或ハ組外ノ仁
ト致相談先年ノ仕來申合ニ而不成儀ヲ乍存知彼
ニナソラヘ是ニタトヘ少々宛之申拔ヲ取工ミ不實
之仕方等致聞敷候諸事年行司請差圖相背申聞敷候
尙當年行司之内不筋之儀有之候ハ、其儀相極リ候
上退役イタシ残り年行司ニテ順道ニ取斗若三人共
不筋之義ハ是又退役爲致差當年行司代相定置惡評
定ニオヨビ順道ニ取斗一分之意趣ヲ含不筋之取斗
致聞敷候事

一年行司定方之儀ハ新天滿町ニ而壹人新靱町ニ而壹
人海部堀ニ而壹人都合三人宛毎年入札ハ先行司
ノ差付候共何レ株元之内ニテ相定候事
但幼若老衰之向又ハ新加入故障之仁是等ハ斟酌

其餘順番ニ相勤可申候自然年行司ニ心得違有之
時ハ惣分之越度可相成候間隨分仕來リ之商法能
心得實體成仁爲相勤候様可致候尤毎年三人共相
替リ候而ハ辨利不宜壹人宛交代仕候様イタシ諸
事心得違無之様相勤可申事

一株内問屋并四町中買之内不法我儘之儀有之無據商
賣可差留筋有之候共我意ニ不取斗其不法之筋篤ト
相糺可申候商賣差留可申儀ハ不怪儀ニ御座候間隨
分入念相調候上彌不法無相違難差置筋ニ候ハ、其
不埒之輕重ニヨリ三日五日或ハ二十日三十日
五十日商賣差留品ニ寄不相濟出入ハ其儘先方ノ相
片付ケ候上ニ而觸辰シ可致候事

但品ニ寄御株引上ケ名前張消可申儀同前之事
一惣テ株元年行司之儀ハ五組并仲買一統之取締可致
大役之儀ニ付身相慎諸事異論無之様心配イタシ
不筋之取斗無之儀ハ勿論之事ニ候第一荷主船頭ノ

問屋仲買ニ至迄商賣永久相續之儀寄々勘辨可致儀
ハ尤肝要ニ候事

一支配方定方之儀ハ三町株元問屋ニ召抱有之候支配
人之内ニテ重年相勤實體成仁篤ト相考年行司ノ可
申付候尤支配之内相應之仁無之候ハ、主人ニテモ
取交新天滿町ニテ壹人新靱町ニテ壹人海部堀ニテ
壹人都合三人宛篤ト見極爲相勤可申事

但是等モ毎年三人相替リ候而ハ不勝手之事故壹
人宛差替爲相勤可申候尤不埒之儀又ハ對年行司
不作法之儀有之候ハ、格別之事

一市先取調之儀ハ支配方ニテ取斗勿論不正道ノ儀仕
候問屋有之候ハ、篤ト聞尋年行司へ申出可受差圖
候且又問屋内ノ荷論又ハ取調之儀申出候ハ、雙方
聞糺聊龜略無之様順道取斗可申候品ニ寄年行司ニ
テ取調可申候諸事我意之取斗不仕年行司へ尋合差
圖受候様可致候尤支配方之内主人方ニ不法取調之

儀有之候ハ、其出入相濟候迄相退ケ残り居候支配
方順道ニ取調聊最貞之沙汰決而致聞敷候事

但時々取調候出入始末書附ヲ以テ其年行司可申
出事

一五組年行司之儀ハ其組々ニテ取極可申出候尤通達
年番之儀ハ順番ニ相勤其組年行司名前申參リ候ハ
、諸事五組ト引合ハ右年行司呼ニ遣可申入候事
一四町仲買年行司之儀ハ其町々ニ而取極申出候ハ、
諸事仲買へ之引合右年行司呼ニ遣シ可申入事
一五組ノ之通達ハ當株元へ申出則株元ノ其先々へ通
達可致候四町仲買共同前之事

但五組并四町中買雙方申入之儀ハ一旦株元へ申
入其上株元三町ノ相達候様イタシ品ニ寄三町ノ
取斗可申候勿論雙方直引合決而不成候事
一年中月行司之儀ハ毎年圖取ヲ以相極候上ハ其當リ
月ハ他出不相成尤無據儀候ハ、次之月行司相頼振

替無怠相勤可申事
 但年行司差支之節ハ代リ相勤候儀ニ付隨分心掛
 ケ麓略無之様相勤可申事
 右之通堅相心得可申事

但株元年行司同支配方五組年行司四町仲買年番
 名前毎年無怠此帳面記置可申事
 文政七甲申歲正月

申歲年行司

同支配方

株元新天滿町
 入札 古座 屋又兵衛
 廿三枚
 新靱町
 入札 天滿屋市郎右衛門
 十六枚
 敷屋町
 入札 北國屋伊左衛門
 十二枚

新天滿町

油屋平兵衛

新靱町

南部屋清右衛門

敷屋町

神崎屋左兵衛

申年五組年行司

同四町仲買年番

海部堀十四人組

新天滿町

年番 北國屋半右衛門

廿六人組

玉屋喜右衛門

新靱町

ふしや次介

内平野町組

海部堀

〔原本此ノ所壹行空白〕

出口町組

〔原本此ノ所壹行空白〕

八人組

〔原本此ノ所五行空白〕

内平野町

酉歲年行司

同支配方

新天滿町

新天滿町

株元 油屋利吉殿代判平衛殿

今津屋彦右衛門

新靱町

新靱町

株元 神崎屋惣兵衛殿

南部屋清右衛門

岡崎町

海部堀佃五店

株元 和泉屋源太郎殿

佃屋忠兵衛

對馬屋卯兵衛

内平野町

十四人組

今津屋四郎兵衛

戌年株元年行司

同支配方

新天滿町

新天滿町

油屋利吉 代判平衛

今津屋彦右衛門

新靱町今津屋平衛代

新靱町

神崎屋惣兵衛

南部屋清右衛門

岡崎町

海部堀佃五店

和泉屋源太郎

佃屋忠兵衛

戌年五組年行司

戌年仲買年番

年番出口町組

新天滿町

土佐屋利右衛門

新天滿町

内平野町組

新天滿町

八人組

海部堀

大阪商業史資料

備前屋喜助 十三人組 天満屋仁兵衛 八人組 對馬屋卯兵衛 廿六人組 和泉屋利兵衛 夜須屋貞次郎	新靱町 海部堀 内平野町
亥年株元年行司 新天満町 今津屋平兵衛 新靱町 神崎屋惣兵衛 岡崎町 和泉屋源太郎	同支配方 新天満町 今津屋彦右衛門 新靱町 南部屋清右衛門 海部堀佃五店 佃屋忠兵衛
亥年五組年行司 八人組 對馬屋卯兵衛 内平野町組 三木屋庄兵衛 十三人組 北國屋又四郎 廿六人組 玉屋喜右衛門 出口町組	同仲買年番 新天満町 同支配方 海部堀 新靱町 海部堀
子歲株元三町年行司 新天満町 今津屋平兵衛 新靱町 北國屋九郎兵衛	同支配方 新天満町 今津屋彦右衛門 新靱町 南部屋清右衛門

岡崎町 和泉屋源太郎	海部堀 とらや八兵衛
子年五組年行司 年番内平野町組 三木屋庄兵衛 十三人組 北國屋仁兵衛 出口町組 土佐屋清兵衛 八人組 紙屋庄兵衛 廿六人組 土佐屋善太郎 玉屋喜六	同仲買年番 新天満町 新靱町 海部堀 海部堀 思案橋
丑年株元三町年行司 新天満町 今津屋平兵衛 新靱町 北國屋九郎兵衛 西濱町 和泉屋源太郎	同支配方 新天満町 今津屋彦右衛門 新靱町 龜屋清兵衛 海部堀川町 虎屋八兵衛
丑年五組年行事 ^(前之) 年番海部堀十三人組 天満屋仁兵衛 廿六人組 玉屋季六 土佐屋善太郎 八人組 田邊屋安兵衛	丑年仲買年番 新天満町 新靱町 思案橋

六月六日ヨリ	神崎屋惣兵衛	八月廿六日ヨリ	神崎屋左兵衛
同十五日迄	天満屋七郎兵衛	九月五日迄	北國屋新太郎
六月十六日ヨリ	龜屋伊兵衛	九月六日ヨリ	泉屋友太郎
同廿五日迄	古座屋せる	同十五日迄	紅粉屋卯之助
六月廿六日ヨリ	いせ屋與兵衛	九月十六日ヨリ	今津屋五郎右衛門
七月五日迄	かじまや太七	同廿五日迄	わしや甚藏
七月六日ヨリ	さのや九兵衛	九月廿六日ヨリ	今津屋平兵衛
同十五日迄	佃屋五兵衛	十月五日迄	古座屋又三郎
七月十六日ヨリ	虎屋五郎兵衛	十月六日ヨリ	今津屋彦右衛門
同廿五日迄	紀伊國屋万藏	同十五日迄	天満屋市郎右衛門
七月廿六日ヨリ	天王寺屋孫衛	十月十六日ヨリ	北國屋九郎衛
八月五日迄	虎屋八太郎	同廿五日迄	升屋喜七
八月六日ヨリ	駿河屋由松	十月廿六日ヨリ	神崎屋惣兵衛
同十五日迄	湯淺半右衛門	十一月五日迄	天満屋七郎兵衛
八月十六日ヨリ	尼屋市兵衛	十一月六日ヨリ	龜屋伊兵衛
同廿五日迄	熊野屋十次郎	同十五日迄	古座屋せる

十一月十六日ヨリ	かじま屋多七	新天満町	天満町
同廿五日迄	いせや與兵衛	今津屋平兵衛	今津屋五郎右衛門
十一月廿六日ヨリ	さのや九衛	午歳五組年行司	仲買年番
十二月五日迄	佃屋五兵衛	廿六人組年行司	新天満町
十二月六日ヨリ	虎屋五郎兵衛	菊屋利助	思案ばし
同十五日迄	紀伊國屋万藏	泉屋利兵衛	今津屋徳兵衛
十二月十六日ヨリ	虎屋八太郎	内平野町組	鈴木屋久兵衛
同廿五日迄	天王寺屋孫衛	備前屋久兵衛	三木屋庄兵衛
十二月廿六日ヨリ	駿河屋由松	十三人組年行司	備前屋治兵衛
午正月五日迄	湯淺半右衛門	今津屋庄左衛門	靱町
午年株元年行司	同支配方	出口町組年行司	北國屋八兵衛
新靱町	南部屋清右衛門	土佐屋清兵衛	唐物屋又兵衛
海部堀川町	神崎屋惣兵衛	八人組年行司	長濱屋二兵衛
兵庫屋清左衛門	海部堀	玉屋喜右衛門	海部堀
	虎屋五郎兵衛		和泉屋彌兵衛

午年中他國上積改行事

三月五日迄	今津屋彦右衛門
二月廿六日ヨリ	古座屋又三郎
同廿五日迄	神崎屋忠五郎
二月十六日ヨリ	わしや與吉郎
同十五日迄	わしや甚藏
二月六日ヨリ	今津屋五郎右衛門
二月五日迄	泉屋友太郎
同廿六日ヨリ	紅粉屋卯之助
同廿五日迄	北國屋新太郎
正月十六日ヨリ	神崎屋左兵衛
同十五日迄	尼屋市兵衛
正月六日ヨリ	熊野屋十次郎

三月六日ヨリ	天満屋市郎右衛門
同十五日迄	北國屋九郎兵衛
三月十六日ヨリ	升屋季七
同二十五日迄	神崎屋惣兵衛
三月廿六日ヨリ	天満屋七郎兵衛
四月五日迄	龜屋伊兵衛
四月六日ヨリ	古座屋せゐ
同十五日迄	かじま屋多七
四月十六日ヨリ	いせ屋與兵衛
同廿五日迄	さのや九兵衛
四月廿六日ヨリ	佃屋五兵衛
五月五日迄	虎屋五郎衛
五月六日ヨリ	紀伊國屋万藏
同十五日迄	天王寺屋孫衛
五月十六日ヨリ	古座屋八藏
同廿五日迄	虎屋八太郎

五月廿六日ヨリ	駿河屋由松
六月五日迄	湯淺屋半右衛門
六月六日ヨリ	熊野屋十次郎
同十五日迄	尼屋市兵衛
六月十六日ヨリ	神崎屋左兵衛
同廿五日迄	北國屋新太郎
同廿六日ヨリ	紅粉屋卯之助
七月五日迄	泉屋友太郎
七月六日ヨリ	今津屋五郎右衛門
同十五日迄	わしや甚藏
七月十六日ヨリ	わしや與吉郎
同廿五日迄	神崎屋忠五郎
七月廿六日ヨリ	今津屋彦右衛門
八月五日迄	古座屋又三郎
八月六日ヨリ	天満屋市郎右衛門
同十五日迄	北國屋九郎兵衛

八月十六日ヨリ	升屋喜七
同廿五日迄	神崎屋惣兵衛
八月廿六日ヨリ	天満屋七郎衛
九月五日迄	龜屋伊兵衛
九月六日ヨリ	古座屋せゐ
同十五日迄	加島屋多七
九月十六日ヨリ	いせ屋與兵衛
同廿五日迄	さのやこと
九月廿六日ヨリ	佃屋五兵衛
十月五日迄	虎屋五郎衛
十月六日ヨリ	紀伊國屋万藏
同十五日迄	天王寺屋孫衛
十月十六日ヨリ	古座屋八藏
同廿五日迄	虎屋八太郎
十月廿六日ヨリ	駿河屋由松
十一月五日迄	湯淺屋半右衛門

十一月六日ヨリ	熊野屋十次郎	尼屋一兵衛	加島屋多七	さのやこと
同十五日迄	熊野屋左兵衛	熊野屋十次郎	わしや與吉郎	今津屋彦右衛門
十一月十六日ヨリ	北國屋新太郎	神崎屋忠五郎	神崎屋忠五郎	神崎屋惣兵衛
同廿五日迄	紅粉屋卯之助	紅粉屋卯之助	佃屋五兵衛	虎屋五郎兵衛
十一月廿六日ヨリ	泉屋友太郎	泉屋友太郎	古座屋又三郎	今津屋五郎右衛門
十二月五日迄	わしや甚藏	わしや甚藏	天滿屋七郎衛	龜屋伊兵衛
十二月六日ヨリ	今津屋五郎右衛門	今津屋五郎右衛門	紀伊國屋万藏	天王寺屋孫兵衛
同十五日迄	わしや與吉郎	わしや與吉郎	伊勢屋與兵衛	わしや與吉郎
十二月十六日ヨリ	神崎屋忠五郎	神崎屋忠五郎	古座屋せる	天滿屋市郎右衛門
同廿五日迄	今津屋彦右衛門	今津屋彦右衛門	古座屋八藏	虎屋八太郎
十二月廿六日ヨリ	古座屋又三郎	古座屋又三郎	今津屋彦右衛門	古座屋又三郎
正月五日迄	伊勢屋與兵衛	伊勢屋與兵衛	北國屋九郎兵衛	神崎屋忠五郎
今津屋五郎右衛門	北國屋九郎衛	北國屋九郎衛	今津屋彦右衛門	
天滿屋市郎右衛門				

熊野屋十次郎	今津屋五郎右衛門	鍋屋平兵衛	今津屋德兵衛
神崎屋宗兵衛	神崎屋宗兵衛	出口町組	金物屋彌太郎
神崎屋佐兵衛	加嶋屋多七	土佐屋理右衛門	うつほ町
未歳年行司	同支配人行司	内平野町組	升屋新兵衛
海部堀川町	海部堀	三木屋徳三郎	兵庫屋長右衛門
兵庫屋清左衛門	虎屋五郎兵衛	十三人組	唐物屋定七
新天滿町	天滿町	今津屋四郎兵衛	海部堀
今津屋平兵衛	今津屋五郎右衛門	廿六人組	泉屋與三郎
北國屋九郎兵衛	神崎屋宗兵衛	泉屋利兵衛	虎屋清右衛門
新鞆町	鞆町	菊屋利介	泉屋藤兵衛
未年五組年行司	同仲買年番		柴や半兵衛
八人組	天滿町		内平野町
			三木屋卯兵衛
			備前屋與七郎

未年中月行司

月 正	わしや與吉郎 南部屋清右衛門 さのや九兵衛	月 二	今津屋彦右衛門 龜屋伊兵衛 佃屋五兵衛	月 三	今津屋五郎右衛門 古座屋辰次郎 虎屋五郎衛	月 四	古座屋又三郎 神崎屋忠五郎 紀伊國屋万藏	月 五	伊勢屋與兵衛 天満屋市郎右衛門 古座屋八藏	月 六	わしや與吉郎 神崎屋宗兵衛 和泉屋甚藏	月 七	今津屋五郎右衛門 南部屋清右衛門 尼屋市兵衛	月 七 閏	今津屋五郎右衛門 南部屋清右衛門 尼屋市兵衛
月 八	古座屋又三郎 龜屋伊兵衛 神崎屋左兵衛	月 九	伊勢屋與兵衛 古座屋辰次郎 虎屋八太郎	月 十	わしや與吉郎 神崎屋忠五郎 加島屋多七	月 十一	今津屋彦右衛門 天満屋市右衛門 佐野屋九兵衛	月 十二	今津屋五郎右衛門 神崎屋宗兵衛 佃屋五兵衛	月 十三	未歲中他國上積改番順	月 十四	正月六日ヨリ 同十五日迄	月 十五	熊野屋十兵衛 尼屋市兵衛 神崎屋左兵衛 北國屋新太郎 今津屋五郎右衛門 天満屋龜吉 わしや與吉郎 古座屋又三郎 天満屋市郎右衛門 升屋季七

正月十六日ヨリ 同廿五日迄	神崎屋宗兵衛 天満屋七郎衛	二月十六日ヨリ 同廿五日迄	南部屋清右衛門 龜屋伊兵衛	三月十六日ヨリ 同十五日迄	紀伊國屋万藏 和泉屋甚藏	三月廿六日ヨリ 同廿五日迄	虎屋八太郎 古座屋八藏	四月十六日ヨリ 同廿五日迄	熊野屋十兵衛 尼屋市兵衛
二月廿六日ヨリ 同十五日迄	佃屋五兵衛 さのやこと	三月廿六日ヨリ 同十五日迄	伊勢屋與兵衛 加嶋屋多七	四月十六日ヨリ 同廿五日迄	五月廿六日ヨリ 同十五日迄	五月十六日ヨリ 同廿五日迄	六月十六日ヨリ 同十五日迄	六月十六日ヨリ 同廿五日迄	神崎屋左兵衛 北國屋新太郎 今津屋五郎右衛門 天満屋龜吉 わしや與吉郎 古座屋又三郎 天満屋市郎右衛門 升屋季七
三月十六日ヨリ 同廿五日迄	神崎屋宗兵衛 天満屋七郎衛	四月十六日ヨリ 同廿五日迄	南部屋清右衛門 龜屋伊兵衛	五月十六日ヨリ 同廿五日迄	六月十六日ヨリ 同十五日迄	六月十六日ヨリ 同廿五日迄	六月十六日ヨリ 同廿五日迄	六月十六日ヨリ 同廿五日迄	熊野屋十兵衛 尼屋市兵衛 神崎屋左兵衛 北國屋新太郎 今津屋五郎右衛門 天満屋龜吉 わしや與吉郎 古座屋又三郎 天満屋市郎右衛門 升屋季七
四月十五日迄	湯淺屋半右衛門	五月十六日ヨリ 同廿五日迄	伊勢屋與兵衛 加嶋屋多七	六月十六日ヨリ 同廿五日迄	六月十六日ヨリ 同廿五日迄	六月十六日ヨリ 同廿五日迄	六月十六日ヨリ 同廿五日迄	六月十六日ヨリ 同廿五日迄	熊野屋十兵衛 尼屋市兵衛 神崎屋左兵衛 北國屋新太郎 今津屋五郎右衛門 天満屋龜吉 わしや與吉郎 古座屋又三郎 天満屋市郎右衛門 升屋季七

六月廿六日ヨリ	いせ屋與兵衛	八月十六日ヨリ	わしや與吉郎
七月五日迄	さのやこと	同廿五日迄	古座屋又三郎
七月六日ヨリ	佃屋五兵衛	八月廿六日ヨリ	天満屋市郎右衛門
同十五日迄	虎屋五郎兵衛	九月五日迄	升屋季七
七月十六日ヨリ	紀伊國屋万藏	九月六日ヨリ	神崎屋宗兵衛
同廿五日迄	和泉屋甚藏	同十五日迄	天満屋七郎兵衛
七月廿六日ヨリ	虎屋八太郎	九月十六日ヨリ	南部屋清右衛門
閏七月五日迄	古座屋八藏	同廿五日迄	龜屋伊兵衛
閏七月六日ヨリ	駿河屋由松	九月廿六日ヨリ	古座屋辰次郎
同十五日迄	湯淺屋半右衛門	十月五日迄	かじまや多七
閏七月十六日ヨリ	熊野屋十兵衛	十月六日ヨリ	伊勢屋與兵衛
同廿五日迄	尼屋一兵衛	同十五日迄	佐野屋こと
閏七月廿六日ヨリ	神崎屋左兵衛	十月十六日ヨリ	佃屋五兵衛
八月五日迄	北國屋新太郎	同廿五日迄	虎屋五郎兵衛
八月六日ヨリ	今津屋五郎右衛門	十月廿六日ヨリ	紀伊國屋万藏
同十五日迄	天満屋龜吉	十一月五日迄	和泉屋甚藏

十一月六日ヨリ	虎屋八太郎	今津屋平兵衛	虎屋五郎兵衛
同十五日迄	古座屋八藏	新鞆町	天満町
十一月十六日ヨリ	駿河屋由松	北國屋九郎兵衛	今津屋五郎右衛門
同廿五日迄	湯淺屋半右衛門	海部堀川町	鞆町
十一月廿六日ヨリ	熊野屋十兵衛	佃屋五兵衛	天満屋助七
十二月五日迄	尼屋市兵衛	申年五組年行司	同仲買年番
十二月六日ヨリ	神崎屋佐兵衛	年番出口町組	天満町
同十五日迄	北國屋新太郎	河内屋七兵衛	今津屋徳兵衛
十二月十六日ヨリ	今津屋五郎右衛門	内平野町組	鈴木屋久兵衛
同廿五日迄	天満屋龜吉	雜喉屋吉右衛門	鞆町
十二月廿六日ヨリ	わしや與吉郎	十三人組	升屋甚兵衛
正月五日迄	古座屋又三郎	北國屋九兵衛	北國屋吉兵衛
		廿六人組	神崎屋伊兵衛
		泉屋利兵衛	海部堀
			鈴木屋七郎兵衛

<p>月三</p> <p>古座屋八藏</p>	<p>月正</p> <p>古座屋又三郎</p> <p>天満屋七郎衛</p> <p>虎屋五郎衛</p>	<p>月二</p> <p>伊勢屋與兵衛</p> <p>南部屋清右衛門</p> <p>いづみや甚藏</p>	<p>月四</p> <p>今津屋榮次郎</p> <p>古座屋辰次郎</p> <p>泉屋市兵衛</p>	<p>月五</p> <p>今津屋五郎右衛門</p> <p>天満屋市郎右衛門</p> <p>熊野屋十兵衛</p>	<p>月六</p> <p>古座屋又三郎</p> <p>神崎屋宗兵衛</p> <p>松見屋太郎三郎</p>	<p>月七</p> <p>伊勢屋與兵衛</p> <p>天満屋七郎兵衛</p> <p>尼屋市兵衛</p>	<p>月八</p> <p>わしや與吉郎</p> <p>南部屋清右衛門</p> <p>神崎屋左兵衛</p>	<p>月九</p> <p>今津屋榮次郎</p> <p>かめ屋伊兵衛</p> <p>虎屋八太郎</p>	<p>月十</p> <p>今津屋五郎右衛門</p> <p>古座屋辰次郎</p> <p>兵庫屋清左衛門</p>	<p>月十一</p> <p>古座屋又三郎</p> <p>神崎屋宗兵衛</p> <p>加嶋屋多七</p>	<p>月十二</p> <p>わしや與吉郎</p> <p>天満屋市郎右衛門</p> <p>佐野屋九兵衛</p>	<p>月十三</p> <p>わしや與吉郎</p> <p>龜屋伊兵衛</p> <p>古座屋八藏</p>	<p>月十四</p> <p>今津屋榮次郎</p> <p>古座屋辰次郎</p> <p>泉屋市兵衛</p>	<p>月十五</p> <p>伊勢屋與兵衛</p> <p>南部屋清右衛門</p> <p>いづみや甚藏</p>	<p>月十六</p> <p>今津屋五郎右衛門</p> <p>天満屋市郎右衛門</p> <p>熊野屋十兵衛</p>	<p>月十七</p> <p>古座屋又三郎</p> <p>神崎屋宗兵衛</p> <p>松見屋太郎三郎</p>	<p>月十八</p> <p>伊勢屋與兵衛</p> <p>天満屋七郎兵衛</p> <p>尼屋市兵衛</p>	<p>月十九</p> <p>わしや與吉郎</p> <p>南部屋清右衛門</p> <p>神崎屋左兵衛</p>	<p>月二十</p> <p>今津屋榮次郎</p> <p>かめ屋伊兵衛</p> <p>虎屋八太郎</p>	<p>月二十一</p> <p>今津屋五郎右衛門</p> <p>古座屋辰次郎</p> <p>兵庫屋清左衛門</p>	<p>月二十二</p> <p>古座屋又三郎</p> <p>神崎屋宗兵衛</p> <p>加嶋屋多七</p>	<p>月二十三</p> <p>わしや與吉郎</p> <p>天満屋市郎右衛門</p> <p>佐野屋九兵衛</p>	<p>月二十四</p> <p>わしや與吉郎</p> <p>龜屋伊兵衛</p> <p>古座屋八藏</p>	<p>月二十五</p> <p>今津屋榮次郎</p> <p>古座屋辰次郎</p> <p>泉屋市兵衛</p>	<p>月二十六</p> <p>伊勢屋與兵衛</p> <p>南部屋清右衛門</p> <p>いづみや甚藏</p>	<p>月二十七</p> <p>今津屋五郎右衛門</p> <p>天満屋市郎右衛門</p> <p>熊野屋十兵衛</p>	<p>月二十八</p> <p>古座屋又三郎</p> <p>神崎屋宗兵衛</p> <p>松見屋太郎三郎</p>	<p>月二十九</p> <p>伊勢屋與兵衛</p> <p>天満屋七郎兵衛</p> <p>尼屋市兵衛</p>	<p>月三十</p> <p>わしや與吉郎</p> <p>南部屋清右衛門</p> <p>神崎屋左兵衛</p>
------------------------	--	--	--	---	--	---	--	--	--	---	--	--	---	---	--	---	--	---	---	--	--	---	---	--	--	---	--	---	---

申年他國上積改番

<p>正月十六日ヨリ</p> <p>同十五日迄</p>	<p>正月十六日ヨリ</p> <p>同十五日迄</p>	<p>二月六日ヨリ</p> <p>同十五日迄</p>	<p>二月六日ヨリ</p> <p>同十五日迄</p>	<p>二月十六日ヨリ</p> <p>同廿五日迄</p>	<p>二月十六日ヨリ</p> <p>同廿五日迄</p>	<p>二月廿六日ヨリ</p> <p>同十五日迄</p>	<p>三月五日迄</p> <p>三月六日ヨリ</p>	<p>三月五日迄</p> <p>三月六日ヨリ</p>	<p>三月十五日迄</p> <p>三月十六日ヨリ</p>	<p>三月十五日迄</p> <p>三月十六日ヨリ</p>	<p>三月廿六日ヨリ</p> <p>同十五日迄</p>	<p>三月廿六日ヨリ</p> <p>同十五日迄</p>	<p>四月五日迄</p> <p>四月六日ヨリ</p>	<p>四月五日迄</p> <p>四月六日ヨリ</p>	<p>四月十五日迄</p> <p>四月十六日ヨリ</p>	<p>四月十五日迄</p> <p>四月十六日ヨリ</p>	<p>四月廿六日ヨリ</p> <p>同十五日迄</p>	<p>四月廿六日ヨリ</p> <p>同十五日迄</p>	<p>五月五日迄</p> <p>五月六日ヨリ</p>	<p>五月五日迄</p> <p>五月六日ヨリ</p>	<p>五月十五日迄</p> <p>五月十六日ヨリ</p>	<p>五月十五日迄</p> <p>五月十六日ヨリ</p>	<p>五月廿六日ヨリ</p> <p>同十五日迄</p>	<p>五月廿六日ヨリ</p> <p>同十五日迄</p>	<p>六月五日迄</p> <p>六月六日ヨリ</p>	<p>六月五日迄</p> <p>六月六日ヨリ</p>	<p>六月十五日迄</p> <p>六月十六日ヨリ</p>	<p>六月十五日迄</p> <p>六月十六日ヨリ</p>
-----------------------------	-----------------------------	----------------------------	----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	----------------------------	----------------------------	------------------------------	------------------------------	-----------------------------	-----------------------------	----------------------------	----------------------------	------------------------------	------------------------------	-----------------------------	-----------------------------	----------------------------	----------------------------	------------------------------	------------------------------	-----------------------------	-----------------------------	----------------------------	----------------------------	------------------------------	------------------------------

六月六日ヨリ 升屋喜七
 同十五日迄 神崎屋惣兵衛
 六月十六日ヨリ 天満屋七郎兵衛
 同廿五日迄 南部屋清右衛門
 六月廿六日ヨリ 龜屋伊兵衛
 七月五日迄 古座屋辰次郎
 七月六日ヨリ いせ屋與兵衛
 同十五日迄 さのや九兵衛
 七月十六日ヨリ 虎屋五郎兵衛
 同廿五日迄 いづみや甚藏
 七月廿六日ヨリ 古座屋八藏
 八月五日迄 とら屋八太郎
 八月六日ヨリ 和泉屋市兵衛
 同十五日迄 駿河屋由松
 八月十六日ヨリ 湯淺屋半右衛門
 同廿五日迄 熊野屋十兵衛

八月廿六日ヨリ 松見屋太郎三郎
 九月五日迄 尼屋市兵衛
 九月六日ヨリ 神崎屋多七
 同十五日迄 北國屋新太郎
 九月十六日ヨリ 兵庫屋清左衛門
 同廿五日迄 かじまや多七
 九月廿六日ヨリ 今津屋五郎右衛門
 十月五日迄 今津屋榮次郎
 十月六日ヨリ 天満屋龜吉
 同十五日迄 わしや與吉郎
 十月十六日ヨリ 古座屋又三郎
 同廿五日迄 天満屋市郎右衛門
 十月廿六日ヨリ 升屋季七
 十一月五日迄 神崎屋惣兵衛
 十一月六日ヨリ 天満屋七郎兵衛
 同十五日迄 南部屋清右衛門

十一月十六日ヨリ かも屋伊兵衛
 同廿五日迄 古座屋辰次郎
 十一月廿六日ヨリ 伊勢屋與兵衛
 十二月五日迄 さのや九兵衛
 十二月六日ヨリ 虎屋五郎兵衛
 同十五日迄 いづみや甚藏
 十二月十六日ヨリ 虎屋八太郎
 同廿五日迄 古座屋八藏
 十二月廿五日ヨリ いつみや市兵衛
 正月五日迄 駿河屋由松

西年行司 同支配方
 新天満町 天満町
 わしや與吉郎 今津屋平兵衛
 代判宗右衛門 鞆町
 新鞆町 天満屋助七

北國屋九郎兵衛 海部堀
 加島屋多七
 同仲買年番 天満町
 金物屋彌太郎
 鈴木屋久兵衛
 長濱屋源兵衛
 神崎屋七兵衛
 北國屋孫兵衛
 海部堀
 今津屋四郎兵衛
 尼屋次郎兵衛
 北國屋傳七

百年五組年行司 同仲買年番
 内平野町組 天満町
 雜喉屋吉右衛門
 十三人組 鞆町
 北國屋九兵衛
 長濱屋源兵衛
 廿六人組 神崎屋七兵衛
 泉屋利兵衛
 北國屋孫兵衛
 島屋佐右衛門 海部堀
 八人組 今津屋四郎兵衛
 豐後屋新介 尼屋次郎兵衛
 出口町組 北國屋傳七

月五	月三	月正	
熊野屋重兵衛 神崎屋惣兵衛 今津屋平兵衛	古座屋八藏 南部屋清右衛門 伊勢屋與兵衛	虎屋五郎衛 古座屋辰次郎 今津屋榮次郎	植田屋半右衛門 土佐屋清兵衛
月六	月四	月二	橋
尼屋市兵衛 天滿屋市郎右衛門 今津屋榮次郎	いづみや市兵衛 天滿屋七郎兵衛 古座屋又三郎	いづみや甚藏 龜屋伊兵衛 今津屋五郎右衛門	北國屋平兵衛 三木屋喜兵衛 ざこや七兵衛
月一十	月九	月七	
佐野屋留藏 天滿屋市郎右衛門 今津屋榮次郎	兵庫屋清左衛門 天滿屋七郎兵衛 古座屋又三郎	神崎屋佐七 古座屋辰次郎 今津屋五郎右衛門	
月二十	月十	月八	
いづみや甚藏 南部屋清右衛門 今津屋五郎右衛門	加嶋屋多七 神崎屋惣兵衛 今津屋平兵衛	伊勢屋與兵衛 龜屋伊兵衛 虎屋八太郎	
戊年行事 <small>(同カ)</small> 新天滿町 同	同支配方		

月三	月正		
神崎屋佐兵衛殿 龜屋伊兵衛殿 今津屋榮次郎殿	兵庫屋清左衛門殿 北國屋九郎兵衛殿 古座屋又三郎殿	海部堀川町 佃屋五兵衛殿	代判惣右衛門殿 新靱町 神崎屋宗兵衛殿
月四	月二		同
古座屋又三郎殿 尼屋市兵衛殿	虎屋八太郎殿 古座屋辰次郎殿 今津屋五郎右衛門殿	加嶋屋多七殿	天滿屋助七殿
月十	月八	月六	月四間
今津屋榮次郎殿 兵庫屋清左衛門殿 天滿屋七郎兵衛殿	虎屋五郎兵衛殿 龜屋伊兵衛殿 伊勢屋與兵衛殿	古座屋八藏殿 北國屋九郎兵衛殿 今津屋五郎右衛門殿	天滿屋七郎兵衛殿 熊野屋重兵衛殿
月一十	月九	月七	月五
虎屋八太郎殿 天滿屋市郎右衛門殿 今津屋五郎右衛門殿	佐野屋留藏殿 南部屋清右衛門殿 北國屋源之助殿	泉屋甚藏殿 古座屋辰次郎殿 今津屋榮次郎殿	天滿屋市郎右衛門殿 龜屋市兵衛殿

月七	月五	月三	月正
龜屋伊兵衛 神崎屋宗兵衛 今津屋榮次郎	虎屋八太郎 升屋喜七 古座屋又三郎	兵庫屋清左衛門 北國屋九郎兵衛 今津屋榮次郎	加嶋屋多七 北國屋源之助 天満屋市郎右衛門
月八	月六	月四	月二
虎屋五郎兵衛 南部屋清右衛門 伊勢屋與兵衛	泉屋市兵衛 天満屋七郎兵衛 北國屋源之助	尼屋市兵衛 龜屋伊兵衛 今津屋五郎右衛門	神崎屋辰藏 南部屋清右衛門 今津屋二兵衛
月一十	月九	月一十	月九
代判 仁兵衛 古座屋辰次郎 新鞆町	代判 宗右衛門 鷺屋與七郎 新天満町	泉屋甚藏 神崎屋宗兵衛 今津屋仁兵衛	佐野屋留藏 天満屋市郎右衛門 今津屋五郎右衛門
月二十	月十	月二十	月十
和泉屋甚藏 北國屋九郎兵衛 今津屋五郎右衛門	神崎屋辰藏 天満屋七郎兵衛 北國屋源之助	加嶋屋多七 天満屋七郎兵衛 北國屋源之助	古座屋又三郎 北國屋九郎兵衛 古座屋八藏

月四	月二	月正	海部堀
佃屋五兵衛 升屋喜七 北國屋源之助	古座屋八藏 神崎屋宗兵衛 今津屋仁兵衛	南部屋清右衛門 神崎屋辰藏 古座屋又三郎	兵庫屋清左衛門 同 加嶋屋多七
月五	月三	月正	丑年月行司
佐野屋九兵衛 北國屋九郎兵衛 伊勢屋與兵衛	虎屋五郎兵衛 天満屋七郎兵衛 今津屋榮次郎	尼屋市兵衛 龜屋伊兵衛 今津屋五郎右衛門	
月二十	月十	月八	月六
和泉屋甚藏 北國屋九郎兵衛 今津屋五郎右衛門	神崎屋辰藏 天満屋七郎兵衛 北國屋源之助	虎屋八太郎 龜屋伊兵衛 今津屋仁兵衛	泉屋市兵衛 天満屋市郎右衛門 古座屋又三郎
月一十	月九	月七	月七
尼屋市兵衛 竹屋喜七 伊勢屋與兵衛	川崎屋嘉兵衛 神崎屋惣兵衛 今津屋榮次郎	泉屋甚藏 南部屋清右衛門 今津屋五郎右衛門	

延享年開ノ問屋仲買

今ヲ距ル百五十年前即チ延享時代ニ於ケル諸商人ノ問屋及ヒ仲買ハ最モ組織ヨク整ヒ又タ最モ旺盛ヲ極メタルガ中ニモ米商人ハ仲買ヲ合セテ千三百軒餘アリ當時ノ米相場立會ハ北濱一丁目及ヒ堂島新地二丁目ノ二ヶ所ニテ米賣買遺線ノ兩替株五十軒アリ其他ノ諸問屋ハ

京積俵物買問屋	古組 上中ノ島町	大川町
	播磨屋六兵衛	柳屋三郎右衛門
	堂島一丁目	堂島一丁目
	池田屋三右衛門	近江屋次郎右衛門
	舟大工町	舟大工町
	柳屋 彌兵衛	松屋 仁兵衛
渡邊橋		堂島中町

立花屋五郎吉	播磨屋忠兵衛
玉水町	伏見屋三右衛門
嶋屋市兵衛	
渡邊橋	津輕屋太右衛門
	米屋半之助
	新組 裏大工町
	道頓堀
	近江屋三右衛門
	和泉屋新右衛門
	京橋二丁目
	今橋南詰
	奈良屋仁兵衛
	日野 九兵衛
尼崎町	大川町
	米屋助右衛門
	嶋屋勘右衛門
	中ノ島
	新地中一丁目
	池田市兵衛
	永田屋彌兵衛
	中二丁目
	伊勢屋伊兵衛
中一丁目	同

池田屋清兵衛	播磨屋庄兵衛
中一丁目	同
大阪屋平兵衛	

京積俵物船宿
農人橋西詰

思案橋西詰

松屋 仁左衛門

四郎 右衛門

本商人江戸、京、堺、大阪道路人

備後町一丁目

河内屋源兵衛

堺、大阪、長崎廻船荷物積問屋

北濱一丁目

北久太郎町一丁目

河邊 七兵衛

堺屋 彌左衛門

下博勞町

笠屋 五郎兵衛

唐和藥種問屋仲買

問屋二百八軒

組頭 内平野町

同

伏見屋久兵衛

河内屋七郎兵衛

淡路町一丁目

道修町一丁目

小西 茂兵衛

糟屋久右衛門

平野町一丁目

日野屋清三郎

唐和めうばん賣所

安堂寺町一丁目

順慶町三丁目

大和屋利兵衛

平野屋 茂吉

唐卷物反物問屋

伏見町

加賀屋與兵衛

加賀屋四郎兵衛

同 七郎兵衛

同 庄五郎

炭屋 作兵衛

兩替屋仲買

兩替惣仲買六百六十軒

定行司 今橋一丁目

同二丁目

天王寺屋五兵衛

鴻池屋善右衛門

同二丁目	高麗橋三丁目	今橋二丁目	天滿
平野屋又右衛門	油屋彦三郎	平野屋利兵衛	小橋屋三郎兵衛
平野町三丁目	道修町二丁目	北濱二丁目	平野町二丁目
和泉屋新右衛門	和泉屋助右衛門	鹽屋六右衛門	河内屋市左衛門
尼崎町	今橋二丁目	江戸堀五丁目	阿波座
天王寺屋六右衛門	天王寺屋久右衛門	大庭屋次郎右衛門	中屋八兵衛
今橋一丁目	新靱	南錢屋仲間	總組合百軒
平野五兵衛	助松屋三郎太郎	行司 石灰町	大和橋北詰
折屋町	瓦町二丁目	石灰屋吉右衛門	榎並屋藤右衛門
大阪屋四郎三郎	川崎屋三右衛門	金田町	
高麗橋一丁目	折屋町	京屋甚兵衛	大和屋勘七
長濱屋太郎兵衛	加賀屋彌右衛門	三郷總錢屋	總錢屋三百軒餘
今橋二丁目	新靱町	行司 天滿	布屋町
鴻池屋新七	助松屋利兵衛	帶屋清次郎	小橋屋市兵衛
過書町	北濱二丁目	南新町一丁目	土佐堀一丁目
天王寺屋吉九郎	天王寺屋作兵衛	河内屋新右衛門	俵屋宇兵衛

谷町二丁目	平野屋六兵衛	總代 一人	道具屋庄右衛門
三郷質屋	南組北組四百軒餘	下役二人	九兵衛、權兵衛、
年寄 本町三丁目	道修町二丁目	古手屋仲買年寄并ニ手代	拾參組仲買千六百人
綿屋市右衛門	紙屋吉右衛門	年寄 長町四丁目	大寶寺町
惣代 南本町四丁目	鎗屋町	丸銅屋新十郎	吉屋治兵衛
矢野彦右衛門	淺谷利助	德井町	錦町二丁目
天滿組質屋	天滿組二百軒餘	小西源兵衛	椀屋五兵衛
年寄 天滿二丁目	今井町	田島町	周防町
中村左近右衛門	今井喜左衛門	河内屋治兵衛	永田屋喜兵衛
總代 金屋町	天滿五丁目	周防町	
阿波屋彌七	森屋庄兵衛	菊屋勘四郎	
古鐵古道具屋仲間	仲買三千二百四十三人	組頭 四十三人	會所鰻谷二丁目 松島屋喜八
年寄 一人 北久寶寺町二丁目		同上町組仲買	壹千人
刀屋佐兵衛		年寄 鹽町四丁目	上魚屋町
組頭 九十二人(但シ一番組ヨリ九十二番マデ)		金屋七郎兵衛	河内屋五郎右衛門
		山崎町	白金町

甲賀屋勘右衛門	備前屋治兵衛	伊丹屋甚右衛門	板屋孫三郎
組頭 三十九人		長堀十丁目	立賣堀西ノ町
手代リ 白金町	白金町	板屋 孫作	大津屋源右衛門
平野屋矢兵衛	布屋儀兵衛	京町堀四丁目	立賣堀西ノ町
同仲買組仲買 七百人		赤穂屋七右衛門	野里屋九兵衛
年寄 山崎町	錦袋町	榎木町	西笹町
河内屋治兵衛	備前屋庄兵衛	今木屋太郎兵衛	尾崎屋仁右衛門
橘通り二丁目	大寶寺町	立賣堀北側四丁目	阿波町
和泉屋忠右衛門	升屋權兵衛	近江屋九兵衛	白木屋市兵衛
北勘四郎町	西高津町	立賣堀五丁目	富田屋町
北國屋彌兵衛	近江屋安兵衛	加賀屋七兵衛	平野屋又兵衛
組頭 二十四人	手代リ 紀田屋喜兵衛	阿波材木問屋	六軒
同本町組	一組一町ニ行司アリ	立賣堀	白髮町
同鹽町組	堺筋ヨリ心齋橋	平野屋庄右衛門	葉屋三郎兵衛
材木屋	會所七郎右衛門町二丁目	長堀	立賣堀
十人衆 七郎右衛門	長堀十丁目	鍋屋庄兵衛	近江屋九兵衛

白髮町	富田屋町	長堀十丁目	白髮町
桔梗屋七右衛門	平野屋又兵衛	板屋 彌兵衛	八萩屋權兵衛
日向材木問屋		問屋橋	
伏見堀兩國町	備前屋吉兵衛	平野屋茂兵衛	
立賣堀	備前屋	土佐材木問屋	同
近江屋久兵衛	藤屋吉左衛門	白髮町	桔梗屋七右衛門
北國材木問屋	京町堀五丁目	同町	富田屋町
阿波座堀	加賀屋七兵衛	北國屋次右衛門	平野屋又兵衛
大津屋九兵衛	立賣堀西ノ町	同酒桶類天井板杉材木問屋	同町
立賣堀西ノ町	大津屋六兵衛	立賣堀中ノ町	同町
飛彈屋八兵衛		新屋善兵衛	新屋市郎右衛門
秋田材木問屋	玉水町	同町	同町
鳴町二丁目	山下八郎右衛門	新屋五兵衛	同町
長濱屋源左衛門		同町	同町
尾張材木問屋		高津屋次右衛門	同町

同一丁目	西笹町	同 濱田	松平周防守	藏屋敷	江戸堀三丁目
吹田屋作兵衛	今木屋太兵衛	濱田半紙	島町二丁目	藏本	長濱屋源左衛門
諸國紙問屋		石州津和野	龜井信濃守	同	江戸堀三丁目
長州萩 松平大膳大夫	藏屋鋪 土佐堀一丁目	吉賀半紙	同	尼ヶ崎町二丁目	
山代半紙	上中ノ島町	藝州 廣島	松平安藝守	同	本五分一町
德池半紙	藏本 上田三郎左衛門	廣島半紙	堂島新地二丁目	藏本	鴻池屋又四郎
鹿野半紙 (但シ代銀藏本取り)		杉原紙	藏本	岩井屋仁兵衛	
周防 岩國 吉川左京	同 中ノ島常安町	諸口紙 (但代銀藏本取り)	土佐 高知	松平土佐守	同
岩國半紙	常安町	土佐半紙	長堀問屋橋	同	長堀白髮町
同小半紙	藏本 鹽屋新兵衛	中 折	藏本	平野屋仁左衛門	
同 片折	尼ヶ崎町	大半紙	高麗橋一丁目		
同 黒方	掛屋 鴻池又四郎				
同 徳山	毛利但馬守				
同	同 江戸堀四丁目				
次万半紙	今橋一丁目				
五ヶ村半紙	藏本 平野屋五兵衛				
(但シ代銀藏本取り)					

仙 貨	同	袴屋彌左衛門	四ッ橋	四ッ橋	木津屋利兵衛
備後 三好	(但シ代銀藏本取り)		木津屋喜太郎	同	
三好杉原	藏本	岩井屋仁兵衛	同	藤兵衛	井筒屋四郎兵衛
奉 書 (但シ同上)			同	播磨屋十左衛門	
筑後柳川	立花飛彈守	藏屋鋪 常安町	伊豫杉原仙貨問屋	江戸堀三丁目	西横堀
柳川半紙			同	傳法屋五左衛門	豊島屋伊左衛門
津々半紙	四軒町		同	同	三丁目
周防脇半紙問屋	藏本 平野屋仁兵衛		同	加島屋三郎兵衛	
土佐堀一丁目	掛屋 同	伊兵衛	同	同	同
堺屋治兵衛	江戸堀三丁目		同	同	同
江戸堀二丁目	堺屋八兵衛		同	同	同
大和屋藤兵衛	白子町		同	同	同
廣島脇半紙問屋	吉野屋太郎兵衛		同	同	同

助松屋佐兵衛
備中杉原厚紙問屋
尼ヶ崎町一丁目
大津屋利右衛門
豊後半切杉原問屋
今橋一丁目
紙屋喜右衛門
大川町
豊後屋安左衛門
石州脇紙問屋
立賣堀北四丁目
和泉屋源次郎
海部堀
石見屋與吉
同
伊賀屋十三郎

北濱一丁目
富田屋惣兵衛
平野屋平兵衛
海部堀
石見屋源兵衛

組合仲間濫觴

一當大阪表從先年申合仲間相續之義者元來江戸表ニ而者諸商賣一品銀問屋株式相立有之候得共當地廿四組之内綿店組表店組油居組釘鐵店組藥種店組乾物店組之外者入交商賣之仲間ニ而一品銀之積株無之商法之取締不宜自然與買次直段期法ニ而御府内商體之差障ニ相成候ニ付江戸問屋中ヨリ當地取扱方品柄ニ寄一品銀立同商賣組合買次下シ直段高下混雜無之様且一己之利潤ニ不泥猥ニ雜買元方之人氣ニ拘リ候儀不致誠直之下方相成候様申合相立將於江戸表モ當地買次之儀其筋組合之外江注文致開鋪規定雙方熟談行届其品柄ニ寄組合相立連綿相續

致來候處去ル天保十二丑年手廣之御趣意ニ而諸問屋組合御解放ニ相成候所其後商法相崩れ不取締ニ而直段引下方難行届却テ不融通ニ相成候ニ付猶又去ル嘉永亥年諸問屋組合再興被爲 仰出既ニ貳拾四組江戸問屋株前々之通取締方被爲 仰付候儀者全土地繁榮之 御憐政誠ニ廣太之御慈悲與難有仕合奉存厚御諭之趣相守一己之利慾ニ不迷實直正路ニ分々之渡世相營可申儀肝要之事ニ候事

一御公儀様御法度御觸之趣堅相守ノ賣買ノ方決而致開鋪候支

一貳拾四組積問屋仲間一體之儀者不及申ニ當組内限評議之儀ニ而も致治定候儀決而相背申開鋪候事

一當組内行事順番之通無違背相勤可申尤諸般依怙最貞取計致開鋪候

一何事ニよらず集會按内之回章相廻リ候ハ、無失念右日限時刻無遲參出席可致候自然無據差支等有之

候ハ、其段前廣ニ行事方江相斷可申候就中遲參不參等致ながら評決ニ相成候儀跡ヨリ一己之存寄申立開鋪候支

一御公用及積仲間一統該示談并組内諸用向等行事顯露ニ相知れ候差支有之節ハ次行事相勤可申候支

一仲間諸用向之儀者一統示談之上取極候儀ハ勿論之儀ニ候得共爲差儀ニも無之儀ニ度々致集會候而者雜費相嵩候道理ニ付大體之儀者行事申談書役ニ肝煎申付成丈集會無之様可取計候支

但常式書物并肝煎料盆暮兩度ニ金貳百疋宛相贈猶又臨時多用之節者其仕儀ニ寄別段心附可相贈候支

一回章其外使等之賃錢者其節ニ可遣候得共盆暮爲祝儀金五拾疋宛差遣可申候支

一爲海上安然例歲三月十七日於 御神樂奉奏其日行支交代之支

御神樂料 銀拾貳匁
 山上金大夫殿の御初穂 金百疋
 但年中組内一同の配札ニ不及尤家別より別段
 御初穂不差出旨掛合有之候儀御信仰之御方者
 御寄附可爲成候
 天下茶屋村 金魚屋傳兵衛
 參詣休息所
 大提灯壹張預ケ有之左之日柄ニ獻燈之支
 正月三ケ日 三月三日 三月御神樂當夜
 六月御神支兩日 八月朔日 九月九日
 年中卯ノ日 右年中凡四十ケ日
 但八匁掛蠟燭一夜壹挺宛都合貳斤御神
 樂參詣之節金魚屋の預ケ置候支
 右獻燈世話料 壹ケ年分金壹朱
 參會之節往返茶代 三百文
 右參會之日持參相渡

一 參會料理代壹人前六匁
 晝支度并供迎で燵番等共壹人前壹匁五分宛
 酒 上 五升 壹樽 普酒壹升 酒鹽
 同 三升 同 外ニ上三升 用意
 蠟燭 貳十目掛 十二挺 貳斤持參
 五匁掛取合
 一 臨時集會支度料理代 壹人前六匁宛
 但酒蠟燭持參之支
 一 右等諸入用顔割尤行事取替置肝煎ニ請拂爲取計候
 支
 一新規加入 銀五枚箱銀
 一株讓請 同貳枚同斷
 右兩様共 銀壹兩 肝煎祝儀
 同貳匁 小使の同斷
 但右振舞寄合之通
 一 組内家別之内實子讓り分家又者幼年ヨリ致奉公年
 季無難ニ相勤別家之仁等加之節者 金貳百疋

但振舞ニ不及候得共參會之節別看金貳百疋差出
 シ顔見せ挨拶可有之支
 右出銀之分組内の預リ置致積銀ニ寄進事或者無據
 入用等有之節相談之上相用ヒ可申支
 一 右組内所替リ張紙無等閑可取計候支
 但當人召連行事罷出地方御役所惣會所の差出候
 書附行事調印之支
 當人者張紙ニ調印差出ニ者不及調印
 一新加入讓受等者於下宿廿四組名前帳控之前文并
 仲間規定帳爲讀聞候上調印爲致候支
 新加入 銀貳兩 筆耕料
 同貳匁 小使心附
 讓受 銀壹兩 筆耕料
 同壹匁五分 小使心附
 變名變宅
 代替り代判替り等銀三匁 筆耕料

家主替り 計
 一 右張紙之節支度入用當人ヨリ賄可申候支
 右之通前々之振合ニ基示談之上取究候廉々後年至迄
 無等閑相務可申候依而承知連印如何^(件)
 嘉永五子年二月

諸國荷受問屋 安永、嘉永
 明治二年調査
 諸國荷受問屋ハ一番組二番組三番組ノ三組ニ分チ一
 番組ハ安永年間 今ヲ距ル事
 百二十年間前ノ開業ニシテ其組合ノ盛
 シニナリシハ今ヲ距ル七十年即チ文政以來ノ事ナリ
 其始メ近江ノ商人ガ蝦夷松前ヘ諸物品ヲ送り而シテ
 彼ノ地ノ產物ト交易スルニ起リタルモノナルガ安政
 四年今ノ西區靱町ヘ箱館產物會所ヲ設クルノ時ニ當

リテハ此問屋ト稱スルモノ十三戸外ニ附船小宿ナルモノ十八戸アリテ貨主ヨリ送り來レル物品ノ販賣ヲ引受ケ以テ其手数料ヲ取ルヲ業トナシタリ然ルニ明治元年右ノ函館產物會所ノ開拓使所轄ニ屬スルヤ問屋ハ即チ其取扱人トナリ附舟小宿モ亦タ取扱人並トシテ官コレニ物品ノ斡旋ヲ委任シ金額百分ノ四ヲ割キテ之レヲ其取扱人ノ酬勞資ニ充テタリ次キニ同五年右ノ產物會所廢セラレ貸附會所ト改稱スルヤ其取扱人等結合シテ又更ニ諸國荷受問屋ヲ組織シタリ同十二年荷受問屋一番組ト稱シ北海道ノ產物ヲ取扱ヒ金額百分ノ六ヲ得テ之レヲ手数料トナシ問屋仲買相折半シタリ而シテ其問屋ハ追々ニ増加シテ南堀江二番町北堀江三番町西道頓堀五丁目幸町通五丁目以上ノ各所ニ六十五戸ノ問屋散在スルニ至レリ仲買ハ肥物商二百戸乾魚鹽魚商二百三十戸昆布商二十五戸アリ其經紀スル品類ハ身缺、白子、鯛、鱈、鱈棒、煎 鯛、絞、粕

海鼠、乾鰻、乾鰯、鮭、鱒、昆布等凡ソ一百種ニ及ベリト言フ皆コレ北海道ノ產ナリ二番組ハ寛永五年阿波座へ新堀ヲ開鑿シ薩州藩領内ノ貨物ヲ陸揚ケスル所トナシタルヨリ同所ヲ薩摩堀トハ稱スルナリ同八年ヨリ開業シテ薩州藩ノ產物ヲ取扱ヒケルガ其後正徳四年ノ調ヘニヨレバ其定問屋ト稱スルモノハ七戸アリシノミ安永八年九月ニ至リ唐物賣買取締改メ役ヲ設ケ尙ホ此時ヨリ仲買ノ株式ヲ定メケルガ定問屋七戸ノ外ニハ小問屋三十戸モアリ天保年間諸問屋ノ仲買株式廢セラレ、ニ及ビテ薩摩問屋トハ改稱シタリケリ

然ルニ明治六年更ニ諸國荷受問屋ト改メ其後又ク荷受問屋二番組ト改稱シタリ是レマテ其手数料ハ賣買金額百分ノ三若クハ百分ノ五ヲ取リタレトモ明治元年以來ハ百分ノ一ヨリ百分ノ三ニ至ル總テ賣買ハ物品ノ適宜ニ從ヒ貨主ト協議シ入札或ハ別ニ評議シテ

相場ヲ定ムルヲ例トシタリ爲替金ハ貨主ノ示談ニヨリ信用ヅクニテ貸與スルコトアリ現在仲買ノ數ハ未タ調ラベ得ザレドモ問屋ハ確カ南堀江二番町北堀江三番町西道頓堀五丁目幸町通五丁目等ニテ凡ソ三十戸モアラン而シテ其品類ハ砂糖、鯉節、木綿緋縞類、椎茸、樟腦、鷄卵、煙草、茶種、生蠟等ニシテ殆ント一百種以上モアラン其產國ハ左ノ如シ

砂糖 鯉節 樟腦 鷄卵 茶種 生蠟 薩摩
 鯉節 椎茸 樟腦 鷄卵 茶種 生蠟 日向
 煙草 大隅
 木綿 緋縞 琉球

三番組ハ明和四年九月ノ開業ニシテ安永五年五月ニ至リ仲買株式ヲ定メ天明元年ノ頃ヨリマスノ盛ンニナリ寛政十年ニハ船宿十七人ヲ選定シテ荷附ノモノヲ止宿セシムル事ニナセシガ貨物ハ唯タ問屋ニ限リテ陸揚ケヲナシ來レリ文化四年ノ調ラベニハ大問

屋二戸別問屋六戸其他ノ問屋三十八戸ト註セラレタリ後チ明治五年一樣ニ仲買株式ヲ廢セラレ同六年諸國荷受問屋ト改稱シ又タ更ニ荷受問屋三番組トハ稱シタリ茲ニ組合ヲ設ケ手数料賣買金額(分カ)三分ノ三ヲ取り鯉節ハ特ニ百分ノ四諸紙ハ百分ノ一其他ハスベテ百分ノ二タリ又爲替金ヲ貸與スル時ハ每一日ニ四厘若クハ五厘ノ利子ヲ以テ約定シタリ現今其問屋ノ數南堀江貳番町北堀江三番町西長堀五丁目等ニテ三十三戸外ニ仲買ハ諸紙商七十戸椎茸商十五戸鯉節商二十五戸鹽魚乾魚商十戸アリ此等ハ皆紙、椎茸、砂糖、鹽魚、乾魚、鯉節、鷄、海草、蕨、蜜、蜜蠟、炭、珊瑚、牛、馬、革等凡三十餘種ノ商品ニテ多クハ土佐國ノ產出ニ係ルモノタリ

薩摩問屋商記録

荷受問屋商組合ノ内當今九州一圓之分二番組ノ内舊薩摩問屋株仲間條目并申合規則書

一 札

一薩州從御領國中登荷物之儀ハ定問屋七軒并小問屋三十軒之外脇方ニテ取捌不相成候趣今般
京極伊豫守様土屋駿河守様御立會之上西於御役所御前株御免被爲成下難有奉畏候被爲仰出候ケ條之内仲間一統急度相守可申御證文左之通

差上申一札

於當表出所不知唐物賣買仕候者共以來取締之仕方私共存寄御尋被成候處夫々書付以申上候ニ付尙又御札之上江戶表ニ被仰上此度依御下知諸向取締方被仰付

候間其趣ケ條を以被仰渡候

一薩州ヨリ差登リ候荷物定問屋に到着ノ節爲致從御奉行處御同心方被差遣來候處以來右致之節取締役をも差添被遣候間心ヲ附可申旨被仰渡候

一薩州小問屋并ニ脇店藥種屋當地ハ勿論近在兵庫西ノ宮迄之分不殘株ニ被仰付組合をも定句ニ寄限改役ニ被仰付不正ノ品賣買無之様取締可申付旨被仰渡候長崎近國行と名附商人共手前ニテ落札商之内を相殘候類并ニ市中遣用之藥種ニテも相場宜候得ハ當地に相廻し除場と唱賣出シ且九州西國筋ヨリ右同様ノ趣ニテ賣掛代等ニ相渡候儀も有之よし右何れも無手板ニテ紛敷候間以來右様之荷物引受候ハ、其度々
〔原本此ノ所壹行餘空白〕

御奉行所へ訴出御差圖之上賣買可致候一旦諸國に賣出候藥種買戻候節モ手板無之分ハ右同様相心得候旨被仰渡候

一こほれ物と唱長崎ヨリ差越候唐物之儀差登セ候儀御差止メ候間自然右目ニテ差越候者可訴出旨被仰渡候

一私共儀取締之ため向後株々御定被成定問屋ノ支配ニ被仰付私共之内ヨリ改役之者被仰付仲間之内ニテ怪敷唐物引請之有無爲御糺被成候間以來紛敷品賣買仕間敷被仰渡候

一私共仲間之儀當時二十九軒有之候得共三十軒ニ御定株ニ被仰付候間右一軒不足ノ分望ノ者有之ハ御差加被成尤新株ノ儀ニ付取締冥加金被仰付候間三十株より初年金二十兩翌年より金十兩宛割合上納

可仕候尤此度新株御免ノ上紛敷品と存ながら賣買仕候者株々御放急度御咎メ可被成被仰渡候

一私共儀仲間改役被仰付候間唐藥問屋仲買本人共ノ内取締役之差圖を受仲買ノ者共不正ノ品賣買ノ有無平日心懸ケ相糺シ怪敷賣買及見聞者取締役に相通シ窃ニ可訴出旨御取上ノ品ニ準シ御褒美をも被下置候間聊粗略ナク諸事嚴密ニ可相勤候若等閑之儀於有之者改役被御取放急度咎メ被成候旨被仰渡候

右之通被仰渡之趣難有奉畏候仍而御請證文如件

安永八年亥九月十一日

薩州小問屋

宮崎屋 八兵衛 印

和泉屋 新右衛門 印

鹽紀屋 彌兵衛 印

御奉行所

右ハ安永八年亥九月十一日

被仰渡候趣一統奉長堅相守可申事

- 一從御公儀様被爲仰出候御法度之儀堅相守可申候并ニ薩州御國ヨリ被仰出置候他國出御法度之品ニ御印鑑無之荷物一切引請取扱仕間敷候萬一紛敷品持登候儀御座候得者間付次第早速御斷申上候尤私共之内タリトモ紛敷荷物取捌仕候者御座候得者少も不匿置承り次第是亦早速御斷可申上候事
- 一御公儀様御屋鋪様定間屋に差出シ候帳面ノ通堅相守可申事
- 一荷物相揚次第御届申上候

御公儀様御改受候上賣捌可申事
 一定間屋并ニ當仲間ノ外薩州荷物引受不相成候間自然脇方へ荷物致着及見聞候者無用捨早速年行司へ爲相知可申事

- 一水揚荷物粗末無之様心懸賣方萬端致丹精正路取計客方氣受宜敷様可致候事
- 一分荷物仕切之儀同直段乍致商内相問屋ヨリ少ニ而モ商直ノ仕切差出シ申間敷候尤代呂物善惡之儀ハ格別ニ候得共巧之儀ハ勿論此度ノ仕切高直ニ差出シ置候者後日荷物多數可囉受扱ト一己ノ利徳ニ迷ヒ亦誰ハ何程ノ直段ニ仕切相成候間同直段ニ可致扱と雙方へ追掛空言を信篤と不相糺相問屋ノ迷惑をも不顧薄口錢ニ而高直仕切差出候儀致間敷成丈賣方出精口錢ハ定法ノ通申請右様之儀互ニ相慎可申事

一送り狀附并届荷物船頭船中ニ相頼送り先之書通隠置候而引請賣支配致候儀後日ニ相顯候とも仲間評議之上右口錢銀者元問屋相渡シ尙其節頼之筋によりて者一統過料振舞可致事

一元船へ仲買を連行商内事致亦ハ自分直ヲ定引請候儀堅致間敷候事

一兵庫表迄も罷越右様致間敷併ながら當表に廻着荷物潤澤ニ相成候様心懸可申事

一仲間内ニ水揚致有之荷物主勝手ノ筋ニテ送り替儀亦者表向ハ不引合ニ付可積下杯種々名目を付内實ハ外方に被持參候共決而引受申受申間敷候俱々荷主へ相斷強而送り替被相望候者年行司申出年行司より其譯相糺元問屋正路之儀候者行司方ニ而正路ニ賣拂口錢者元問屋不筋之儀有之候者口錢之儀ハ仲間一統評議可致候右様之荷物引受後日ニ相顯候

共元水揚之間屋何品ニ不寄代銀高ニ五分口錢差出シ可申事

一御國許并中途問屋衆中より何荷物ニ不限一手捌被相頼共不取扱相斷可申尤御屋鋪様被仰付候儀有之節ハ一統集會評議可致事

一仲間内ニ而商内有之候荷物空言を以客人を迷し妨ニ相成候儀決テ致間敷事

一都而右様之類當時者無口錢候共後ニ得意ニも可相成底意合一己ノ欲心ヲ存シ他家ノ難澁ニ相成候儀相互ニ致間敷事

一仲買向荷物掛渡之儀并ニ代銀取引方法相守申候若シ故障議合有之節ハ一己之不任了簡仲間一統評

議之上行司本會議ニ懸合可申事

- 一 仲買之内等ニ利不盡之儀可申候仁在之者不隱置申立一統評議之上其筋相糺事ニ寄り候而ハ以帳紙一札其仁の商内致聞敷事
- 一 藏入荷物開ニ相成候共藏敷銀申受聞敷藏敷銀無之候逆荷物竈末ニ致聞敷候萬一水火難有之候共一切相辨不申候夫故先年ヨリ藏敷銀取來不申候事
- 一 爲替銀并ニ引宛銀其外取替銀利息ノ儀ハ先例通り一貫目ニ付一ヶ月拾匁より以上にて取引致聞敷假令廻り合銀子有之候共仲買一統申合相背申聞敷事
- 一 從前年分荷物致來候客方存より違ニ而分荷物不致候節ハ相問屋ヨリ荷主方に引合ノ趣意相糺其ノ上互ニ挨拶可致事

- 一 客方勝手ニ寄居問屋被相變候節ハ元問屋に右之趣引合差支無之哉互ニ挨拶可致候事
- 一 初メテノ客船着致候者年行司へ申出客人在處方角掛リノ問屋へ引合ノ上引受可申事
- 一 薩州ヨリ上阪之仁旅宿之義ハ定問屋并ニ當仲買ヨリ外宿不相成趣御屋鋪様ヨリ被仰渡候聞自然外宿被致より右之趣其仁申聞押テ外宿致候者其段相斷可申事

- 一 冥加金拾兩毎年十一月十五日上納之事
- 一 伊勢住吉高野山右三ヶ所毎年金貳百匁宛奉納可致事
- 一 變宅名前替讓リ替ノ義御座候者前以年行司に相斷

可申事

- 一 正五九月毎年三度宛參會相勤并ニ客船安全ノタメ住吉ハ神樂料拾貳匁差上年行司參詣可致事
- 一 正月七月十月行司宅に銘々取持之斤量持寄相例可申事

候者休株ニ御張紙可被下候事

- 一 仲買ノ御冥加金諸掛リ物一ケ度ニ而も不納ニ相成候者御願申上株名前相除可申事

- 一 休株再度商賣相妨候節ハ其筋合篤ト相糺候上定法ニ相背候義無之候者仲買冥加金并ニ諸懸リ物休株中仲買ヨリ辨商都而出銀請取可申事

- 一 株帳名前替又ハ諸親類に讓リ候節行司に相届差圖を請可申尤薄縁ノ者并ニ他家讓リ候義決而致聞敷事

- 一 諸荷物賣買仕方ノ義ハ先年ヨリノ定法相守如何様ノ義御座候共新法ノ商内等仕聞敷事

- 一 仲買ノ内差構ひ在之者御國人者勿論親類縁者たりとも養子并ニ同家人亦ハ奉公人日雇にも召抱申聞敷尤其砌仲買中能々聞合可申事

- 一 御公儀様御屋鋪様ヨリ御申渡被成候義尙亦御觸書之義ハ勿論年行司ヨリ申渡之趣堅相守可申事

- 一 新加入又ハ讓リ請るも七年間仲買割戻シ金割符不致尙勝手ニ付當時懸リ物等出銀無之方に者同様ノ事

- 一 私共之内勝手ニ付同家人等致候乎居處紛敷義御座

一無據義有之候共貸株貸名前等致開敷尙又表向者自
分致商賣候様見世掛ケ内實ハ貸株同様之致方堅致
開敷候事

一毎年正月五日行司宅ニ而初相場寄合之節諸帳面爲
讀聞可申事

一仲間寄合雜用銀之義惣株ニ相懸リ筋者假令抜寄ニ
而も惣分之割方ニ出銀可致事

一仲間諸懸リ物諸雜用等先年ヨリ休株ノ分相殘ル仲
間より差出し有之ニ付新加入親類讓リ請主より右
諸懸リ物懸戻シ金等左ノ通り出金可致候相究在之
候事

- 一金五拾兩也 新加入ノ仁ヨリ
當仲間ノ出金
- 一同 拾兩也 親類讓リ受主ヨリ
右同斷出金
- 一銀 拾 枚 休株ノ仁ヘ當仲間
ヨリ割戻シ直渡

右之外諸祝儀別紙帳面ニ在之候事

一仲間寄合致候節年行司ヨリ廻文差出シ候者無違參
席ノ上銘々無腹藏申談其宜敷を以決定可致萬一無
據譯筋ニテ不參致候節ハ翌朝行司宅ニ罷越承知可
致事

一年行司兩人ノ袴摺料銀壹枚宛毎年繼渡之節跡行司
世話致先行司ニ差出可申事

一年行司相勤候者都而依怙之沙汰無之正路ニ懸引可
被致尤行司ハ其年ノ頭達ニ習仲間一統無龜略重ノ
差圖を請可申尙又申合ケ條ノ義相背候者有之候者
無用捨年行司ヘ可斷出亦行司モ聞捨開敷事

一名前替等ノ節ハ株帳同様帳面に張紙調印可致事右

之條々安永八年天明八年寛政十年文政十二年天保四
年仲間一統規定致置候處年月相過忘却ノ輩モ可有之
別而天保十四年卯八月

御公儀様御趣意ニ付問屋仲間組合等御取離ニ相成候
御當仲間之儀ハ唐赤毛之取締ニ携候開商賣筋ハ御取
締ノ義ハ勿論年行司之義モ是迄之通被爲居置荷請屋
と相唱可申旨被仰渡有之候處此度問屋組合ノ義再興
被仰付冥加金ノ義ハ不及御沙汰候間其旨を存諸物價
際立直段引下ケ候様正路ニ可致其外被仰渡之趣難有
奉畏深ク太平ノ御仁德ヲ奉仰彌正路ニ渡世仕右之條
々嚴重ニ相守可申一己ノ任勝手致違背候者仲間一統
議之上

御公儀様御屋鋪様ニ奉願上株帳名前相除可申其節爲
無之違亂銘々致印形候條仍而如件

嘉永四年 辛三月
亥三月

一統銘々調印有之

奉御奉行處差上

嘉永四年 辛三月寫
亥三月

薩州 小問屋 仲間名前帳

差上申一札

一今度唐物賣買御取締ニ付唐藥問屋藥種仲買本商人
ノ内ニテ取締役被仰付私共一同株ト御定問屋之内
改役ノ者被仰付定問屋ノ支配ニ被仰付候之問紛敷
品賣買無之様相互ニ改合萬一不埒ノ賣買仕候者有
之者不隱置早速御訴可申上候事

一新株之義ニ付爲御取締仲間一同冥加金初年金貳拾
兩翌年金拾兩宛上納被仰付候開翌年度之冥加金ハ
毎年十一月十五日限り無相違上納可仕候事

一私共儀向後株讓リ替候と變宅名前替等仕候節ハ改役ノ者ハ申聞改役より定間屋へ相達當人并ニ改役定間屋申合毎月十日二十日晦日御奉行所へ罷出株帳張替其段改役より取締役へも相達可申候事

右之通被仰渡候上ハ銘々相慎紛敷品賣致開敷候自然紛敷品取扱候ハ、御吟味之上同年ニテ被仰付旨被仰渡奉畏候仍テ如件

安永八亥年十月

薩州 小間屋

連印

右之通候處去ル寅年株札并問屋仲間組合等御停止是迄納來候冥加金銀不及上納其外品々被仰渡問屋仲間御差止ニ相成候節一般ニ唐藥屋と相唱脇店藥種屋并ニ唐絲反物五軒屋唐小間物等夫々賣買筋御取締方ハ

勿論年行司之儀も是迄ノ通被成御居置候旨被仰渡候處今般諸問屋組合等も再興ノ儀ニ付左ノ通被仰渡候一去ル寅年株札并ニ問屋仲間組合等停止是迄納來候冥加金銀上納ハ勿論無代納物無賃人足繼付其外冥加勤之類モ悉免除被仰付候處其以來商法相崩諸品下直ニも不相成却而不融通之趣相聞候ニ付此度問屋組合之儀都而前々通再興申渡彌以冥加金銀上納之義ハ不被及御沙汰候聞其旨ヲ存諸物價際立直段引下ケ賣占買者不及申品劣掛目減等無之一切正路ニ可致賣買候且前ノ諸職人諸商人仲間組合取極候度每新規仲間加入之者有之候共差障申聞敷者勿論其者共より多分ノ禮振舞等爲致候義ハ不相成旨其外取締方ノ義追々申渡有之義ニ而新規商賣相始候義ヲ差構無之筈ニ候間此度問屋組合再興申付候辻前々之如ク株札等相渡候儀ハ無之人數増減ハ勝

手次第ノ事ニ付不筋ノ申合手狭窮屈之自法相立候

義ハ決而不致併其渡世柄ニより無據人數不相立候而ハ差支候義有之品ハ吟味之上明白ニ其謂無之候而ハ容易ニ難聞届義ニ付其段相心得是迄之商法ニ不流質素儉約ヲ第一ニ致諸事奢侈潛上之義無之様相慎深ク太平ノ御仁德ヲ奉仰分々ニ渡世永續致銘々安住ノ冥加ヲ辨四 暮方辨利之義を厚心懸實直ニ産業ヲ營候様可致此上心得違一己ノ利得ニ迷ヒ申渡を不用者有之候ハ、早速召捕遂吟味嚴重ノ御仕置申付仕義寄家業取扱候間聊不取締ノ義無之様精々厚ク申合候

右之通被仰渡一統難有承知奉畏候諸物價引下ケ之御趣意貫通仕候様取計可申尤此後仲間之内變名變宅印形改其外病死名前人代リハ勿論新規仲間加入之者等御座候度毎ニ不洩様御斷申上此帳面張紙可仕候仍而一統連印名前帳差上申處如件

嘉永四辛亥年三月

三十軒仲間

〔此ノ所半丁餘空白〕

右者舊薩州問屋株仲間規則書ニ御座候仍テ寫書差上候也

明治十一年九月

諸國荷受問屋ノ内薩州

二十五番議員 谷崎新五郎

大阪商法會議所

理事御中

〔原本此ノ所「荷受問屋」ト題シ六十二行ノ記事アレドモ本冊第七十一頁下段ヨリ七十三頁ニ至ル「諸國荷受問屋」ト其ノ内容同ジキヲ以テコレヲ省略スルコト、セリ〕

- 一 諸國荷請問屋商之義ハ御府下ニ於テ諸業ニ先立テ諸國荷主ヲ相手ニ仕時ニヨリテハ土地之盛衰ヲ醸シ諸物品輸出入ニ關係シ重大之商業ニ付商則明瞭ニ相立取引上曖昧タル儀無之様一同勉強諸國之荷主安心シテ盛大ニ諸物差登候様仕度依之舊習ヲ一洗シ改革仕度候事
- 一 去ル明治六年別紙之通規則書改正御許可相成候得共追々相亂レ當今左之廉々
- 三條 入港之船々ハ仲買素人直乘荷切買取候事
- 五條 客船へ乗込セリ買又船頭ニ引合一己之奸利ヲ奪候事

- 九條 組合外又ハ素人ハ荷切積登候事
 - 十條 取締役一ケ年限跡役撰舉之事
 - 十一條 取締役料并組合入費算用之事
 - 十四條 備入手代不精勤暇出シ之者加入雇入之事
 - 十五條 新加入人之事
 - 十六條 規則等背候ハ過怠金取立之事
- 右之件々別紙商則ニ引合セ演舌可仕候

見込ミ書

- 一 素人無鑑札ニ而船々ヨリ荷物引取候者儘有之哉付嚴重御沙汰被下度事
- 一 北海九州四國 壹番貳番三番組ト區別有之候得共近來混雜相成候ニ付商品并風儀モ違候上諸入費モ相混シ候ニ付分別仕候方可然哉
- 一 府稅等分之義年々盛衰モ有之候儀ニ付年々差別有之度候事
- 一 問屋口錢之儀從前定規モ有之候處近來荷主相對ニ

荷受問屋商規則

- 而申請候ニ付思ク相成追々減少ニ及ビ難立行候ニ付改正之上一同不同ニ不相成候様取定メ申度候事
- 右之件々近來追々混亂仕候ニ付確タル商規則相立猥々聞敷振舞致シ候者急度取調相應之處分相立申度奉存候以上
- 明治十一年九月
廿五番議員 谷崎新五郎
- 大阪商法會議所
理事 御中
- 一 今般同業組合相立候儀者從前之株仲間御廢止ニ相成惡弊一洗之目途急度不相立候而者不相濟次第ニ付新規營業之者有之節者速ニ加入爲致振舞料杯出金爲致候儀者決而不相成總而舊習ニ泥ミ候所業平ニ相戒時々御達相成候御布令之趣堅相守可申事
 - 二條 一 荷請問屋商業之儀者諸國荷主并諸仲買ヲ大切ニ取扱積登リ候諸商品時々相庭之機會ヲ不失市賣或ハ入札總而荷主之差圖次第正路實直ヲ本トシ土地繁榮相成候様營業可致事
 - 三條 一 入港之荷物其品其筋々仲買ハ賣捌可申若一己之利欲ニ迷ヒ素人直賣等致他人之商業ヲ妨候所業致候

者有之候ハ、衆議之上至當之過意金可爲差出事

四條

一客筋の當地ニ無之飛直段ヲ申遣シ荷物持登ラセ着船之節俄ニ直段下落杯申立荷主迷惑ニ相成候儀モ折々有之趣土地不繁榮之基ニ付右等之所業致し候者ハ衆儀之上至當之過意金爲差出可申事

五條

一客船入津ヲ見懸猥ニ船々ハ乗込糶買或ハ荷主船頭ト申合一己之奸利ヲ奪ヒ候儀致聞敷事

六條

一秤目升目員數ヲ以テ賣買致候品々取渡シ之節人念之上聊奸計之所業致聞敷事

七條

一物品腐敗又ハ不潔ニシテ人害ニ可成品ハ勿論性合不分明之品或ハ秤目升目相増ス爲水氣土砂之類等差交ヘ有之候品ハ水揚藏入之節荷主并其筋仲買立

會検査之上其品ニ應シ至當之目欠升欠引等相定荷物取渡シ之節互ニ異論無之様注意可致事

八條

一荷主ヨリ預リ荷物自己之見込ヲ以賣拂置後日相庭高直ニ相成荷主ハ損毛迷惑相掛候儀杯折々有之趣是又土地衰微之基ニ付右等之所業一切致聞敷事

九條

一組合外ハ積登り候荷物ト雖モ荷主ヨリ頼談致シ不正之荷物ニ無之節ハ組合中ハ申通シ買取可申事

十條

一組合諸事取締之爲公撰入札ヲ以取締正壹人副三人相立置壹ケ年限交代可致毎年十二月跡役入札可差出事

十一條

但取締正副役料之儀ハ一統入札ヲ以取極可申事
一取締役料其他組合諸入費六月十二月總區長檢印ヲ

請取集メ壹ケ年毎計算明細書ヲ以組合一統へ報知

可致事

十二條

一組合之中不時之損毛有之代價拂方差支示談不行屆候節ハ取締へ申出尙取締ニ於テ事實篤ト取調可相成丈公裁ヲ不煩様取斗可致難任其意候節ハ總區長ハ及熟談俱ニ心配致シ雙方共商業取締之手段可致事

十三條

一組合會談多人數ニ而者都而決談難相成儀杯有之候ニ付最寄組合ニ立毎組ニ名代人壹人ヲ置諸事取締之差圖ヲ請各組内諸取締行届候様可致事

但名代人公撰入札高之事

十四條

一備入手代定約年限中暇ヲ請候者又者不精勤ニ而暇差遣シ候者組合ハ加入或ハ召仕候儀杯先備主へ引

合濟之上ナラテハ加入雇入等一切致聞敷事

十五條

一組合加入又ハ休商轉居名改之節ハ御府廳ハ御届申上名前帳ハ張紙可致事

十六條

一規則相背キ候者有之節ハ自他之差別無之取締ハ申出衆儀之上輕重ニ依リ至當之過意金可取立犯則之件々相重リ賣買留メ或ハ組合相外シ候程之事件有之候節ハ總區長ハ申出差圖可受事

但過意金之儀者其儘積立置半年毎ニ總區長ハ申達檢印可受事

右之通組合一統規則相立候者全ク銘々互ニ約束ヲ以事ヲ正路ニ取斗ヒ可成丈官裁ヲ不煩諸事下方ニ於テ協和ヲ旨トシ商業ヲ盛大ニスルノ意ヲ互ニ約シテ互ニ守ル事ニ付一切違背致聞鋪依之連印 御府廳へ御届申上其御保護ヲ奉希者也

明治六年十一月

諸國荷請問屋組合
取締印

〔原本此ノ所「荷受問屋商規則」ト題シ三十九行ノ
記事アレドモ前項ト重複セルヲ以テコレヲ省略スル
コト、セリ〕

箱館生産取扱規則

定

- 一箱館産物之儀ハ箱館會所ニおいて一手引請取扱候事
- 一農商望之者着荷人札并ニ願請等勝手次第之事
- 一箱館産物積入候諸廻船入津候ハ、急速品高届出候

- 事
- 一積荷物之儀ハ船頭水主等マチト唱へ候ものたりとも本荷同様取計候ニ付無相違品高届出候事
 - 一着船荷物員數改濟次第早速國々見本差出候事
 - 一入船届出候ハ、瀬取船差附藏所差圖可及事
 - 一荷物差附候ハ、水揚藏入役人立會之事
 - 但水揚之節目印幟或ハ提燈相立候事
 - 一荷物之儀ハ直組入札等船頭申立ニ任セ取計候事
 - 一入札日限相定前々日より其筋へ相達候事
 - 一賣捌人直組或ハ落札相成候荷物代金當日より三十日限上納之事
 - 一前同斷直組又ハ落札相成候荷物翌日代金之壹割方上納之事
 - 一前同斷壹割方上納之節願請品請印いたし翌日より荷物藏出し差許候事
 - 一願請人其品數之印紙下ケ渡し藏出之節右印紙を

以テ荷物相渡候事

- 但願請人勝手ニ寄内渡願出候節ハ印紙に裏書致下ケ渡候事
- 荷物藏出し三十日内ハ藏敷用捨之事
- 一入札日に拘らす産物願請度旨申出候節ハ仕切込之分時之相場を以賣下候事
- 但船手預荷物ハ船頭へ示談之上取計候事
- 一農商望之者入札願請いたし候分代金即納之事
- 但支配所役人并ニ名主等掛合在之分別格之事
- 一代金上納之儀ハ用達掛屋の持參掛屋ヨリノ上納請取手形ヲ以相納候事
- 一定式歩合口錢ハ拂仕切金ノ内ヨリ差別右仕譯左之通

- 貳歩 上納
- 壹歩 賣捌人舟手世話取扱候ものゝ爲入用渡

- 壹歩 仕切金利合上納
- 壹歩 農商へ賣捌口入致候賣捌人爲手當渡
- 餘ハ 會所臨時入用ニ遣拂
- 右之通相定候事
- 一會所にて直捌相成候荷物之分賣捌人ハ歩合不被下候事
- 一内貸荷物若賣捌人之藏へ預ケ置候節ハ會所役人立會符印いたし鍵ハ會所へ預リ置候事
- 一荷物會所へ預ケ置キ内借致居候者急ニ外方へ出船致度節ハ見込之直段兼テ會所へ書附以差出置可申右見込之直段ニ出會候相場次第賣拂遣候事
- 但元利諸掛リ金差引殘金差圖之方へ相渡候事
- 一賣捌人所持之藏へ荷物藏入致候節藏敷下渡候事
- 一諸掛リ物取替置仕切代金ニテ差引勘定之事
- 一時之相場ニ寄船手ヨリ仕切込又ハ内借藏預ケ等申

出候ハ、時宜次第取計候事

一會所取開以前賣捌人買入置候荷物ハ構無之事

但品高書附早速差出し賣捌相成候節ハ其時ニ無

遺漏届出可申事

一荷物取引ニ付船手申入レニ任セ役人鄭重ならざる

様いたし可遣事

一抜荷物取扱候ものハ嚴重の所置ニ可及候事

但抜荷見付候ものハ早速可申出其次第二寄御褒

美被下候事

右之通堅相守可申者也

明治元年辰十月

箱館生産會所

御印

乍恐奉歎願候

松前問屋仲間

惣代

薩摩堀納屋町

和泉屋市兵衛

北堀江四丁目

木屋與市郎

代判 長兵衛

長堀富田屋町

館屋惣七

一舊來松前國產荷物之儀ハ蝦夷地表に諸國商船罷下
リ候ニ付テハ箱館福山江差右三ヶ所ニテ御取締ニ
相成積石御改之上場所表に罷下リ時相場ヲ以買積
仕御上納并ニ諸掛共嚴重爲相濟來難海之風波相凌
船々最寄之國々ハ艱寄船宿ヨリ賣捌仕荷主共より
船賄并ニ支配料トして相當ノ口錢請取渡世仕來候
處去ル安政五午年舊幕府ヨリ當表ニおいて箱館産
物御會所御取建ニ相成蝦夷地御仕入相始リ右御荷
物之分ハ御會所にて直捌ニ相成商人買積之分ハ問

屋共より賣捌代銀高より貳歩方上納被仰付驚入早
速奉出願候ニハ商人買積之儀ハ彼地ニテ御運上萬
端相濟罷在候處又候御當地ニおいて御上納相掛候
テハ往々當御表衰微ノ基ひ自然と入船も無數ニ相
成候ハ、農家必用之差支ニ相成候不而已私共ニお
いても難澁仕候段度々歎願仕候得共舊幕府一事ノ
權を以更ニ御聞濟無之何分小商之私共不及力ニ御
運上相勤彼是取續渡世仕居候處愚察之通追々入船
相減シ中國筋ハ不及申阿州播州邊ニテ過半賣捌空
船ニテ罷登年々衰微に罷成候尤空船ニテ罷登リ候
共舊來之馴染ニテ龜略ニも難取扱折柄近年諸色高
價ニ相成不計船賄諸雜費而已相嵩渡世出來兼既に
開店仕候者も有之候場合ニ立至リ候處今般御一新
大御變革被爲 在候ニ付テハ格別ノ御仁政を以萬
民塗炭之苦を御赦被爲 下置候御趣意追々被爲
仰渡重々難有仕合奉存候就テハ私共家業も當御會

所ヨリ箱館産物問屋と相唱御鑑札御下ケ渡ニ相成
殊諸上納等御廢止被爲 仰出益萬民御撫育被爲
成下候御趣意眞以難有仕合奉存候就テハ近年衰微
仕居候私共渡世御蔭ヲ以繁榮仕船手氣請も立直リ
不日入船も相當安堵ニ家業相營候儀重々厚御恩澤
奉恐悅候折柄去ル十月二十六日箱館生産御會所御
取開ニ相成蝦夷地御仕入御荷物御直捌御改法御規
則書御下ケ渡ニ相成則御仕入御荷物之儀ハ奉承伏
候得共商人買積荷物之分ハ前條奉申上候通松前表
ニおゐて御上納并ニ諸掛リ爲相濟來候處今般御改
法之趣ニテハ商人買積荷物一切御會所御手藏に水
揚仕目形等御役人御立會之上掛改萬事御一手之御
取締荷物之姿ニ罷成都テ御會所御役人ヨリ賣買ニ
相成手狹究屈不而已商人買積之荷物迄手廣ニ賣捌
候儀不相成候テハ問屋并ニ仲買共是迄右荷物ニ相
携居候小前日稼ノ仲士上荷茶船之者共ニ至迄舊來

ノ家業ニ相離レ必至難澁罷在候乍併
皇國一圓諸商賣共都テ右御仕法ニテモ無之松前國產
荷物ニ差限彼地と御當地と二重御上納御取立ニ相
成候不而已右様業體ニ相離候姿にて眞に難澁仕候
次第重々歎ケ敷奉存候何卒格別之御憐愍を以私共
家業立行永續仕候様被 爲仰付被爲 下置候ハ、
廣大ノ御慈悲冥加至極難有仕合奉存候 以上
明治元年辰十二月二日

右

市 兵 衛

與 市 郎

代判 長 兵 衛

惣 七

商法御會所

乍恐奉願上候

薩摩堀納屋町

和 泉 屋 市 兵 衛

北堀江四丁目

木 屋 與 市 郎

代判 長 兵 衛

長堀富田屋町

館 屋 惣 七

一頃日東廻リ并ニ勿越之商船近海まで艫寄居候得共
先達而乍恐奉歎願候難澁之次第ニ御座候然ル處商
家之儀ハ毎年正月二日諸商賣共商内始と相唱新年
之吉左右相祝シ直段之高下ニ不拘身元相應ニ商内
仕候處外諸商賣之儀ハ不及申小前之者共ニ至ル迄
格別之御救助被爲 成下御蔭を以家業相營賑々敷
初賣等之仕入萬端仕居候儀ハ一同之者羨敷存日々
私共迄歎來候得共何分御多件之折柄にて御手数數奉
掛候段重々奉恐入候ニ付先達而奉歎願候後深キ

御仁政之御沙汰相待居可申旨種々申諭候得共愚昧
之者共にて納得致兼誠ニ當惑仕リ候ニ付恐多不顧
御願奉申上候何卒寛太ノ御救助と被爲思召私共家
業安堵ニ營候様被爲 仰付被爲 下置候ハ、廣大
之御慈悲冥加至極難有仕合奉存候 以上
明治元年辰十二月十九日

右

市 兵 衛

與 市 郎

代判 長 兵 衛

惣 七

商法御會所

一蝦夷地產物肥物之儀荷嵩ニ相成候儀ハ中古之事ニ

口 上

テ腕と取締も無之候處去ル文化三寅年ヨリ追々取
締ニ相成文政二卯年ニ至リ仕法相極猶又天保六未
年雙方熟談之上改法相立以後兩業水魚之交りを以
御取引仕來候内安政五年箱館御會所御取建右產物
商法都て御取締に相成一旦分々之姿に及候得共永
年之因を不失雙方水魚ノ御取引仕來候處亦々昨秋
以來格別之始末ニ成行既に永年仕來之商業取續難
相成場合ニ至リ深ク心痛罷在候折柄今般格別之御
仁惠を以御同前ニ商業以前復シ候様相成候ニ付先
規御申合之廉相守彌雙方永く水魚の御取引を致し
兼而被爲 仰出候御趣意之通肥物之儀農方第一豐
凶ニ拘ル品ニ付追々到着之荷物彌増農方肥手行届
様正路嚴重ノ賣買致度則此度仲間相談之上改松前
行事取極候間向後雙方御相談之節ニ別紙之銘々ヨ
リ御引合ニ及候間此段宜御承知置被下ヘク候 以
上

明治二年巳二月朔日

松前方
行司印

東組松前問屋

御行司中

口演

一今般歎願御問濟ニ相成箱館産物問屋唱號御廢止相改松前問屋仲間と名號被爲 下置銘々正路實直ニ家職相營商業盛大ニ相成候様出精相勵可申旨格別御仁政之御趣意被爲 仰下重々難有仕合ニ奉存候猶恐レ多クモ
朝廷萬民憐賜ひ莫大之御失費をも不被爲厭既ニ天保山新港御取開ニ相成皇國一圓富國之基本被爲 建度深思食と乍恐奉存候將亦當御表之儀ハ皇國第一

ノ大都會繁榮之場所柄殊ニ方今宇内大開天下之形勢日々變シ各國御交際ニ付皇國內之損益今日之御急務不容易次第外夷ハ日々盛ニ相成奸計ト商法を以金銀國寶を奪ふ而已ならずこれかために貨幣ト紙幣時々刻刻狂亂し天下萬民方向を失旦夕之苦惱不可言依之

天祖神孫連綿なる神州の人民既に外夷之奴僕と成嗚呼二百有餘年之泰平ニ基舊習の宿弊ニ泥ミ一己之利慾ニ迷商弊も其商業之規則坏と相唱候事奮怒悲歎に不絶事態ニ差迫リ神州之人民ニ乍産儉安として生活を恣に送事木石畜類ニ不異庶幾相ともに信義を結赤心奮發して舊弊速ニ一洗し奉報 御國恩永世不朽之規則相立後榮之基本希事依而前條如件
明治二年巳三月

松前問屋

惣代

和泉屋市兵衛
木屋與市郎
鈴屋惣七
松前千鱈仲買仲間
年行司
神崎屋徳兵衛殿
助松屋作兵衛殿
古座屋嘉兵衛殿
志方屋利助殿
井筒屋平助殿

口演

一昨冬以來御同前商業一件ニ付不得止事歎願罷在候處格別之 御仁惠を以商業以前ニ復候様相成候ニ付猶更兩業御因之儀も都て先規ニ立戻リ永く水魚之御取引致度候ニ付テハ商法御引合之節ニ任便利以前之通今般松前行司取極候ニ付御心得迄當月四日右御案内致候處御三名御口演書御差出被下候ニ付今朝披見仕候得共農商ヲ相手ニ賣買致聊今日を相暮候愚痴短才之商人共にて乍殘念折角之御文意更ニ難解甚赤面之至リニ御座候へ共當仲間におるては何事も先規御申合に基き則天保六未五月改法爲取替書仕法之通兩業來客衆を大切ニ取扱追々兩客彌増都會之當地繁榮相成候様御同前に水魚之思をなし正路之賣買相營申度志願之外無他事候聞其段宜御承知被成下度尤御差出シ被下候御口演書ハ追日熟談可仕候得ハ約リ當仲間心底書面之通聊御

疎意無之候間御承知可被成下候 以上
明治二年巳三月

靱松前組
行事印

東組松前問屋
御惣代中

干鰯一條ニ付而書類

定

一 羽 鯡 六束結
外割鯡 壹丸
目方十貫目ニ付 五百目繩引
水揚藏入賃一丸ニ付 永錢六文ツ、

藏敷一ヶ月一丸ニ付 同 一文ツ、

一 箇 鯡 拾貳束結壹箇

一 箇ニ付 一貫六百目風袋引

水揚藏入賃一箇ニ付 永錢十二文ツ、

藏敷一ヶ月一箇ニ付 同貳文ツ、

一 箇 目 一本

目切

一本ニ付 一貫六百目風袋引

水揚藏入賃一本ニ付 永錢十貳文ツ、

藏敷一ヶ月一本ニ付 同貳文ツ、

一 縮 糟 一本

白子

練鰯類

壹本目方

十六貫目以上ハ壹本ニ付壹貫貳百目風袋引
十六貫目以下ハ壹本ニ付八百目風袋引
水揚藏入賃壹本ニ付 永錢拾貳文ツ、
藏敷一ヶ月壹本ニ付 同 貳文ツ、

右賣買之儀ハ都テ目方拾貫目ニ付金何兩永錢何百文
替定仕切表五步引

内

三步 問屋賣支配料
二步 諸仲買ヘ口錢

一 諸品仲買の賣渡直組行届候ハ、翌日金高ニ貳割方
直合敷金請取十五日目限水揚目方平均を以皆金受
取候事

一 延商内之分直組行届候ハ、水揚目方平均を以翌日
金高ニ貳割方直合敷金請取定約書ニ年行司ヨリ調

印可致候事

一 延賣買定約書ニ年行司調印無之分ハ故障出來候共
不取用候事

但違約致候ハ、敷金流れ定之事

一定約日限ニ荷物不殘藏出シ爲致候若及延日候ハ、

水火之難目欠等一切不存藏敷定例之通請取候事

右之通規則相定候間此段御承知可被成候 以上

明治二年巳年三月 松前問屋惣名代中

松前干鰯仲買年行司御衆中

口 演

一 此度其御仲間規則書御差出ニ相成候ニ付熟覽仕候
處多分新規新法之御事ニテ御熟談難相成歟既當方
仲間之儀ハ過日再度之書面猶此程中御面會之節も
御談申上候通去天保六未年雙方御熟談之上御取爲

替及候書面之通仕來之商法ニテ御取引致度就中右
點數之内ノ粕風袋引貳拾五貫目以下之見積兵庫表
拾五引ニ見合を以壹貫貳百目ニ取極候處如何之始
末ニ候哉近來ニ至リ候而ハ格別之大儀ニ相成外ニ
引格不釣合ニテ仲買來客見込ニ拘リ候場合ニ至候
ニ付兵庫同様十五引ニ相成候様船手ニ御引合御頼
申上度兼而一同ヨリ頼出有之候得共新規新法之儀
申出シ手數之御迷惑相懸候儀兼而御申合之通水魚
之御因忘却致候儀如何あらんと當仲間限ニ而御
斟揆罷在候折柄昨秋以來御同兩之難澁不得止事奉
歎願候處格別之御仁惠ヲ以前ニ復シ候様相成追
々入津相増彌安堵之賣買相成候事實ニ至候處不計
今般御差出之規則書案外之御事ニテ更ニ御心中難
解尤天保六年御取爲替書面點數之内賃錢等之類諸
物價見競モ有之時々御熟談ニ及相改申度廉モ御座
候へ共規則書寫ニテハ大體商法御見込達ニ付迎も

御熟談ニ至リ兼候間新規新法之儀平ニ御斷申上度
尙申上兼候得共此程中毎々御差出シ有之候御紙面
御文意等之儀ハ前御振合ニ相外候廉ニも有之右ハ
畢竟一事之儀ニ而免哉角申上候も如何敷候得共御
同前之規則ニ御座候間先前之御記録御熟覽被成下
永年仕來候水魚之御因忘却無之様致度就而ハ折
角御差出ニ相成候御規則書ニ候得共御請難致候間
新規御改法速ニ御止リ何莫モ先規ニ立戻リ一和水
魚之御取引致度候依而御差出之書面御返進致候間
不惡御承知可被成下候 以上

明治二年巳四月

靱松前組 行司

松前問屋

惣名代衆御中

口 演

一松前肥手賣買之儀ハ先達而ヨリ御引合申上候節三
歩引ニ可致様被仰候段承知仕候其餘之廉ニハ規則
書之通御承知可被成候 以上

明治二年巳六月

松前問屋仲間

惣名代 中

松前干鱈仲間

年行事御衆中

口 演

一松前產物肥物賣買仕法之儀當春來點書ヲ以御申出
ニ付當方仲間一同ニ一應申談候得共新規新法之儀
ニ而一以御談ニ應候廉無之當方仲間混雜ハ不及申
御同前ニ賣買差支ニ相成候ニ付去ル天保六未年雙

方御熟談之上取極候仕法を以永ク水魚之御取引致
度再々御引合之上御差出之書類御返進ニ及其後先
前仕法之通ニ而無差支御取引仕來候ニ付最早御承
知之御事ト愚察罷在候處亦々別紙御差出ニ相成候
ニ付再談致見候得共春來ヨリ度々御引合ニ及候始
末ニ而御申出之廉御請難致候間何分先規仕來商法
ニ而無差支御取引致度自然商法御不案内ニ而御不
承知ニも候ハ、免角混雜手數而已ニ而御熟談相成
兼候間御引合之品も御座候節ハ其御行司衆ヨリ御
引合有之候様致度依而此度御差出之御書面及御返
進候間不惡御承知可被成候 以上

明治二年巳六月 干鱈仲間

松前行司印

松前問屋

惣名代衆御中

荒物染草問屋

(寶曆 文化 安政 明治)

該問屋ハ西區江戸堀下通り一丁目ニ廿八戸仲買二十
九戸アリ寶曆四年十二月始メテ開業シ伊勢講ト稱シ
テ茲ニ組合ヲ組織セリ其ノ人員ハ實ニ二十名アリタ
リト言フ已ニシテ烏兔漸ク廻轉リ文化九年トナリシ
時和産荒物染草問屋ノ稱ヲ許サル此ニ於テカ安政二
年三月ノ頃ニ至ツテ此レガ事業モ略ホ其ノ緒ニ就キ
僅カニ日進月歩ノ域ニ達セシカバ同業者ハ茲ニ一段
ノ英氣ヲ鼓舞シ經紀品類ヲ仔細ニ區別シ布海苔ト荒
物染草トノ二業ニ分チ此レヨリ本業ハ荒物染草問屋
ト稱シ布海苔問屋トトモニ尾崎又右衛門ノ支配ヲ受
ケテ營業セリ此レヨリ年々銀六貫目ヲ尾崎又右衛門
ニ納入シヌ

一興一廢ハ世ノ常態維新以來又々彼ノ株仲間ヲ解
キタリシガ明治七年組合仲間ヲ締結セリカクテ十二

年十二月必要ハ仲間規則ヲ設クルノ止ムヲ得サルニ
至リ此ニ於テカ各地ヨリ仲間及ヒ荷受問屋ニ輸送ス
ル貨物ハ悉ク即金ニテ經紀シ或ハ爲換金ヲ貸與シ又
ハ送荷ト稱シ貨主ヨリ貨物ヲ輸送シ代價ハ後日ニ計
算交付スル莫アリ入荷ノ陸揚諸費ハ凡テ問屋ノ負擔
トナス莫ニ取極メ而シテ其ノ經紀スル處ノ品類ヲ試
ニ列擧スレバ

- 木附子 (紀伊、伊豫、備後、石見、出雲)
- 黄 柏 (石見、越前、阿波)
- 桃 皮 (琉球、紀伊、土佐)
- 緣 礬 (備前、備中)
- 苳 安 (近江、美濃)
- 明 礬 (豊後及ヒ清國)
- 鳥 鷲 (伊豫、紀伊、土佐、薩摩)
- 鳥坂海苔 (伊豆、志摩)
- 蕨粉蕨繩 (土佐、伊豫、大和)

等ニシテ販路ハ東京、京都、近江、大和、安藝、周
防、備前、阿波、越前、越後、羽前等ノ諸國ナリ

舶來物品問屋

附仲買規約ノ事

(天文、天正、嘉永、文久、明治)

舶來物品問屋

明治初年ノ頃ヨリ輒近五六年前迄ハ凡テノ需用品ハ
舶來物ニアラサレバ精功強固ノ點到底内國製ノ及ブ
處ニアラズト爲シ一ニモ舶來品二ニモ渡來製ト崇拜
シ來リタルノ故ヲ以テ其ノ供給モ自然ト増加セシハ
爭フヘカラサルノ數ナリシ然レドモ今ヤ内國製ハ殆
ンド彼ノ舶來品ヲ凌駕スルモノ頻々顯ハレ出ツルニ

及ビ又昔日ノ盛觀ヲ觀ルベカラザルニ至レルハ時勢
ノ然ラシムル處亦是非モナキ事トモナリ而シテ今其
ノ起原ニ溯リテ考究センニ當時東區伏見町四丁目五
丁目心齋橋通りニ下卸兼業者百四十八戸仲買二百九
十六戸アリ天文十八年ニ始メテ開業セルモノノ如シ
此ノ時ニ當リ堺港ニ船問屋ノ如キモノアリテ外國商
船ノ該港ニ碇船シテ貿易ヲナス者ハ却テ右問屋ノ經
紀ニカ、レルモノト爲セシニ降テ天正年間加賀ノ人
齋藤九郎右衛門ナルモノアリ大閣殿下ニ隨從シテ大
坂ニ來リ唐産茶番ノ公務ヲ勤ム此ニ於テ彼レガ邸宅
ヲ伏見町ニ賜ヒ其業ヲ爲サシム此レニヨリ爾後彼ノ
齋藤ナルモノ、分家數戸各加賀屋ト號シ伏見町心齋
橋筋ヨリ東施檀木橋筋ヲ限リ居宅ヲ構ヘテ盛ニ唐物
ヲ賣買シヌ而シテ彼レニ一ノ特權ハ附與セラレシ
ハ此地ニアラサル限リハ他ニ唐物ヲ經紀スル事ヲ許
サレサリキ一事ナリ故ヲ以テ他ノ同業者ハ亦タ窃ニ

253461

加賀屋ノ號ヲ冒シ居テ同所ニ移スモノアルニ至レリ
 斯クテ享保六年三月同業者協議シ布帛ヲ經紀スルモ
 ノハ五軒問屋ト稱シ其ノ種類ニ依リテ營業ノ分自カ
 ラ經界ヲハ形造リヌ而シテ此レガ仲買ノ内ニ名ヲ以
 テ改メ役ト爲シ稅關及ビ長崎本商人ノ手ヲ經タル品
 ト稅品トノ正否ヲ審査檢閲セシメ他ニ輸送スルノ
 物品ハ必ス改役ノ認印ヲ添ヘテ始メテ販賣スルノ制
 ナ設ケリコレ周到ナル用意ニシテ營業者ニ取ツテ利
 スル處蓋シ尠ナカラサルベシ

サテ問屋ノ權限ハ如何ト云フニ彼等ハ長崎商人ヨリ
 輸送シ來タレル物品ヲ仲買ニ賣與シ或ハ長崎ニ就キ
 直チニ購入シテ販賣スルナリ而シテ其ノ問屋口錢ハ
 販賣金額ノ一步ヲ貨主ヨリ納受シ仲買ニ賣與スルハ
 七ヶ月ノ延賣ニシテ貨主ニ支拂フ價金モ亦タ七ヶ月
 毎ニ送致スルノ規定ナリキ然ルニ嘉永三年ニ至ツテ
 舊制ヲ解キ五軒問屋ニテ藥種ヲ經紀シ及ビ唐藥問屋

ニテ布匹及ビ零碎物ヲ經紀シ以テ互ニ營業ノ區域ヲ
 擴張シヌ然レトモ是レヨリ十餘年ハカリテ經過セル
 文久元年ニ至リテハ問屋ノ名稱何時シカ消滅シ總テ
 ノ取引ハ元金ヲ用ユル事トハナレリ

斯クテ世ハ明治ノ維新トナリ久シク堅固ニ閉鎖セラ
 レシ諸方ノ關門ハ打破セラレ神戸港ノ如キモ亦タ全
 ク開發セラレシカバ茲ニ同業者漸々増加シ問屋仲買
 ノ區別ナク皆ナ均シク貿易商人ノ名ヲ以テ直ニ購買
 シ貿易會所ニ五厘金ヲ納メリ同十二年一月同業者協
 議シ今後ハ舶來物品商ト稱スル事ニ定メ委員ヲ撰舉
 シ成規ヲ設ケテ惡弊ヲ防キ同時ニ又タ總代二名副總
 代四名ヲ撰舉シ卸賣仲買小賣ノ區別ヲ立テ其ノ等級
 ナ定ムルナト茲ニ嚴格ナル規律ハ形造クシラレヌカク
 テ十月更ニ必用上ヨリ取締チ十七名撰ビ其内ヨリ總
 代一名副總代五名ヲ置キ其十二月ニハ仲買規則ナル
 モノサヘ設クルニ至リ着々歩ヲ進メテ事業ノ擴張ヲ

圖レリ而シテ試ニ其經紀スル品類ヲ舉クレハ乃チ左
 ノ如キモノニテアリヌ

帽子、蝙蝠傘、襟卷、酒類、石鹼、時計、香水、
 襦衣、板鐵、丸鐵、角鐵、洋紙、紙糸、石盤、ラ
 ンプ、手拭、メリヤス類、モスリン、綿織子、羅
 紗、生金巾、更紗、フラネル、絹吳呂、綿天鵝絨
 寒冷紗、リンチル、ブランケット、スレキシヤ、
 ラセン、絨氈

等ニシテ該品ハ橫濱及ビ神戸ヨリ購入シ販路ノ多ク
 ハ五畿内、四國、中國、九州地方ナリト云

舶來諸物品商業

問屋仲買組合規則

第一條

一今般同商業組合相立候儀ハ從前之株仲間御廢止ニ

相成惡弊一洗之目途屹度不相立候テハ不相濟次第
 ニ付新規營業之者有之節ハ無異論速ニ加入爲致加
 入金振舞料杯出金爲致候義決而不成總テ舊習ニ
 泥ミ候等之所業互ニ相戒メ時々御達相成候諸御布
 會之趣堅ク相守可申事

第二條

一舶來反物小間物石炭油銘酒類并附屬之品トモ賣買
 之義都テ正路ノ取扱ヲ基トシ詐譎ヲ構ヘ不實ノ所
 業堅ク致聞敷事

第三條

一物品腐敗又ハ不潔ニシテ人害ニ可相成品一切取扱
 申聞敷事

第四條

一物品ニ目方爲相増不當ノ繩筵箱等相用ヒ種々不正
 之取扱一切致聞敷事

第五條

一 外國人直取引貿易等致ス者ハ其組合へ加入可致事

第六條

一 諸品賣買之節定約書爲取換正路廉直ヲ旨トシ疎漏ノ取引不致且出所曖昧ノ品一切取扱申聞敷自然不審ニ見請候ハ、其趣早々取締方へ可申出事

第七條

一 舶來大小砲并武器之類ハ免許商人ノ手ヲ不經シテ取扱不相成事

第八條

一 組合之内不時ノ損失等有之代價拂方差支示談不行届ノ節ハ取締方へ申出取締之者事實篤ト取調へ可成丈ケ官裁ヲ煩ハサ、ル様取計ヒ萬一難任其意次第ニ立至リ候ハ、總區長へ申出及熟談供々心配イタシ雙方トモ商業取續之手段可致事
附奸商之者陽ニ不如意執成不實之所業致シ候モノ屢々有之ニ付右様ノ次第於相顯ハ取締方へ申出差

圖可請候事

第九條

一 仲仕人足諸荷物運輸賃錢不相當之義無之様組合一統相定可申事

第十條

一 組合ノ内雇入之者不筋之義有之其戸主ヨリ暇遣シタル回達有之ハ組合中ニテ雇入申聞敷事
但先戸主へ掛ケ合ノ上差支無之候ハ、雇入不苦事

第十一條

一 組合中諸事爲取締公撰入札ヲ以テ取締六人ヲ設置一ケ年限リ交代可致事
但毎年十二月ニ後役ノ者入札可差出事

第十二條

一 取締之義ハ組合ノ爲筋ヲ以テ取定候義ニ付役料ケ聞敷義一切不可請事

第十三條

一 組合中相談ノ義有之回達之節刻限無違滯罷出候ハ勿論諸事決ヲ衆議ニ取り叨ニ贅論スヘカラサル事

第十四條

一 規則相背候者有之節ハ取締方迄申出衆議ノ上罰ノ輕重ニ依リ至當ノ過怠料可取立犯則之件々相重リ組合相外シ候程ノ事件有之節ハ總區長へ申出可請差圖事

但過怠料ノ義ハ其儘積立置半年毎ニ總區長へ申出檢印請置可申事

第十五條

一 組合加入又ハ休商轉宅等ノ事故アルルハ其時々届出名簿へ張紙可致事

第十六條

一 組合諸入費トモ割賦ノ義半年毎ニ清算仕立帳簿差出總區長ノ檢印請之割賦可致事

右之通組合規則相立候上ハ全ク銘々互ニ約束ヲ以テ

事ヲ正路ニ取計ヒ可成丈ケ官裁ヲ仰カス諸事下方ニ於テ協和ヲ旨トシ商業ヲ盛大ニスルノ意ヲ互ニ約シテ互ニ守ル事ニ付一切違背致聞敷依之連印ヲ以テ府廳へ御届奉申上其御保護ヲ希フモノ也

問屋ニ關スル唱方

天保十三年寅四月十六日

此度問屋唱方等ノ義ニ付從江戸表御觸達有之趣ハ江戸計ニハ無之諸國共同様ノ義ニ候間一統心得違無之様イタシ以來都テ株札并問屋仲間組合等唱候義不相成候右ニ付取締方之義追テ可申渡候間賣買筋之義ハ先唯今迄ノ通相心得彌正路之取計可致旨最前相觸候然ル所

金錢兩替屋 堂島江戸堀米仲買

酒	造	屋	唐紅毛ニ携ル商賣人
和製	砂糖	屋	薩州荷受人
竹材	木屋	本	屋
質	屋	古銅	古道具屋
古	手	屋	金錢延仲買
御用	勿魚	商人	朱座仲買
金銀	座支配	商人	銅座支配商賣人
旅	籠	屋	茶
風呂	屋	但湯屋ニハ無之	床
諸	川	船	通シ日雇請負

右之廉ハ猶又追々可及沙汰候其餘之分ハ諸事右御觸面之通相心得諸商賣手廣ニイタシ勿論素人直賣買等勝手次第之事ニ候條右ニ付猶又一統心得違無之様致シ御趣意之趣堅相守可申候
右之通三郷町中可觸知者也
寅四月 石見、遠江

天保十三年株仲間廢止商業破壞シテ世ハ只怨恨ノ聲内ニ高シ狂歌アリ
株ハとび衣裳はかはる世の中に
何とて町ハ淋しかるらん
女房よろこべ手かけハおやめになつた

取締印形帳 (安政、天保)
一當輓轡挽物仲間之儀者先年奉願上御株御免被爲成下仲間取締行届一統冥加至極難有可奉存候儀ニ御座候然處去ル寅年諸問屋仲間組合都而株式停止被爲仰出候處猶又同亥年如己前再興被爲仰渡一統難有仕合奉存候依之御冥加銀如前年上納仕候様今般

被仰渡奉畏則當年先規上納通銀百六拾貳匁宛每年上納奉猶又元椀盃食籠木地職仲間者是先規仕來リ通ニ當年銀四拾匁宛當仲間相納候儀ニ御座候然ル上ハ彌次諸事如前年取締申合等嚴重相守可申候間御冥加銀ヲ初メ夫々御禮銀其外年中仲間諸人用等割方仕候節聊無滯早速出銀可仕候且又前々申合之條々少モ無違背大切ニ相守新規之儀ハ不及申一己立候儀決而申間敷候萬一仲間諸人用及不參聊ニテモ爲相滯候歟又ハ申合等不相用我儘之取斗致候者有之候ハ、仲間取締ニ拘リ候間早速其段奉願上職業差止メ仲間相除可申候間其節違背仕間敷候爲其此度相改一統調印仕候處依而如件但先年仕來リ之通仲間之内ニ而取締方相定置候上ハ諸事仲間用右取締方御取斗被成下度一統御頼申上候所如件
安政五年四月

大和屋清兵衛印	木地屋仁兵衛印
京屋卯三郎印	丁字屋儀兵衛印
中嶋屋六兵衛印	大和屋徳兵衛印
姫路屋善八印	備前屋秀吉印
和泉屋藤兵衛印	大和屋音吉印
住吉屋辰之助印	木地屋與兵衛印
堺屋伊助印	河内屋万治郎印
京屋政吉印	京屋文右衛門印
紀伊國屋市右衛門印	近江屋秀治郎印
播磨屋由兵衛印	大和屋藤兵衛印
尾張屋喜兵衛印	京屋松兵衛印
布袋屋榮治郎印	大和屋武兵衛印

仲閒取締申合印形帳

定

一 轆轤挽物職之者共儀先年申合有之候處仲閒諸事爲取締椀盃食籠木地職仲閒加入仕兩職一體ニ相成度段此度御公儀様ニ奉願上候所右願之趣御聞届被爲成下候上以來椀盃食籠轆轤挽物職仲閒相唱候儀御免被爲成下一同難有仕合奉存候依之爲御冥加壹々年ニ仲閒廿七人之者銀百六拾貳匁宛乍恐奉上納候段御聞濟之上ハ每年年行司之者相納可申候事

一 右仲閒廿七人之内ニ而年分ニ貳人宛年行司等相定置諸事仲閒用向相勤候上壹々年相立候ハ、年行司札無異念翌年年行司者相通シ廿七人之者毎年二人宛一ヶ年替ニ年行司相勤可申候尤年行司ニ相當リ候者他國等決而致開敷候若無據義ニ付他國等仕

候ハ、右年行司相談之上仲閒一同得心之上他國等可仕候且年行司當役ニ相當リ候其節預ケ開敷義ハ勿論我儘等堅致開敷候上年行司相勤居候内自分之了簡不出諸事先々之仕來通相守可申候并仲閒一同差支之儀無之様常々心用ヒ仲閒之内互ニ最眞之沙汰無之様世話仕尤年行司申聞候儀急度相守可申候事

但壹ヶ月ニ行司貳人宛定置月々仲閒諸用向年行司申出候節申合相勤可申候尤一ヶ月相濟候ハハ晦日毎無留置行司札次行司相廻シ可申候尙又行司ニ相當リ候節ハ前書年行司トモ同斷ニ相心得決而他國等致申聞敷若無據義ニ候ハ、斷出雙方得心之上致可申候事

一 惣而加入之儀は先年行司相斷其上年行司仲閒一同廻文ヲ以差支之義尋合之上差支無之一同承知ニ候ハ、年行司御役所様并惣會所表迄其段御

斷奉申上仲閒株帳面ニ加入張紙仕仲閒相加可申候間以來同職相初候者有之候 猥ニ差留候儀或ハ加入ニ付定出銀之外過分之出銀決而爲差出申聞敷候事

一 弟子奉公人年季中不奉公致暇遣候者有之候ハ、早速年行司相斷可申候其旨年行司之者仲閒一同の廻章ヲ以通達可仕候然ル上ハ年行司沙汰有之候奉公人召抱候儀ハ勿論日雇杯名目ヲ附雇入候儀決而致開敷候且又年行司沙汰無之候トモ職向仕覺居候者召抱候節ハ名所相糺候上先年行司相斷年行司一同の差支之有無尋合候間年行司之沙汰承リ候上ニテ取斗可仕候右等之義不相調猥ニ奉公人召抱申聞敷候事

附手間取之者手間賃錢先借有之候手間取其算當不相立内其家ヲ相出候ハ、是又年行司相斷可申其旨仲閒一同へ通達仕置可申候間右差支之案

内有之候手間取堅雇入申聞敷候事

一 仲閒之内自分之細工場セハキニ付他家ニ名前御座候所へ自分之細工場ニ借り受置細工爲致候杯申立家數ヲフヤシ恐多モ御冥加銀之割合出不申其上相定置候加入銀差出不申候様成行候而者仲閒申合之差支ニ相成ニ付以來ハ自分家之外他家借り受細工爲致候儀堅致開敷事

但取打取挽之義ハ是又堅爲致開敷候事

一 轆轤挽物職水上祖神御祭禮毎年四月七日増長無之様相勤可申候尤定仕法左之通

參會之節

膳料

貳匁宛

雜用

壹匁五分宛

右之通ニ相定置縱當日不參仕候ハ右入用之義ハ仲閒一同へ相割付可申候事

一 參會之節親子兄弟之外代人差出シ申聞敷候事

一 仲間之内養子婚禮元服其外祝儀不祝儀共互ニ爲取替無用之事

一 仲間諸寄會之砌ハ前日廻章ヲ以一同ニ通達仕候間若無據義有之不參仕候ハ、其旨廻章名前之下ニ相認メ早々順達可仕候尤不參仕候ハ、多分相談ニ隨ヒ可申候自分勝手ニ付不參致ナカラ跡ハ相極有之候義決而違背申間敷候事

一家名相續人繼目致候ハ、毎年四月七日御神酒斗爲差出可申候事

但御神酒料トシテ金百疋差出候事

一 仲間之内子兄弟別宅致候節ハ前書同様御神酒差出候上出銀左之通

一金貳百疋 元株椀盆食籠木地職仲間ニ加入銀トシテ差遣可申候事

一金貳百疋 顔見世銀トシテ出銀爲致仲間一同ニ相割可申候事

一年季奉公人之義ハ年中首尾能相勤其主人ノ別家爲致候段申出候節出銀左之通

一金貳百疋 前書同斷元株ニ加入銀トシテ差遣可申事

一同貳兩貳步 顔見世銀トシテ出銀爲致仲間一同ニ相割可申候事

此外當日一同ニ振舞爲致可申候事

一手開取并他ノ仲間入出銀左之通

一金貳百疋 前書同斷元株ニ加入銀トシテ差遣可申事

一同四兩 顔見世銀トシテ出銀爲致仲間一同ニ相割可申候事

此外仲間一同ニ振舞爲致可申候事

右之通出銀相定置候上ハ無相違其度每其當人ノ爲差出可申候且加入之義并名前替別宅別家其外變名變宅印形改等之節ハ諸事張紙料トシテ銀壹兩宛ニ相

定置候間年行司張紙ニモ出候節無滯爲差出可申候事

一年行司衆中之内年々當役貳人之衆中ニ銀壹枚宛袴褶與相定置殘仲間之者ノ年分ニ銀貳枚當役貳人之年行司ニ無相違相納可申候事

一 職方ニ相用ヒ候轆轤臺之儀ハ壹軒毎ニ臺ニ挺宛等相定置候上ハ右貳挺之上堅相用申間敷候尙又當仲間廿七人之内ニテ臺貳挺宛所持致居候者ハ當時十七人有之其餘ハ拾人共臺壹挺宛所持仕居候ニ付諸事仲間入用之義ハ右臺割仕可申候則此度之諸入用銀モ右臺數ニ割合貳挺所持之者貳分ニ出銀差出シ申候間以來ハ左之通諸入用臺割ニ相成候儀堅相守可申候事

但仲間諸入用之内御冥加并年頭八朔ニ相勤申候モノハ仲間顔割可仕候事

一 前書之通轆轤臺數相定置候得ハ已後右壹挺宛所持致居候拾人之者勝手付貳挺ニ仕候ハ、銀八十匁仲

間差出候上臺貳挺相用可申候尤右出銀之義ハ仲間臺數ニ割付可申候事

但臺一挺相増候ニ付右銀八拾匁之出銀致候義ハ仲間廿七人之内ニ限り可申候間以來加入之者臺貳挺所持致加入仕候ハ、新加入出銀貳通リ爲差出可申候且加入之節壹挺ニ而其後貳挺ニ相直シ候トモ此度申合廿七人之外ハ臺壹挺ニ付新加入出銀同様ニ爲差出可申候

一新加入之者ノ差出仲間一同ニ相割候出銀ハ不及申諸事仲間ニ差出候諸祝儀出銀之義ハ不殘轆轤臺之數ニ割合候上割付可仕候事

右ケ條之趣忘脚不致様永々相守候上渡世向第一ニ相勵可申候且又御冥加銀之儀ハ不及申其外仲間諸入用并臨時諸入用共諸事取集之節ハ早速差出可申候自然右爲相滯候歟此度之仲間取締申合之條々不相用歟又ハ違背之者有之候ハ、年行司候者ノ乍恐御役所様ニ

職留之義御願奉申上候開其旨兼而一同承知仕候上者其節ニ至リ一言之申分無御座候爲其仲間一同取締申合仕候上印形仕候處依而如件

輓轡挽物職仲間惣代

天保三辰年

堺屋作兵衛印

閏十一月 日

大和屋清兵衛印 京屋仙吉印

大和屋武兵衛印 尾張屋清兵衛印

尾張屋喜兵衛印 布袋屋藤兵衛印

外二十名

一當輓轡挽物職仲間之儀ハ先年奉願上仲間御免被爲成下候付取締行届今以承續仕候段一同難有仕合ニ可奉存候義ニ御座候然ル處右之通先年願立候節ハ仲間都合廿七軒有之候處其後年々諸色高直之時節柄ニテ困窮之者多出來仲間諸人用銀年々相滯候上

追々職業相止メ候モノ有之既ニ當時ニ而ハ拾六軒ニ相成其餘拾壹軒ハ明株ト相成自ラ諸入用物過分ニ相成候様其外右明株ニ相成候向諸入用銀滯多在之仲間之借銀ト相成并ニ仲間願立之節諸入用銀仲間借リニ仕罷在候分是以今ニ相濟不申其上近年之年柄ニ付當時殘リ罷在候拾六軒之者トモ甚及難澁ニ罷在候得バ仲間御免被成下候御蔭ヲ以一同安堵之渡世仕候義故年々之御冥加銀之儀ハ聊無滯奉上納度旁以仲間一同心配仕進モ此姿ニ而者古借之分濟方無覺束何卒無事ニ取償申度候付此度一同打寄相談之上取極候義ハ以來右拾壹軒之明株ト加入仕候モノ在之候節ハ仲間式目帳面ニ相記置候出銀之外ニ金拾五兩出金爲致尤右之内金五兩ハ兼テ御頼在之候當職之水上紀州御宮江諸社御覆修料トシテ奉差上殘リ拾兩ハ仲間古借之分ニ差入可申取極ニ仕左候ハ、此後加入之者在之次第追々古借濟方相

成候道理ニテ右ハ全仲間永續ヲ願ヒ候而已取極候義ニ候開右申合堅相守新規加入之分ハ右之通式目定之外ニ拾五兩出金爲致可申候若右出金不承知之者ハ決而加入爲致開敷候儀ハ勿論タトヘ取極通無相違出金仕候共仲間之内壹人ニテモ不承知申立候者在之候ハ、決而差加申開敷候能々其仁物承リ合仲間一同無差支承知致候上ニ而加入爲致可申候右之通此度一同取極候上ハ此帳面仲間式目記在之ハ取締申合帳ニ相添置古借無滯相濟候迄無忘脚相守可申候爲其一同印形仍如件

天保九戌年五月

堺屋作兵衛印 大和屋清兵衛印

京屋仙吉印 大和屋武兵衛印

尾張屋喜兵衛印 布袋屋藤兵衛印

大和屋喜太郎 代判 藤兵衛印

京屋松兵衛 代判 利兵衛印

天滿屋喜助印 大坂屋傳兵衛印
河内屋儀兵衛印 大和屋利吉印
嶋屋証治郎印 木地屋與兵衛印
大和屋吉兵衛印 木地屋仁兵衛印

株仲間の濫觴 (嘉永)

株仲間ノ事

一大阪商業仲間ノ組合ハ往昔ニアリテハ其同業者互ニ便利ヲ通シ營業上不檢束ノ事ナカラント欲スルヨリ生シタルモノニシテ當初ハ只々其仲間ヲ結ヒ規則等ヲ設ケタルモノナリシカ爾後世態ノ改進シテ商業年々繁盛ヲ加フルニ及ヒ隨テ商賈經營ノ上ニ於ケルモ往々黠知ノ所爲アリ稍ヤク私約ノ規

則ニ依リ仲間組合ヲ保ツ能ハサルノ場合トナリシ
ヲ以テ明和年度ニ至テ諸商業者漸次ニ其營業ヲ以
テ株ト爲サンコト官ニ請ヒ其許可ヲ得此ニ於テ株
仲間ノ制始メテ立タリ

一 株仲間ノ制タル諸種ノ商業各其別アリト雖モ主要
ノ趣意ハ其同業ノ人員ヲ限リ申合セノ條目ヲ定メ
株札ヲ受ケ仲間ニ因リテハ年々若干ノ冥加金無代
物等ヲ官ニ納メ仲間ノ事務ハ年行司ヲ置キテ辦理
セシメ苟シクモ仲間ノ申合ニ違背スルモノハ直ニ
之ヲ譴責シ新ニ株仲間ニ加入セントスル者アルモ
品行其他ノ事ニ於テ株仲間同業者ノ許諾ヲ得サレ
ハ決シテ加入スル能ハス若シ此株仲間外ニ在リテ
商業ヲ營ムモノアレハ株仲間ハ直ニ之ヲ官ニ訴ヘ
官ニ嚴重ニ當人ヲ所置シタルモノナリ而カシテ當
時株仲間ノ數ハ凡ソ九十八種ナリキ

一 株仲間ノ制タル前項ノ如ク其同業者ノ人員ヲ限リ

他人自由ニ之ニ加入シテ其商業ヲ營ミ得サリシカ
如キハ今日ヨリ反省スレハ頗ル束縛ノ所爲ニシテ
或ハ營業者カ專賣ノ利ヲ占ントスル心意ヨリ出タ
ル者ノ如キ跡ナキニアラスト雖モ因テ以大坂商
業上ノ信用ヲ固メ便利ヲ加ヘ各地ノ物産ヲ招集シ
商業ノ繁盛ヲ致シタルハ亦々觀ルベキモノアリ而
ノ舊政府ハ天保十二年ニ及ンテ諸物價ノ騰貴ヲ憂
ヘ之ヲ低落セシメンカ爲メ諸株仲間ヲ廢シ其冥加
金ヲ止メ隨意ニ營業ナサシメタルモ以來商法崩壞
シ物價ハ敢テ低落セス却テ不融通トナリシヲ以テ
嘉永四年更ニ令シテ諸仲間舊ニ復シタリ但タ此ノ
時ニ於テ冥加金ヲ收メヌ又タ所謂株仲間ノ人員ヲ
限ルコト停メ大ニ改良アリタリ今左ニ其諸仲間再
興ニ就キ當時ノ布令文ヲ掲ク

三郷年番町々年寄共

去ル寅年株札并問屋仲間組合等停止是迄納來候冥

加金上納ハ勿論無代納物無賃人足駄付其外冥加勤
ノ類モ悉ク免除被仰付候處其以來商法相崩レ諸品
下直ニモ不相成却テ不融通ノ趣相聞候ニ付此度問
屋組合ノ義都テ前々ノ通再興申渡彌以冥加金御上
納義ハ不被及御沙汰候間其旨ヲ存諸物價際立直段
引下ケ賣買ハ不及申品劣リ掛目減シ等之義無
之一切正路ニ賣買可致候且前々諸職人諸商人仲間
組合取極候度毎新規仲間加入ノ者有之候共差障リ
申聞敷候ハ勿論其者共ヨリ多分ノ禮金振舞等爲致
候義ハ不相成旨其外取締方ノ義追々申渡有之義ニ
テ新規ニ商賣相初候ヲ差構無之筈ニ候間此度問屋
組合再興申付候迎前々ノ如ク株札等相渡候義ニハ
無之人數ノ増減ハ勝手次第ノ事ニ付不筋ノ申合手
狹窮屈ノ自法相定候義ハ決シテ不可致然シ其渡世
柄ニヨリ無據人數不定候テハ差支候義有之品ハ吟
味之上明白ニ其謂無之候テハ容易ニ難聞届義ニ付

其段相心得是迄ノ商法ニ不流質素儉約ヲ第一ニ致
諸事奢侈僭上ノ義無之様相慎深ク(本)大平ノ御仁德ヲ
奉仰分々ノ渡世永續致銘々安住ノ冥加ヲ辨ヘ四民
暮シ方辨利ノ義ヲ厚ク心懸實直ニ産業ヲ營ミ候様
可致此上心得違一己ノ利得ニ迷ヒ申渡ヲ不相用者
有之候ハ、早速召捕逢吟味嚴重ノ御仕置申付此義
ニヨリ家業取放候間聊不取締ノ義無之様精々厚可
申合候右之通申渡候付而ハ問屋組合共都テ前々ニ
不拘現在ノ姿ヲ以テ紛敷義無之様厚ク取調其町々
年寄共ヨリ來月中諸色取締懸總年寄ヘ可申立其上
得ト遂穿繫亦々可及沙汰問夫迄ノ所ハ諸商人諸職
人共全當時ノ振合ニ相心得罷在右申渡以前家業筋
ニ付何事モ訴訟申出候義不相成候若シ心得違及出
訴候者有之候ハ、町役人共迄可爲曲事外ニケ
條略ス
右之通申渡候間夫々組合町々并諸職人諸商人共ヘ
不洩様能々可申通候

右之通被仰渡候趣町々不洩様早々可有達方候
嘉永四亥年三月廿一日 惣年寄

去ル丑年中諸問屋組合停止被仰出候處其以來問屋
組合商法取締相崩諸色下直ニモ不相成却テ不融通
ノ趣モ相聞候付此度問屋組合ノ義都テ文化以前之
通り再興可被申付候左様元十組ノ者共冥加金上
納等ノ御沙汰ハ彌以無之候間文化以來ノ商法ニ不
流諸商人共物價引下ケ方ノ義厚心懸ケ實意ニ渡世
相營候様得ト申諭取締方等精々可被申渡候

三月

右之通町奉行へ申渡候間向々へ可被相觸候

右之趣於江戸表同所町奉行へ被仰渡候段被仰下候
條此旨三郷町中可觸之者也

嘉永四亥年三月廿五日

加賀

日向

一右布令ノ後同年七月同町奉行ヨリ大坂諸商人諸職

人ニ對シ更ニ同趣意ヲ以テ諸問屋組合トモ總テ前
々ノ通再興申渡シタル旨布令アリタリ
一諸仲開右ノ如ク再興シタルヲ以テ維新ノ際マテ大
坂ノ商業ハ往時ニ復シテ其習慣ヲ持續シタリ

明和年開ノ商業組合

現今ノ大坂商業組合ハ實ニ近年ノ組織ニ係ルト雖ト
モ以前ハ即チ會所ナルモノアリテ同商業仲間ノ取締
ヲナシ自ツカラ組合ノ實ヲ有シタルナリ扱明和年間
ニ於ケル商業上ノ會所何程アリシカト云フニ
南兩替屋 南本町四丁目
木 挽 西笹町(甚兵衛)
銅吹屋 吉左衛門町

髮 結 與左衛門町
米 方 堂島船大工町(松葉屋市兵衛)
依 物 備後町五丁目
過 書 大川町
廻 船 阿波町
十人材木屋 七郎右衛門町八丁目
諸 船 富島二丁目
銀 座 (但南組天滿組)内兩替町
朱 座 (同) 本町一丁目
(原本此ノ項重複記載シアリ)

株仲開再興 (嘉永五)

一今般江戸積廿四組御再興ニ付惣年寄様ヨリ銘々共

御召之上以前組々名前帳相調候様被仰付候間御通
達申上度候ニ付明十一日正四ツ時境屋吉兵衛宅へ
御出席可被下候右御案内申上度如斯勿々

嘉永四年十二月十日

九店世話番

表 店 近年 塗物店 塗惣 明神講 布治
瀬戸物店 天平 通町組 葛九 堀留組 清治
乾物店 昆布伊 安永壹 紙治 安永貳 泉久
安永三 濫源 同 四 炭三 同 五 佐野辨
同 七 泉武 同 九 播彦 書林組 熊井
紅梅組 山善 榮組 錢長
右十二月十一日和泉字境利布治、三人境吉宅へ出
席致候則手續書付別紙ニ致袋ニ入置候
同

一廿四組江戸積問屋仲開御再興ニ付舊冬名前取調之
義惣御年寄中ヨリ被仰聞候間則御組々名前中清書
ヲ以テ御伺申上候處此節御聞濟ノ上愈々本紙可差

上様被仰聞依之近日日本帳出來次第差上候節御案内申上候間御組々ヨリ御惣代御一人宛御出揃ヒ被下度此段前以申上置候尙又先達テ御名前御書出シニ相成候分相違無御座候哉爲念申上候相違無之候ハハ御調印可被下候以上

嘉永五年二月朔日

重種九店

組々名前

口 達

一諸仲間共素人直賣買之儀彌以不相成旨迄ニ被爲仰渡難有奉承知候就夫先般申合之通素人ハ貸名前不相成候筈之處紛敷仁有之趣粗相聞不取締之義ニ付以來右體之義決而相成不申候向後參着之荷物自分居宅納屋等ニ而賣捌可被成候自然勝手ニ付他町へ

納屋借リ受諸魚賣捌所被成度候ハ、前以年行司ハ相斷可被成候其節評談之上取斗可致候此外都テ先般申合ケ條無違失念度御守可被成候若相背候仁有之候ハ、御願奉申上仲間名前帳相添可申候此段篤ト御承知之上御守可被成候以上

事

右之趣ハ此度三町組五組示談之上ニ統調印取置候

嘉永六丑年四月

五組 年行司 印

前書之通急度相守可申候萬一貸名前致候得ハ如何様之御取斗被成候共其時一言之申分無御座候仍連印如件

吹田屋庄兵衛印

外 八 名

御年行司

北國屋九兵衛殿

而在來之通取斗可爲致候爲念取替一札仍如件

嘉永六年

出口町組

癸丑四月

年行司

貳拾六人組

年行司

八人組

年行司

内平野町組

年行司御衆中

拾三人組

年行司御衆中

爲取替一札

一此度三町問屋ハ相談有之同文ニ而仲間取締通達致候儀ハ素人ハ名前貸候義專一ニ取締仕候ニ付是迄賣來リ居宅納屋之外ニ而諸魚賣捌候而者紛敷候乍併其勝手ニ寄他町ニ而納屋借受賣捌致度仁有之候節ハ前以五組年行司評談之上取斗可仕筈ニ御座候然ルニ五組之内當三組ハ往返開遠故是迄急荷物之諸魚手元ニ而持廻リ賣方致候儀モ有之候處此度取締ニ付自分居宅納家ト限ニ相當リ候而者當方差支相成及御引合候處無株之者へ問屋ハ貸名前或ハ紛敷出シ荷物不相成儀ニ而是迄之通急荷物諸魚手本ニ而持廻リ賣方ハ其二組ニオイテモ差支無之趣ニ

爲取替一札

一此度三町問屋ハ相談有之同文ニ而仲間取締通達致

候儀ハ素人ノ貸名前之義專一之取締仕候ニ付是迄賣來之居宅納屋之外ニ而諸魚賣捌候而ハ紛敷候乍併其勝手ニ寄他町ニ而納屋借請賣捌致度仁有之候節ハ前以テ五組年行司評談之上取斗可仕筈ニ御座候然ルニ五組之内濱三組ハ往返間遠故是迄モ急荷物諸魚手本ニテ持廻リ賣方仕來申候ニ付向後自分居宅納家ト限ニ相當リ候テハ一統差支相成候趣御申被成御尤ニ奉存候勿論此度取締之儀ハ無株之者ハ問屋ノ貸名前或ハ紛敷出シ荷物等不相成候而矢張是迄之通急荷物諸魚手本ニテ持廻リ賣方被成候共當ニ組ニオイテモ聊差支無之承知イタシ候間是迄仕來通り御取斗可被成候爲念爲取替一札仍如件

嘉永六年

内平野町組

癸丑四月

年行司

十三人組

年行司

出口町組

年行司御衆中

貳拾六人組

年行司御衆中

八人組

年行司御衆中

安政四年足袋糞束屋仲間

定

一從御公儀様被爲仰渡候趣堅相守可申事
 一代呂物念入直段下直正路之商内可致候事
 一仲間申合規定書之通カタク相用可申候事
 右之條々堅相守可申候事

安政四年

三郷足袋糞束

已十二月

仲間

印

仲間申合一札之事

一從御公儀様被爲仰渡候趣堅相守可申候事
 一奉公人不奉公致候ハ、一流申合決而召遣ヒ申間敷事

一下職人間遣ヒ候節已前相勤候先ヲ得ト相糺候上召遣ヒ可申候事

一流申合規定書之通決而相背申間敷事
 右之條々堅相守可申候事

安政四年

三郷足袋糞束仲間

已十二月

年行司連

印

名宛殿

足袋商

總テ足袋并ニ足袋糞束仲間ハ其商品ヲ其家ニテ製造シ其家ニテ賣捌クモノニシテ謂フ所卸賣ナリ從來江戸ニテ大阪足袋ト唱エシハ皆其各藩邸へ賣込ムモノニシテ維新以還ハ此事全ク廢シ却テ今時ハ大阪ニテ東京足袋ヲ仕入ルコトナリタリ

○足袋商ハ古來ヨリ組合ノ設ケナシ獨リ江戸積ノミ規約ヲ設ケシコアリ而シテ之カ惣人員ハ大凡二百人以上アリタリ

○足袋商ハ河内地方其他各地ヨリ産出スル木綿ヲ以テ製造シ復之ヲ各地へ賣捌クモノニシテ其江戸送りニハ商人自ラ出張シテ取引ヲナシ然ラサルモ手代ヲ派遣シテ之ヲ掌ラシム

○江戸積ノ外ニ北國筋及ヒ九州四國中國等へ輸送スル荷物ハ皆注文品ニシテ買人自ラ來ルカ然ラサレハ

文通ニテ申來リ總テ現金取引トス然レトモ年來取引先杯ハ信用ニ依テ掛賣ニスルコアリ但シ文通ニテ注文シ來ル分ハ積荷問屋へ荷物ヲ渡シ判取帳ニ捺印セシムルマテニシテ其代價ハ爲換ニテ送り來レリ

此節出府仕候

本銀町四丁目太七地借

越後屋十右衛門方旅宿

大坂旅人足袋屋年行事

丸平屋

一大坂足袋屋

嘉兵衛

本石町四丁目藤次郎地借

相模屋龜七方旅宿

同年行事

河内傳兵衛

右者本石町邊ニ定宿有之年々罷下リ商賈仕彼等申立ハ享保六丑年御當地諸商賈取締被仰候砌旅人之儀ニ付江戸組合ハ入不申大坂足袋屋一組年行事相立取締可仕旨御聞濟相成其以來年々十一月出府仕候砌人數書町年寄ハ相届既ニ寛政十年村上肥後守殿御勤役中馬喰町小傳馬町組旅人宿共ヨリ右足袋屋止宿罷在候宿ヲ相手取御願願申上候節當足袋屋共ヨリモ願出御吟味之上享保年中之元濟相分リ差障無之儀ニ罷成訴狀御下ケ奉願候旨別紙寫差出申候其後文化六巳年十組菱垣廻船積仲聞上金之節ヨリ冥加金相納大坂足袋商人之名目并江戸旅宿名前トモ帳面差出候處去ル丑年御改革ノ砌御差止相成其後八年々罷下候人數届書共不差出候旨申シ候

寛政十年年四月濟口訴訟御下ケ願

乍恐以書付奉願上候

一岩附町利右衛門店ニ旅宿仕候大坂足袋屋仲聞惣代年行事大坂龜山町家持八兵衛幼年ニ付代市兵衛同所常盤町四丁目善兵衛店清八奉申上候私仲聞前々ヨリ足袋屋商賈仕大坂表ニテ仕入御當地ニテ賣捌毎年御當地へ差下シ荷物夥敷駄敷御座候上荷物取廣ケ候ニモ手狭ニテハ差支土藏等無御座候テハ火災等ノ節無心許奉存候ニ付銘々出府仕最寄宜敷方へ家作土藏等補理旅宿仕冬ヨリ春ハ掛リ逗留仕商賈仕來候處享保六丑年御當地十仲聞取締被仰其節私共儀モ組合相立可申旨被仰渡候ニ付旅先之儀ニ御座候故御當地十仲聞同様ニ相成候テハ難儀仕候別段仲聞相立度旨奉願上候處御糺之上願之通被仰付尤仲聞ノ内ニテ行事相立新規銘鋪仕出シ物等一切不仕候様吟味仕不實之商賈不仕候様被仰付候ニ付其砌ヨリ仲聞人數取極嚴敷申合年行事兩人宛相立毎年十一月中間ノ者共御當

地ノ着仕町御年寄衆役所ハ人別帳差上一同着仕候段御届申上候右取締被仰付候以後當年迄七拾八ヶ年大切ニ相守商賈仕來難有仕合奉存候且又前々ヨリ馬喰町之外町々ニテ猥リニ旅人差留申聞敷旨ニテ御座候得共私義ハ無滞旅宿仕是迄旅人宿行事ヨリ差構請候儀一切無御座候然ル處去巳十二月馬喰町小傳馬町旅人宿行事共ヨリ私共旅宿仕候宿ノ者共故相手取御訴訟申上候ニ付宿ノ者共被相手取候儀驚入候早速相詫已來旅人差留申聞敷旨ノ一札差出内濟仕候段當正月中私共承之奉驚入候私共儀者早朝ヨリ商賈ニ出夜ニ入立歸リ候故右出入ニ相成候譯故不存宿之者ヨリ申聞候儀無御座一同外々ハ立退候様宿ノ者ヨリ申付候ニ付右及出入譯ヲ承糺候處何等ノ趣意子細モ無御座被相手取候段恐入内濟仕候旨申シ候得共仲聞取締被仰付候ニ付以後七十八ヶ年來御年寄御役所ハ人別帳差上着揃御届申上來候故内々ニテ相忍止宿仕候旅

人ニテハ無之候ニ付右之譯相咄候ハ、旅人宿行事方ヨリ及出入申間敷儀ト奉存候處私共迄一向不申間内濟仕候段何共心得違之義差當リ私共旅宿ニ差支難儀仕候間御年寄御役所御届申上候始末旅人宿行事方ニ相掛合候モ無滞商買仕度所存ニ御座候處右之始末ニ相成全宿之者共委細之譯ヲ不存故及出入殊更一應之御吟味モ不奉請内濟仕今更私共立退候様申掛候段誠ニ以難儀至極迷惑仕候堂社物參之類諸國人類等止宿爲仕候義ニモ無御座私共止宿仕候儀ニ御座候間乍恐右之趣被爲聞召分相手之者共被召出旅人宿行事方ニ篤ト相掛合是迄之通ニテ差構無之様取扱吳候様被仰付被下置候様大傳馬町鹽町家主治衛門本銀町四丁目徳兵衛店伊兵衛本石町四丁目利兵衛店佐兵衛右三人相手取當四月三日御訴訟奉申上候得共御糺ニ罷成去已十二月中右三人之者相手取御訴訟申上候旅人宿行事馬喰町貳町目家主十兵衛外四人之者被召出私

共仲間之儀享保六丑年御願申上年々町御年寄御役所へ人別帳差上來候上ハ差障難相立段被仰渡候尤十兵衛外四人之者共儀私共仲間御願申上人別帳差上候儀故存知不申故去已十二月中治右衛門外二人之者迄相手取御訴訟申上候儀ニテ今般被召出前書之趣被仰渡候上者是迄之通ニテ差障無御座旨之書面差上候上者私共儀是迄之通ニ相成難有仕合奉存候然ル上者外ニ御願申上候筋無御座候間何卒以御慈悲訴訟御下ケ被成下候様偏ニ奉願上候以上

岩附町利右衛門店旅人宿

大坂足袋屋惣代年行事

大坂龜山町家持八兵衛

幼年ニ付代

寛政十年四月廿二日

市兵衛

同所常盤町四丁目

善兵衛店

乾 物 商

乾物問屋ハ元來申合ノミニテ成立セシ者ニシテ株ト稱セシトナシ然レモ問屋仲買共ニ三十名位ツ、ノ人員ニシテ小賣ハ專業ノ者ナリ皆青物ト兼業ナリ尤モ往年ハ青物仲間ニ非サレハ乾物ヲ取扱フ一能ハサル程ノ勢ヒナリシカ猶其以前ニ溯レハ自ラ青物市トハ商域ヲ異ニセルナリ

○問屋中ヨリ定行司二名ヲ撰舉シ以テ仲買及小賣等迄ノ事務ヲ取扱ハシム

○問屋仲買合併ニテ最寄ニヨリ組合ヲ別ツ即チ眞組古組戎組等ナリ然レモコノ業ヲナスモノハ天滿近傍

尤モ多シ

○乾物ノ産地ハ西國筋九分ノ多キニ居リ次キチ東京トス其他ハ遠江、三河、尾張、伊勢、北國筋及ヒ西京等ナリ皆問屋ノ買取りニ係ル尤モ西國筋ノ産ハ悉皆荷受問屋トノ取引ニシテ其他ノ産品ハ送り荷アリ注文品アリ又他ノ産地ノ物品ヲ以テ交換スルコトアリテ其取引皆千態萬狀ナリトス然レモ買取品ハ悉ク現金ヲ通例トセリ

○問屋ハ各所ヨリ仕入シ物品ヲ問屋ノ庭或ハ近鄰ノ席ヲ借りテ市ヲ立テ之ヲ仲買ニ賣渡シコノ取引ノ一節季勘定トス渾テ問屋ノ取引ニ於テ遠國ニハ現金拂トシ最寄ニハ延賣ナリトス

○右問屋ハ物品ノ仕入ニ皆他人ノ手ヲ仰キテ仕入ルル故問屋ノ名アルモ其實仲買ノ如クナレモ獨リ高野豆腐ヲ取扱フ問屋ノミハ他人ノ手ヲ經スシテ直チニ産地ト取引スルニヨリ純乎タル問屋ノ本體ヲ備ヘタ

リコノ高野豆腐ヲ取扱フ問屋モ右問屋仲間ノウチニシテ其人員惣仲間ノ半ハニ居レリ然レ亦之ヲ兼テタルモノモアリ但シコノ高野豆腐ヲ取扱フニ問屋ノ口錢ハ仲買ヘ入札賣ノ其百分ノ七ヲ得相對賣ニハ同シノ二分トス尤モ百分ノ七ヲ得ル時ハ其二分ヲ歩戻シト稱シ仲買ヘ戻スノ習慣アリ

煙草問屋 (安永、明和、享保)

菓子ト煙草ト而シテ酒トハ世ニ贅澤品ノ三幅對トシテ數ヘラルレトコレモ亦々無クテハナラヌ鯉魚節必要アツテ必要ノ供給ヲ爲スモノ府下各地ニ十六戶仲買四十戶アリ遠ク元龜年間ニ開業シ安永二年六月組合仲間ヲ定メリ然ルニ其後幾多ノ歲月ヲ閱シ明治五

年ニ至リ組合仲間ヲ廢セシガ一朝又タコレガ必要ヲ感シテ再興シヌカクテ手數料ハ賣買金額一百分ノ以上五以下ヲ收納シ若シ爲替金ヲ貸與スル際ニハ金額一百分ノ二ヲ收受シテ利子ト爲シ陸揚等ノ諸費ハ勿論一切貨主ヨリ支辨スルノ規定ナリキ今其ノ產地ノ重ナルモノヲ序テニ舉クレハ薩摩國、攝津ノ島上郡服部村、丹波國南桑田郡山本村等ニシテ販路ハ東京、京都、尾張、北國一圓ナリキ

藥種問屋

藥種問屋ハ東區道修町二丁目二百三十五戶仲買一百九十四戶アリ享保七年初メテ開業シテ株仲間ヲ設ケシガ明治五年此レヲ廢セリ六年更ニ組合仲間ヲ結合

ス其規ニヨレハ凡テ内國產ノ物品ヲ時價ニ從ヒテ購入シ若シ時價ノ高低變動ノ甚シク到低經紀シ難キト

キハ爲替金ヲ貸與シ而シテ販賣ノ後相當之利子ヲ受取り且ツ販賣金額ハ百分ノ三ヲ受納メテ此レガ手數料ニ充テ外國輸入品ハ取引商ヨリ購入スルノ習慣ニシテ今其ノ經紀スル品類ノ概略ヲ掲クレハ

- 御種人參(出雲產) 牡丹皮、芍藥、括蕒根、山菜
- 萹、川芎、吳茱萸(以上大和產) 茯苓、杏仁、桃仁 (以上信濃產) 紫根、括蕒仁(以上薩摩產)
- 黃連(加賀產) 黃柏、釣藤(伊豫產) 麥門冬(河内產) 天門冬(山城產) 廣東人參、藿香(以上清國) 硫酸キニ一子、炭酸曹達、酒石酸、ヨードカリム、ニツケル、サントニー子、ビスミット、ヨジム、シンコニー子、フロマイカリ、セメン、シイナ、キニジー子(以上西洋及各國產)

販賣地方ハ畿内、中國、九州、北國、東海、清國

(但シ清國ヘハ本邦所產ノ品ニ限ル)

麻苧商仲間 (慶應)

麻苧仲間ノ組立ハ僅ニ維新前四五年ノ事ニ係ル抑コノ麻苧商ハ元來其組合仲間等ヲ要セサレトモ兵庫地方ニ於テ該商ノ株仲間ヲ組立テ東京積ヲ總括シ他ノ同業者ノ商權ヲ剝奪シ特ニ其利潤ヲ專有セントスル勢ナリト云フニヨリ府下麻苧商人ハ大ニ驚キ若シ兵庫地方ニ於テ羽翼既ニ成ルノ後チハ勢ヒ彼カ制ヲ受クルニ至ラン然ラハ即チ我府下ノ商人ハ大ナル損失ヲ來タスノミナラス大阪ノ商權地ニ墜チタリト云フヘシト強起憤勵シテ彼ニ先タチ五人團結シテ問屋仲間ヲ創立シ官認ヲ得タリ而シテ終ニ兵庫地方ノ組合

ハ振ハスシテ止ム

○最初麻苧問屋ノ名目ニテ官認ヲ得即チ前ノ五人問屋トナリ各地方ノ荷ハ必ス問屋ヘ持込ムコトニ定メシカトモ一得アレハ一失ヲ生ス自餘ノ商人元來自儘ノ賣買ニ慣レ問屋ノ下ニ立ツコト欲セス終ニ一大葛藤ヲ生シ公裁ヲ仰クニ至リタリシモ官之ニ和解ヲ諭シ終ニ問屋ノ名稱ヲ廢シ更ニ同業人ヲ通シテ麻苧仲間ト稱スルコトニナリ鑑札ニ拾七枚ヲ下渡サレシハ慶應三卯年ノコトナリ夫ヨリ加入八枚アリタレトモ中間ト稱シ其取引ヲ盛ンニセシモノ三十二三名ニ過キス抑コノ人員ハ前ニ問屋ト稱ヘシ頃自餘ノ人員ヲ仲買視シタルモノナレトモ爰ニ到リ皆均一ノ權ヲ有スルコトナリタリ尤モコノ商業ニ從事シテ身代大ナラス且細少ノ取引ヲナスモノハ枚擧ニ違アラス又コノ仲間ノ中ニモ身代頗ル菲薄ノモノアリ

○元來コノ商賣ニ於テ問屋仲買小賣等ノ區別ハ立難

キモノナリソノ原因タル麻苧ハ新物發賣ノ時分ニ至リ去年出來ノモノ頗ル色ヲ失ヒ大ニ勢價ヲ落シ且其量目ヲ減スルカ故ニ若シ之カ區別ヲ立テルハ問屋ハ果シテ非常ノ損害ヲ來タス故ニ商賣ハ尙自儘ナル取引ヲ欲スルナリ

○大阪ノ麻苧商ハ東京ノ同業人ニ比スルニ其取引尤モ細少ナリトス其故如何トナルニ元來大阪ニ船具商ナルモノアリテ從前ヨリ各地方麻苧ノ荷主ヨリ直買シ之カ爲メニ麻苧商賣ニ非常ノ影響ヲ與ヘタリ原ヨリコノ船具商ハ頗ル麻苧ヲ取扱フコト多キカ故ニ我麻苧中間ニ加入セサレハ直買ヲナサシメスシテ我仲間ヨリ取引ヲナスヘシトノ論古來ヨリ紛々タレモ今ニ依然トシテ其論點ノ歸着スル所ヲ見ス

○麻ト稱シ苧ト唱フル其區別判然セサレモ其本原ハ同一ナリ然レモ東國ヨリ產出スルモノヲ麻ト云ヒ西國ヨリ來レルモノヲ苧ト言フコレ地方ニ依テ其稱呼

ヲ異ニスルモノカ或ハ其製造ニヨルモノカ元來東國製ハ苧ヲ苧リ之ヲ釜ニテ蒸シ上ケ西國ハ之ヲ水中ニ浸シ置キ腐敗ヲ待テ之ヲ製ス故ニ西國產ハ東國製ノ美ニ加カス性質モ亦少シク異ナル所ヲ生ス即チ東國製ノモノハ曳クニ甚力アリ西國產ハ水及ヒ摩擦ニ強シ

○麻苧ノ創リハ日向ヲ本トス今ハ日向產ヲ只タ一般ニ日向苧ト云ヘ凡往古ハ之ヲ高千穂苧ト呼ヘリ

○麻苧ハ海外萬國ノ產アリト雖モ共ニ我國ノ產ニ比スレハ最下等ニモ及ヒ難シ然レモ價貴キヲ以テ輸出充分ナラス

○產地ハ信州ヲ尤モ廣シトシ且着荷モ尤モ多シトス元來麻苧ハ皇國一般ニ產出スレモ或ハ一國ニシテ一國ノ需用ニ足ラサルモノアリ一國ノ需用餘リアリテ各地ヘ輸出スル地方ハ東國筋ニハ信州、下野、上野、越前等トシ西國筋ニハ廣島^{安藝}、日向、豊前、豊後、

八代^{肥後}、丹波、但馬、石見等ナリ

○信州產ハ疊絲ニ用キテ最上ノ功能アリ尤モ信州ハ日本全州ノ良品ニシテ何用ニ供スルモ差支ナシトス又右州及廣島等ハ漁業場ニ尤モ適當ナリ

○荷造ハ種々アリ產地ニ依リテ異同アリトス又產地ニヨリテハ其荷物ノ直立テヲモ異ニセリ左ノ表ニテ略知ルヘキナリ

十四貫目壹俵	直立三十六貫目	信州 ^{赤カ} 屋
十貫目 壹俵	同 三十貫目	下野 ^{赤カ} 屋
二十貫目以下	同 十貫目	各地方產

大略右ノ如クナレトモ又銀百目^{如今ハ金壹圓ヲ以テス}ニ付掛目何程ト定メ取引スルコトアリ是ハ重ニ拾貫目入壹俵ノモノナリ又掛目百斤^{支那斤ニテ百六十目}ニ付價何程ト云ヒテ取引スルモノアリコレハ壹俵百斤以下ノモノナリ

○三拾六貫目及ヒ三拾貫目ニテ直立ヲスル荷物即チ信濃下野等ノミハ皆正味ノ掛目ニシテ古來ヨリ未タ

嘗テ其取引ニ權衡ヲ用ヒサルナリコレ必其掛目ニ不足ナキヲ信認スレハナリ信濃産ノ如キハ時トシテ正味ヨリ掛目強キヲアリ以前ハ悉ク強シ又下野産ハ近頃ニ至リ時トシテ弱キヲ覺ユ

○以上荷主ト取引ハ總テ相對次第ニシテ其時ノ約束ヲ踏ム迄ニ止マルサテ又各地産トモ其上包ミノ筵ハ大阪ニ其品ナキカ故ニ偽造ハ決シテアラサルナリ
○各地産共賣買ニ便スルカ爲メ同種類ノ荷物ノウチ一俵ハ必ズ見本トシテ其筵口ヲ切ル買主ハ切りタル口ヲ能ク見却テ其他ノ口ヲ切ラサル品ヲ好テ取引ス其譯タルヤ一度口ヲ切りテモ其品ノ品位ヲ幾分カ不良ナラシムト是他人ノ手ヲ觸レシヲ恐ル、ナリ又深クコノ道ニ入ラサル買主ハ口ヲ切りタルヲ好ム其故ハ見本ナルヲ以テ其品必ス善良ナリト思ヘルナリ麻苧商人ノ取引ニコノ類ノ客ナキトキハ賣買上甚苦ムト但シ願主ノ取引ニハ注文アリ送り荷アリ各地方區

々ニシテ一定セス

○橡木野下ノ産ハ東京商人多ク之カ產地ト取引ヲナシ阪地ノ商人直チニ橡木ト引合フヲナサスシテ反テ之ヲ東京商人ト取引セリ蓋シ橡木ト直取引スルヨリ東京商人ト取引スルノ價格廉ニシテ便利ナルニヨレリ
○海上ノ難破ハ大抵兩損トスル極メ八九分ノ多キニ居ル元來麻ハ水ニ甚弱ク一度湖水ヲ被ルルハ忽チ腐敗スコレ蓋シアクノ強キモノナルニ依ルカ
○仕切ハ着荷ノ七七八分ヲ爲換商人爲換ナリニテ振起シ殘金ハ二年ノ仕切ナリ又西國筋ハ多ク船頭ニ託ス山分ノ分ハ荷主自カラ來ルヲ多シトスコノ取引ハ總テ現金トス去リナカラ山方ニテ大荷ノ分ハ前二者ノ手續キニ異ナラス又東京ノ如キハ互ニ取引アルニ依リ精算ノ片ハ僅々百圓以下ノ仕切ヲ取り或ハ遺ルノミニシテ夫ヨリ以上ニ及フハ其例尤モ少シ又西國ハ六十日仕切ナレト自然延ヒ勝チニシテ約定ノ如クナラ

砥石硯問屋

ス故ニ右仕切請取ノ爲ニ手代ヲ派遣シ或ハ自ラ出張スルコト多シ尤モ少分ノ取引ニハ皆現金ナリトス
○西國ノ賣込ニモ亦送り荷スルコトアリ又注文ヲ受ケルコトアリ一定セス
○以上演ルカ如ク大阪麻苧賣買ハ皇國一般ノ取引ナレ賣先ハ先ツ西國筋ヲ多シトス
○以上賣買ノ證トスヘキハ判取帳一冊ヲ用ヒ遠キハ船頭ニ託ス又賣主自カラ來ルル片ハ請取證一枚ヲ用フ
○コノ麻苧商賈ハ頗ル道德ノ風ヲ存シ古ヘヨリ相互ヒニ法廷ニ於テ爭ヒタルコト甚少シ
○麻苧麻布ノ類ハ尙ホコノ商賣ノ商域内ニ屬スルモノトス又疊縁ハ疊屋ニ屬スルノ姿ナレト亦コノ商域ノ部分ナリ

砥石及ビ硯問屋東區東橫堀ニ二十三軒アリ而シテ其以前ノ沿革ハ詳カナラズト雖ドモ隨分古クヨリコレアリシニハ相違ナシ斯クテ近年ニ於テハ元治二年ニ問屋株仲間ヲ定メ後チ明治五年ニ至リ其株仲間ヲ解廢スルニ至リシト雖ドモ其翌六年更ニ組合ヲ立テ是レマテノ諸費用即チ川内ノ輪船賃(舢舨下賃)等ハ貨主ノ負擔トシ水揚ケノ費用ハ買主ヨリ支辨スル事ニナレリ扱テ其經記スル品類ハ伊豫砥石青砥石天草砥石大村砥石荒砥石虎石硯石高島硯石等ナルガ其產地ハ伊豫砥石(虎石硯石)伊豫國喜多郡大洲
但馬砥石 但馬國二方郡諸崎
青砥石 丹波國桑田郡
天草砥石 肥後國天草郡
大村砥石(荒砥石) 紀伊國西牟婁郡大村

高島砥石 近江國高島郡
以上ノ通りニシテ其販賣地ハ東京及ヒ筑前筑後ヲ以テ其重ナル得意トス

組合の種類 (明治元年)

之を分ちて二種に大別するを得へし即ち御免株と願株是なり御免株とい官より員數を指定し種類を限りて特許せるものにして天保の解散までハ其種類によりてハ非常の勢力を有し莫大の價格を保ちたるも其後ハ形勢大に變して舊時の如くハなかりしも因襲の久しき信用の厚き猶ホ明治維新までハ強勢を持續したり願株とい人民の請願によりて認可したるものにして種類を定めず員數を限らず治安公益を害せざる

限りハ認可せり今兩種仲間の成立變化の概要を記すべし

い 御免株

御免株ハ特種の功勞に對し一種の特權を與へて秩祿とせしものと公安維持の必要により其取締の便を計りて設けたるものと二種あり五軒問屋の如きハ前者にして唐物屋質屋古手屋の如きハ後者に屬す前者ハ多く傳らず偕御免株の種類と成立を按ずるに

- 一十人兩替屋 十人ヲ定員トス 寛文十年ニ始リ
- 一本 兩 替
- 一北濱組兩替屋
- 一梶木組兩替屋
- 〔編者曰ク原本此ノ所五行空白〕
- 一反物五軒問屋 五 株 享保六年ニ
- 一唐物問屋 三百十五株 同年
- 一出油問屋 三五 株 正保年

一京口問屋(油)	三 株	一兩種問屋	二十 株	寶曆九年
一江戸積問屋(同)	三 株 <small>(天保十年三)</small>	一綿實問屋	十 株	同 年
一絞り油屋		一京都飛脚問屋	十二株	寛永 一株金十二兩
一油 仲 買	五十五株 <small>(天保十七)</small>	一東國定飛脚問屋	八 株	同 同
一油 小 賣	三百十株	一西 國 同	四 株	同 同
一三郷質屋	二千四百廿株			
一材木問屋	二十 株			
一材木小問屋	八十 株			
一材木仲買	二百六十株			
一古 手 商				
一古銅古道具屋				
一唐藥問屋	七十四株			
一唐藥仲買	百八十八株			
一唐藥仲買脇店	九百七十九株			
一砂糖問屋	八十三株			
一砂糖仲買				

願株の内にも増減を許さるものと増減自在なるものと又冥加金を要するものと要せざるものと別の別あり増減を許さるものハ滿株なれば加入するを得ざれども休株あれば之を譲り受けて加入す若し營業者減する時ハ休株と稱して新加入者の生する迄空株となし置くなり此種の株ハ冥加銀を上納す株數に定數なきものハ願出によりて常に増減す其冥加銀を課せざるものハ仲間より届出に止まり冥加金を課するものハ奉行の認可を経たり

甲 株數の増減なきもの

一川魚問屋	五軒	承應年間
一雜喉場生魚問屋	四軒 <small>(明和九、四十四軒)</small>	總銀九〇日
一鹽魚干魚問屋	百四十一軒	天正年間
一天滿青物市場問屋	四十軒	天正時代
一同仲買	百五十軒	明和八年
一木綿江戸組仕入問屋	十二株	總銀八貫六百日
一油町組木綿屋仲間		元和二年
一三所綿問屋	十七軒	寬永年代
一綿買次問屋	四軒 <small>(明和九年十二軒)</small>	總銀二百五匁
一綿問屋		享保 同 三十枚
一七島青筵問屋	四五軒	安永九年
一備後表問屋	十二三軒	總銀二十〇日
一表江戸積問屋	六軒	
一石問屋		明和八年
一諸鳥問屋	七株	總金三十兩
		明和九年
		總銀五十枚

一同仲買	七十五株	同
一蠟問屋	三十五株	同
一仲買	五十五株	同
一生蠟絞屋	五十五株	同
一金銀箔屋	三十四株	同
一藍問屋	七株	寬延元年
一同仲買	百一十株	同
一菱垣廻船問屋	九株	元祿七年
一二四組江戸積問屋		享保九年
一內綿買次積問屋	十株	金百兩
一油問屋	六株	
一鐵釘積問屋	十三株	
一木綿仕入積問屋	十三株	
一壹番紙	五株	
一表店	四株	
一塗物店	二十株	

二番組紙	二株	
內店	三株	
明神講	十七株	
通町	二十五株	
瀬戸物	九株	
藥種	二十五株	
砂糖	二十五株	
堀留	二株	
乾物	十八株	
安永一番紙店	十一株	
同二番	四株	
同三番	三株	
同四番打物鏡砥石	十三株	
同五番	十株	
同六番	二十六株	
同七番	十七株	
同八番蠟店	十四株	
同九番	五株	
同追九番蠟座	十株	
同紅梅組	十三株	
同書林組	六株	
同榮組	十四株	
同航榮組	三十株	
一江戸積樽廻船問屋	八株	享保十五年文化六年=
一荷受問屋(一番組(北國問屋))	二十四株	銀十枚
一同二番組(薩州問屋)定問屋	七株	銀十二枚
一同(同)小問屋	十七株	銀十枚
一同三番組(土佐問屋)		
一同四番組(諸國問屋)		
一肥物問屋	十三株	
一同小問屋	十八株	
一糠問屋	五株	株一銀十二枚

一天滿市場青物乾物仲買	一煎雜喉いかなこ問屋	一薩州小問屋	一唐藥問屋
一煎喉いかなこ仲買	一蒟 蒻 玉	一藥種仲買	一藥種脇店
一堀江青物市問屋	一青物小賣屋仲買	一在方藥種脇店	一沈香線香屋
一青物諸積物仲買	一乾物仲買	一藥種細末色粉製造問屋	一硫黃仲買
一乾物小賣	一湯 葉 屋	一和製舶來硝石	一煙 草 屋
一昆 布 屋	一若 和 布	一繪 具	一藍 屋
一布海苔製法屋	一布海苔染草荒物	一砂糖問屋	一砂糖仲買
一雜喉場生魚問屋	一同 出 買	一砂糖京伏見積問屋	一砂糖東國積問屋
一川 魚 問 屋	一鹽魚干魚鯉節問屋	一砂糖尾州積問屋	一砂糖北國積問屋
一鹽魚干魚鯉節仲買	一五 組 問 屋	一三組砂糖仲買	一 種 屋
一鯉節座組仲買	一諸鳥問屋	一粉 屋	一吳 服 屋
一諸鳥仲買	一鷄卵問屋	一足袋 裝束	一白木綿問屋
一榮組鷄卵仲買	一松前問屋	一江戶組木綿仕入問屋	一油町組木綿屋
一干 鱒	一干鱒堀江仲買	一諸國木綿商賣人	一雲齋木綿屋
一西横堀昆布仲買	一總組戎組昆布仲買	一綿 屋	一三所綿問屋
一青 昆 布	一薩州定問屋	一綿買次問屋	一唐絲反物五軒問屋

一諸絲物問屋	一諸絲物仲買	一石 問 屋	一砥石硯石問屋
一木綿紐絲問屋	一麻 苧 絲	一伊豫砥石	一材木大問屋
一螺	一澁	一圓引講江戶積問屋	一材木仲買
一唐 物	一瀬 戸 物	一材木小問屋	一竹小問屋
一漆 問 屋	一漆 仲 買	一竹 問 屋	一炭 問 屋
一京積鐵釘問屋	一江戶積鐵釘問屋	一炭上積仲買	一吹子炭問屋
一諸國荷請鐵釘問屋	一船釘問屋	一吹子炭仲買	一隣州池田北山出
一鐵針金荷受問屋	一鐵物仕入問屋	一炭薪仲買	一攤并諸炭問屋仲買
一釘諸金物仲買	一諸 履 物	一石炭商人	一薪 問 屋
一疊表莞筵問屋	一七島青筵問屋	一藁灰買出人	一灰 屋
一七島青筵仲買	一繩 筵 直 買	一松前產物大小問屋	一豫州產物荷請問屋
一荒 物 屋	一荒物小賣		
一燈 心 問 屋	一元 紙 屋		
一荷請紙問屋	一江戶積紙問屋		
一紙 小 賣	一本 屋		
一瓦 問 屋	一瓦 仲 買		

一京 飛 脚	一東國定飛脚問屋
一西國筋飛脚	一東國筋運送廻船問屋

〔編者曰々原本此ノ所半丁空白〕

- 一 江戶并諸荷物廻船問屋
- 一 菱垣廻船問屋
- 一 廻船持自千九百石至二十石
- 一 木津川組上荷
- 一 木津川組茶船
- 一 木津川組商茶船持
- 一 上口組上荷茶船
- 一 川筋組杭場
- 一 家形船持
- 一 土船
- 一 石船
- 一 新鋤先船
- 一 涼通船
- 一 駿河廻船問屋
- 一 淀川筋上下運送問屋
- 一 諸國諸荷物
- 一 安治川組上荷
- 一 安治川組茶船
- 一 安治川組商茶船持
- 一 上口組商茶船持
- 一 堀江組杭場
- 一 堀江濱消防上荷船持
- 一 輓轆船持
- 一 砂船持
- 一 古鋤先船
- 一 勸進通船

〔編者曰ク原本此ノ所壹行空白〕

製造業

- 一 木綿絞結職
- 一 木綿手拭形糊附
- 一 着用七組形付紺屋
- 一 三郷紅染
- 一 藍無地染
- 一 鑄物師
- 一 銅細工人
- 一 挾箱竹葛籠仕立
- 一 仕入絞糊置染
- 一 諸木綿張艶折
- 一 仕入形附紺屋
- 一 鬱金染職
- 一 鍋釜鑪鑄物師
- 一 木地箆笥長持職
- 一 挽物職

〔編者曰ク原本此ノ所壹行空白〕

吳服壹番組

(明治初年ノ調査)

吳服壹番組ト唱フルハ舊來吳服問屋ノ一ニシテ維新以後結社シテ問屋ヲ壹番組ト稱シ仲買ヲ貳番組ト稱

スル一ニ改メタリ從來吳服仲間ハ總人員七百餘人アリテ問屋仲買小賣商等ノ區別アリタレトモ其實最モ其商域域ヲ判然タラシムル一難シ之畢竟問屋ノ名義ヲ有スルモノニシテ直接ニ小賣ト取引スルモノアリ又仲買ニシテ產地ヨリ直チニ買入レ或ハ其產地ヘ注文ヲナスモノアリ又小賣商ニシテ三ツ井大丸枳屋等ノ如キ大肆ハ皆小賣商ノ仲間ナレトモ產出地方ヨリ直チニ貨物ヲ仕入レ而シテ小賣ヲ爲スニヨリ小賣商ニシテ問屋仲買ヲ兼ヌルカ如キモノアルニヨレリ然レトモ問屋仲買ハ小賣ヲ爲サ、ルヲ本則トスマタ別ニ關東物ト唱エ上武其他ノ織物ヲ買出シ賣捌クモノアリコノ關東物ノミヲ取扱フモノハ其以前僅々二三名ニ過キサリシモ維新ノ際ニ乘シ江州人入り來リ猥リニ開業シ今ハ二十名以上ニ達セリト云フ然レトモ猶從前ニ在ツテハコノ部分ハ問屋ト仲買トノ區域ヲ引分クヘキ程ノ同業人アラサリシナリ

○問屋ハ各產地ニ赴キ現金ヲ以テ貨物ヲ買入レ本地ニ積送リ之ヲ仲買ニ賣渡スモノトス此ノ取引ニハ現金ヲ以テスルモアレトモ又一ヶ月ヨリ四ヶ月ノ懸ケ賣アリトシ遠國ノ取引ニモ現金ヲ以テスレトモ稍モスレバ四ヶ月以上六ヶ月ニモ至ルコトアリ之雙方ノ契約如何ニ依ルモノトス

○問屋仲買賣買ノ約束調ヒシ上ハ尙品受ケ渡シノ際必ス賣判書ヲ添ユト雖トモ又買主ノ帳簿ニ記載スルコトモアリ

○西國其他遠地ヘ賣荷ヲ輸送スルニハ每荷入記入記録書目ノ如キモノニシテ製シ之ヲ貨物ノウチヘ封入シ荷テ即チ品書付ナリ

○受問屋ニ渡シ荷受問屋ヘハ判取帳ヲ以テ貨物引渡シノ證印ヲトル但シ賣荷跡金ノ約束アル分ハ着荷ノ上先方ヨリ爲換等ニテ代金ヲ送り來スヲ通例ナリトス

○又荷物送り方ニ付テ途中被難等ノ事アルモ現金取引ノ分ハ全ク買主ノ損分トナリ掛賣ノ分ハ大約雙方

折半ノ損トス又掛賣ニテモ多ク證書ヲ須キルヨリ爲
サス大抵信用ノミヲ以テ取引ヲナセリ

○コノ商業ニテ使用スル帳簿ハ元ヨリ大同小異ヲ免
レサレトモ粗一定セシ者左ノ如シ

一 當座帳(賣帳) 保存期限五ケ年

商賣品賣渡ノ節此帳簿へ登記ス

一 大福帳

當座帳ヨリ此帳簿へ清記シ賣先名稱日尋取之決算

差引ヲ立ツ尤モ現金賣ノ家ニハ此帳簿ヲ要セス

一 仕入帳(買入帳) (水揚帳)

商賣品ヲ仕入タル時ニハ必ズ其品目及代價其他取

引先キノ名稱等迄モ一切此帳簿へ記載ス但シ買入

差引決算ヲ此帳簿へ立ルモノアリ又別冊へ差引ヲ

立ルモノアリ

一出荷帳 一ケ年

商賣品ノ箇數ヲ記ス

一 浮貸帳(爲見帳) 一ケ年

當座浮貸品ヲ記ス

一金錢出入帳

此帳簿ノ日々出納ヲ登記スルモノナリ

一金錢判取帳

渡金ノ時用ヒル帳簿ニシテ維新以後印紙ヲ貼用ス

一 荷物判取帳

此帳簿ハ他國或ハ近在ヘ荷物運搬ノ片荷扱人ヨリ

證印ヲ捺セシム維新以後印紙ヲ貼用ス

一 商賣品當座貸帳

此帳簿ハ維新以後創メテ使用スルコトナリ第二類

印稅ヲ貼用ス

帳簿ノ種類大略右ノ如シト雖モ其記載方ノ如キハ家

々ニヨリ一定セス然レトモ當座帳大福帳浮貸帳等ノ

如キハ他人ニ對シ以テ證據トナスコトヲ得

○吳服壹番組ニ於テハ手形切手ノ類ヲ使用セシコトア

ラサレトモ金錢取渡ノ節兩換振手形ノミハ他ノ商業
ト同シク使用セリ

〔編者曰ク原本此ノ所五行空白〕

吳服貳番組

吳服貳番組ト稱スルモノハ即チ吳服仲買商ニシテ其
以前問屋仲買小賣等ノ名稱ハアリタレトモ通シテ一
般ノ吳服商ト呼ナシタリ維新以後ニ至リ別ツテ問屋
ヲ壹番組ト稱シ仲買ヲ貳番組ト唱ヘタリ然レトモ猶
其區別毫モ判然セス抑モコノ商業ニハ舊來取締行司
等モナク又タ定リタル人員及ヒ株式等モナク只其業
ニ從事スルモノヲ稱シテ仲買ト云ヘリ故ニ人員ノ増
減常ナク又確乎タル規約モナシ然レトモ其以前コノ

業ヲナスモノ大約三十名前後アリ曾テ其業ヲ振興セ
シメンカ爲メ年來コノ業ニ從事セシ古老ノモノ相共
ニ計リ或ハ七人或ハ十人ト組合ヲ別チ交互商業ノ便
ヲ祈ラント計リ各醜金シテ集會ヲナシ幾許ノ規約ヲ
設ケ之ヲ匾額トナシ店頭ニ掲ケシコトアリ之ヲ或講ト
唱フ之レ蓋シ寛政年間ノ事ナリ然レトモ乍チ分離シ
終ニ之ヲ履行スルコト能ハス其後嘉永年間再ビ之ヲ興
起セシモ是又乍チ凋衰シテ終ニ行ハレス元治年間ニ
モ復此舉アリシカ徹頭徹尾之ヲ果ス能ハスシテ止ミ
タリ但シ此講ヲ起ストキハ必毎仲買ヨリ四五十匁ツ
ツノ銀ヲ以テ集會ノ費トシ又月々三四匁ツ、ヲ積貯
ヘ之ヲ其組合ノ内ニテ一人ツ、三ヶ月ヲ期シ順次ニ
預リ置クヘキノ約ナリ然ルニ其規約ノカク行ハレサ
ル所以ノ原因一ニシテ足ラスト雖モ爰ニ之ガ理由ノ
一端ヲ演フヘシ夫レ吳服商タルヤ巨商之カ仲間ノ中
ニアリ又産地ノ問屋各地ヨリ大阪へ出張シ來リ直接

ニ小賣ニ卸賣スル等ヲ以テ中買ニ於テハ之ヲ憂ヒ問屋ヲ責問シ該問屋ト取引ヲ謝絶スルニ至ル然ルニ問屋ハ之ヲ顧ミス出店或ハ仲買杯ト稱シ又ハ小賣ヲナシ從來仲買ノ業ヲ奪フ特リ業ヲ奪フノミナラス終ニ仲買ノ規矩ヲ破ルニ至ル此其組合ノ規約立難キ所以ナリ

○寛政ノ頃規約ヲ設ケ匾額トナシタルモノ左ノ如シ

覺

- 一 關東北國問屋物六十日限歩引現銀
 - 一 加賀問屋物三十日限歩引現銀
 - 一 唐端物正味銀
 - 一 見世物代銀五節季限也
- 正月 仲買 中口

覺

一 賣物代銀延引之方へ者
向後一切取引仕聞敷事
并相對の外仕掛等決
而請取聞敷事
寛政二戌五月
仲買 中

定

一 從 御公儀様被 仰出
候御法度之趣堅相守可
申事
一 賣物代銀節季每限皆濟
并相對の外金仕掛等一
切受取申聞敷事

一 延賣一切いたし聞敷事
一 金賣物并古金物相場高下ニ不拘其限每無相違請取可申事
一 賣渡し候代呂物戻り一切請取申聞敷事
一 限月勘定相濟不申御方
一 口取引一切御斷可申事
右之條々堅相守可申事
子十一月 仲買 中

○吳服貳番組ノ業務ハ問屋ヨリ荷物ヲ引請ケ之ヲ小賣商ニ賣ルモノトス其問屋ト取引各其趣キヲ異ニシ更ニ一定セス然レトモ其信用ニ得タルモノハ問屋ヨリ直ニ送荷スルモノアレトモ多クハ問屋ヘ注文ヲ云ヤルモノトス其計算ヲ立ツルハ大抵二季ナレトモ

コノ時ニ至リ其代價ヲ押合ヒ始メテ價格ヲ定ムルノ弊アリ又其仕切ト云フコト甚少ナク自然幾許ノ掛賣トナル又小賣ヘノ取引モ同シク一定セス然レトモ悉ク掛賣ニシテ仕切勘定ノ如キ未タ曾テ成サ、ルナリ然レトモ四ヶ月毎ニ幾許ノ入金ヲ約スル多シ

○問屋ト賣買約束ノ證ハ賣主ヨリ賣判書ヲ渡シ買主ヨリ賣主ノ商賣品當座貸通帳ニ證印スルモノトス

○小賣仲買トノ貨物授受ノ際小賣ハ買帳ヘ其品物箇數ヲ登記シ中買ハ之ヲ賣上帳ニ記載シ後又之ヲ大福帳ヘ謄寫ス

○小賣ニハ屢分散スルノ懼レアレハ能ク其小賣店平素ノ様子及ヒ仕入ノ多少并勘定仕拂方等ノ模様ヲ計リ其平均ヲ得サレハ後荷ヲ送ラサルナリ

○吳服仲買商ニテ商業ニ使用スル帳簿モ亦問屋業ト一般大同小異ニシテ一定ナラス然レトモ平素取扱フ所ノ種類及ヒ用方等大約左ノ如シ

一買帳(仕入帳)

コノ帳簿ハ買入ノ年月日及仕入先キノ人名品目代
金等ヲ記載スルモノニシテ維新前ハ二三ケ年ヲ保
存セシカ現今計算濟ノ上ハ廢帳トス

一大福帳(賣掛帳)

コノ帳簿ハ商品ヲ何ノ誰ヘ賣渡シタルト其年月
日品目代金等ヲ記載スルモノニシテ保存期限等前
ニ同シ

一商賣品當座貸通帳

コノ帳簿ハ商品賣渡ノ上其證トシテ年月日及品目
代金ノ高等ヲ記シ買主ノ證印ヲトル保存ノ前
同シ但シ維新後印紙ヲ貼用ス

一浮貸帳(爲見帳)

コノ帳簿ノ用法ハ商品賣買未納ニシテ一時貸渡ス
節記載シ置キ右品賣買取極メノ上更ニ商賣品當座
貸通帳ヘ記換ス但シ當座貸帳ヘ記換濟ノ上ハ廢帳

トス

一諸品判取帳

此帳簿ノ用方ハ賣荷出荷ノトキ運送問屋或ハ船主
等ヨリ荷物ヲ請取タル證據トシテ品目個數届先名
前等ヲ記載シテ證印ヲトル保存ハ代金計算濟マテ
ヲ要ス維新後印紙ヲ貼用セリ

一金錢判取帳

コノ帳簿ノ用方ハ他人ヘ金錢拂渡ノトキ金銀請取
ノ記印ヲトル保存期限ハ二三年ヲ要ス但シ維新後
印紙ヲ貼用セリ

一金銀出入帳(金錢出納帳)

此帳簿ノ用方ハ日々金錢ノ出納決算ヲ記載スルモ
ノナリ

〔編者曰ク原本此ノ所壹行空白〕

吳服現金正札ノ始リ

今ヲ距ル三百年前マテハ何所ノ吳服店モ懸賣ノミニ
テ重ニ代物ヲ賣捌キ或ハ假令現金ニテ賣ル時ニモ其
客ノ服裝風體ニ付キテ懸引ヲナシ同品物ニテ一客ニ
ハ一兩ト云ヒ他客ニハ二兩ト唱ヘ人ヲ見テ直ヲ立ツ
ルノ方法ニシテ様々ノ直組トナリ高低一定セサリシ
カ寛永六年ノ事ナリシト聞ユ大阪心齋橋筋ノ岩城吳
服店ニテ始メテ現金正札付ニテ商ヒ諸人大ニ其便利
ヲ喜ビ遂ニ現金正札ノ流行ヲ見ルニ及ビタリ

問屋仲買ノ區別及賣買ノ事

問屋仲買ノ業務タル各自仲買中ニ規律アリテ互ニ相

犯スコトナシト雖トモ亦商業ノ種類ニ因テ頗ル其趣
ヲ異ニスルモノアリ今茲ニ其著明ナル商業ニ就キ之
レヲ言ハンニ抑モ問屋ナルモノハ荷主ノ委託ヲ受ケ
テ口錢ヲ取り仲買人ニ其貨物ノ賣捌ヲ爲シ或ハ荷主
ヨリ直チニ買取テ之カ損益ヲ自ら負擔シ然ル後チ仲
買人ニ賣捌ク等ヲ本務トシ仲買ハ他國商人及小賣人
ノ注文ヲ受テ問屋ヨリ買入レ之レヲ賣渡シ或ハ自己
ノ見込ヲ以テ問屋ヨリ買入レ又ハ物品ニ粧飾製造等
ヲ加ヘ之ヲ他國商人及ヒ小賣人ニ賣渡ス等ヲ本務ト
シ又産出地ニ就テ買取リ或ハ需用人ヘ直ニ賣渡ス等
ノモノアリ仲買ニシテ需用人ヘ直チニ賣渡ス商業ハ
其問屋ヨリ直チニ需要人若クバ他國ニ販賣ナスコト
ヲ得ス又仲買ハ荷主ヨリ直チニ買取ルコトヲ得サル
等ノ慣例アリ斯ノ如キ規律ハ多ク海路ヲ輸送シ來レ
ル物品ニシテ米雜穀薪炭砂糖藍肥物油生魚干魚鹽魚
經節材木竹鐵漆藥種菜種等ノ如キモノトス又職工ヲ

雇入レ或ハ職工ニ命シ物品製作等ヲナサシメ又ハ職工ヨリ買取り之ヲ他國及ヒ小賣人需要人等へ販賣ナスモノモ亦タ問屋ト稱スルモノアリ又問屋ニシテ他國及ヒ生産者ヨリ貨物ヲ買入レ仲買小賣及ヒ他國商人へ賣捌クモノモアリ即チ吳服木綿ノ如キ是レナリ而シテ其仲買人タルモノハ生産者ヨリ之レヲ買入レ問屋ニ賣渡シ或ハ問屋ヨリ買入レ之ヲ他國商人へ賣捌ク等ヲ常トス又繪ノ具書籍石等ヲ取扱フモノハ只タ何商ト唱へ問屋仲買ノ區別ナク總テ之レヲ生産者及ヒ荷主ヨリ買取り一般ニ賣捌クモノトス又問屋仲買トモニ前ニ述フルモノト全ク業務ノ相反對セルモノアリ即チ砂糖綿等はレナリ此仲買ニ於テ問屋ト稱スルモノハ他國荷主及ヒ仲買人ヨリ其物品ヲ買取り之ニ粧飾製造ヲ加へ之レヲ他國商人及ヒ小賣人ニ賣渡シ仲買人ハ土地及ヒ近國生産者ヨリ買集メ之レヲ問屋へ賣渡スモノトス又問屋ト云ヒ仲買ト稱スルモ

其業務ノ異ナラスシテ只取引ノ大小ニ依リ其稱呼ヲ異ニスルモノアリ以上掲クル所ノ問屋仲買ノ區別ヲ通觀セハ或ハ仲買ナルモノハ問屋ニ附從シテ業ヲナスモノ、如キ想像ノ生スルコトアラン然レトモ吳服砂糖等ノ如キハ其仲買ノ資力問屋ニ及ハスシテ自ラ附從ノ姿ナキニアラスト雖トモ米穀以下普通著名ノ商業ニ於テ仲買ハ決シテ問屋ノ下ニ附從スルモノニアラス同等對立シテ取引ヲナスヘキノミナラス其資力ニ至リテハ反ツテ仲買ノ問屋ニ優越シ商業上ニ於テモ問屋ノ仲買ニ制セラル、仲買往々之レアリ故ニ大阪ニ於テハ問屋ト云ヒ仲買ト云フモ格式及營業ノ多寡等ニ於テ敢テ差異ナキモノトス抑モ問屋仲買等其稱呼ノ由テ起ルノ先後ハ詳カナラスト雖トモ米穀等普通著名ノ商業ニ徴シテ之レカ見解ヲ下スニ問屋ト云ヒ仲買ト云フモ同シク他國ノ供給者ト需用者トノ中間ニ立チテ賣買ノ紹介ヲナシ雙方ノ便宜ヲ圖ル

モノニシテ其問屋ト云ヒ仲買ト云ヒ各自組合ヲ異ニスルモ問屋仲買ハ元來密接ノ關係ヲ有スルモノニシテ他ヨリ之レヲ見レハ則チ同業者タルニ外ナラサルナリ又商業仲買ニシテ問屋仲買ノ外ニ牙僮又薦ト唱フルモノアリ是レ亦一種賣買ノ媒介人ニシテ其問屋ト仲買トノ間ニ立チ手數料ヲ收ムルモノトス抑モ賣買取引ノ事ハ問屋或ハ仲買等ニ依ラサレハ爲シ能ハサルヲ通例トス然レトモ問屋仲買ノ間ニ亦此牙僮薦等ト稱シ之レガ賣買ノ媒介ヲナシ而シテ問屋仲買共ニ之ニ依ラサレハ取引ヲ爲シ能ハサルモノアリ米商青物商ノ如キ即チ是レナリ其他普通ノ商業ハ之ニ據ラスシテ賣買ヲ爲シ得ルハ勿論タリト雖トモ猶ホ之ニ依頼スルトキハ大ニ便利ヲ得ルモノトス此ヲ以テ各商トモ多クハ此類ノ媒介ナルモノアリ而シテ問屋ト仲買人トノ賣買ニハ悉ク自己ノ名稱ヲ以テ契約スルモノトスレトモ牙僮薦ノ如キハ依頼主ノ

名義ヲ以テスルヲ通例トス然レトモ往々自個ノ名前ヲ以テ契約ヲ結フモノアリ此ノ如キモノハ尤モ依頼主ノ信用ヲ得タルモノニアラサレハ爲シ能ハサルナリ』又卸賣ト稱スルハ小賣人ニ販賣スルモノ、通稱ニシテ即チ仲買ノ別名ノ如シ然レトモ菓子傘提灯等ノ類ノ如キハ別ニ問屋仲買等ノ稱呼ナク自ラ製造シタル品物ヲ販賣スルモノニシテ是レ亦卸賣ト稱ス問屋ニ於テ荷主ヨリ賣捌ヲ委託セラレタル商品ニ付其依頼主ニ前貸金ヲナンタルトキハ該商品賣拂代金ヲ以テ前貸金ノ元利ヲ先取シ其餘剩ヲ荷主ニ返附シ若シ賣拂代金ニ不足ヲ生スルトキハ其不足ノ分ヲ荷主ニ請求スルハ一般習慣トス然レトモ古ヨリ賣買ニ一定ノ法則アリテ之ニ背クモノハ過料ニ處セラル、チ法トス又地所家屋等ノ如キハ町年寄總年寄ノ公證ヲ受ケ其

他契約書ヲ授受シ或ハ證人ヲ立ツル等總テ法律ニ準據スルト雖トモ商業ノ一點ニ至リテハ古來自ラ習慣ノアルアリテ多クハ口約拍手ヲ以テ賣買ヲ結了シ又約定書ヲ授受スルコトアリト雖トモ纔カニ簡單ナル賣買端書ヲ用ユルノミニ止マルモノトス故ニ後日紛議ノ生スルニ當リテハ自記ノ帳面ヲ以テ證據トナスコトヲ得即チ當座帳市賣帳雜帳買上帳直組帳等ノ如キ賣或ハ買ヲ一切餘白ナク附込ミタルニ因レリ又大阪商人ヨリ得意先キヘ賣渡スモノハ口約或ハ端書仕切書計算等ノ類ヲ以テス尤モ此口約ト云ヘルモノモ固ヨリ端書タリト雖トモ多クハ賣主ヨリ買主ニ渡スモノニシテ之ヲ賣主買主雙方ヨリ授受スルコト甚タ少シ況ンヤ通帳仕切書計算書等ノ如キニ至リテハ固ヨリ賣主ヨリ買主ヘ渡スマテニ止マルモノナレバ買主ヨリ故意ヲ以テ紛議ヲ發スルトキハ賣主ニ於テハ毫モ之ヲ辨スルノ證據ナキガ如シト雖トモ從來

ノ取引間自ラ信義ノ存スルアリテ假令口約タリト雖トモ故意ニ破約等ヲ爲シ能ハサルノ習慣アリ何トナレハ自己ノ損失ヲ免カレンガタメ證據ナキ口約ヲ奇貨トシ紛議ヲ生スル等ノコトアラハ其人忽チ取引上ノ信用ヲ失ヒ終ニ商人間ニ并立スルコト能ハサルニ至ル且ツ假令一方ヨリ之ヲ渡スニ止マリテ雙方ノ證據トスルモノ不充ナルモ端書仕切書等アラハ必ス多少其成績ニ據リテ自ラ證據トナルヘキモノ之レアル可キナリ但米市場其他別段ノ約束アル規定ノ代金拂ヲ伸縮シ或ハ他日物品ヲ渡ス可キ等ノ約定ヲ定メ以テ賣買契約ヲ爲スモノハ必ス端書ヲ以テ他日ノ證據トナスヲ常トス又證據ヲ要スルト要セサルトハ前項ノ如ク全ク各自ノ信用如何ニ因ルモノトスレトモ證書ノ有無ニ依リ證據ノ効力如何ヲ問ハ、固ヨリ論ヲ俟タサルナリ斯ク大阪商人ハ各自信用ト確實トヲ以テ商業ヲ營ム故

或ハ直段ヲ定メス賣買ヲ取組ムコトアリ或ハ見本ノミヲ以テ取引ヲ定ムルコトアリ又手附金ヲ要スル等ノコトハ太々僅少ナリトス然レトモ賣先キ信用薄キモノハ必ス手附金ヲ要ス而シテ手附金流ル、ノ場合ニ至ルトキハ其賣買ハ破約ニ屬スルモノナレトモ別段ニ之レカ償金ヲ要スルコトナシ若シ又他國ノ荷主商人等大阪商人ニ對シ賣買上不實ノ事アリテ之ヲ訴出ツルトキハ奉行所ニ於テ直チニ之レカ呼出シ方ヲ其地方ノ藏屋敷ヘ達シ之カ審判ヲ開クヲ例トス倍テ又商業上只賣買ノコトヲ指シテ取引ト云フハ普通ノ慣語ナレトモ賣買ヲナス商人間ヲモ亦互ニ取引先キト唱フ然レトモ物品若クハ代金授受ノ時ヲ指スヲ適當ト云フ可シ又賣買契約ヲ結フノ時ヲモ取引ト稱スルコトアレトモ是等ハ多ク直組或ハ手合ヒ等ト稱スルヲ常トス凡ソ商品賣買ノ取極メハ問屋仲買立會ノ上價格ヲ定

メ賣買端書等ヲ授受スルト雖トモ大抵口約拍手ヲ以テ結了スルモノトス尤モ雙方拍手セシ上ハ何等ノコトアリ共決シテ之レガ約束ハ動カサ、ルヲ常トス而シテ物品引渡ハ自ラ約束或ハ慣習ノアルアリテ別段ニ其期限ヲ定メサルモ若シ買主ニ於テ引渡シテ請フトキハ賣主ニ於テハ之レヲ拒ムコトヲ得ス又買主ニ於テ之ヲ引取ラサルトキハ賣主ヨリ之ヲ積送り或ハ引取ヲ督促スルコトアリ又代金拂入ノ期限モ自ラ一定ノ慣習及ヒ仲間ノ制規アリテ其拂入ノ期限ニ至リ買主物品ヲ引取ラサルトモ賣主ハ之レカタメニ拂入ノ期限ヲ延サス且代金拂入ノ長短ニ依リ商品ノ價格ニ幾多ノ差等ヲ生スルモノナレバ初メヨリ慣例外及ヒ制規外ノ拂込ヲナサントスルニハ更ニ之レカ約束ヲ結フモノトス又問屋ニ於テ荷主ノ物品ヲ預リタルトキハ荷主ヨリ賣捌キノ委託アルヨリ以上ハ之ヲ賣買スルコトナシ

ト雖トモ時トシテ價格升降ノ機ヲ計リ私カニ預品ヲ賣捌クコトアリ之ヲハタ賣ト稱ス然レトモ問屋仲買ノ取引ニハ各自己ノ名義ヲ以テスルモノナレトモ問屋ニ於テハ預品ノ故ヲ以テ引渡スコトヲ得サルノ場合ニ至ルモ仲買ハ其預り品ナルヤ否ヤヲ知り得ヘキニアラサルガ故猶其問屋ニ向テ其違約ヲ責メ直合金ヲ要求スルコトアリ

商品未タ入荷セサルニ先タチ取引スルコトアリ之レヲ『先キ賣買』ト云フコノ先キ賣買ニハ素ヨリ商品ノ精粗善惡ヲ判別スルコト能ハスト雖トモ其他ノ取引ニハ必ス現品ヲ調査シ其性質品位等ヲ詳細ニ認メ價格ヲ定メ然ル後初メテ賣買ノ約束ヲ結フモノトス若シ然ラサルトキハ之レカ見本ヲ以テ其概略ヲ示シ何丸積上リ或ハ何所蔵入等物品ノ所在ヲ定メ約束ヲ結フコトアリ斯ルトキニハ賣主ニ於テ此約束ニ對シ尤モ適當ナル物品ヲ引渡セリ又時トシテ性質品位ヲ定

メス賣買ノ約束ヲ結フコトアリ譬ヘハ秩父篇ニ付何百反ト云フモ其稿柄及ヒ價格ヲ定メス時價ニ照ラシテ割安ノモノヲ積送ランコトヲ托スルナリ之ヲ『任セ注文』ト云フ此ノ如キ場合ニ於テ賣主ハ其賣先キ地方ノ嗜好ヲ計リ之ヲ輸送ス

然レトモ斯ル賣買ハ尤モ親密ノ取引間ニアラサレハ此約束ヲ結フコト能ハス如何トナレハ若シ輸送後直チニ相場下落シ買主ニ於テ故意ニ品柄不適當或ハ價格廉ナラサル等ノ事ヲ以テ之レヲ買入レサル時ハ賣主ニ於テ復引戻サ、ルヲ得サルニヨレリ

然レトモ見本ヲ以テ約束ヲ定メ相場ノ升降ニヨリ紛議ヲ生スルコトナシト定メ難シト雖トモ任セ注文ニ至リテハ紛議ヲ生セシコト却テ僅少ナリトス借テ見本ヲ以テ賣買ノ約束ヲ結ヒ現品ノ授受ニ際(シ)嚮ノ見本品ト異ナリタルトキ買主ニ於テハ之レガ引替ヲナサシメ若シ賣主ニ於テ之ヲ拒ムトキハ買主ニ於テ

ハ破約スルヲ常トスルト雖トモ甚ダシキ差等アルニアラサレバ之レガ故障ヲ入ル、コトナシ尤モ現品授受ノ際雙方立會ノ上其見本ト引合スル如キ細密ナルコトナキモ時價ノ升降ニヨリテハ時トシテ紛議ヲ生スルコトアリ斯ル時ハ其仲間ノ行司立會ヒ之ヲ評價シテ局ヲ結ヒ又他國へ輸送セシ物品ニ付其得意先ニテ故障ヲ唱フルトキハ止ムヲ得ス直引ヲナシテ收結スル等ヲ常トス

然レトモ故意ヲ以テ斯ル紛議ヲ生スルハ大阪商人ノ潔トセサル所ナルニ依リ品位等差杯ノ爲メ公判ヲ經シコトハ未タ曾テ聞カサル所ナリ且ツ商業ノ種類ニヨリテハ見本ヲ以テ賣買ノ約束ヲ結フモ其見本ハ賣主之レヲ持歸ル等ノ習慣アルニ依リ到底賣買ノ見本ハ後日ノ効驗尤モ薄キニ似タリ

商品賣買ニ付其代金拂渡シハ各商業仲間ノ約束及ヒ習慣等ニ依リテ一定シ難シト雖トモ之ヲ類別スルニ

短キモノハ現金或ハ三日延十日延又ハ一節季拂等トス一節季トハ即チ二月四月六月八月十月十二月等ノ三十日ナリ又長キモノハ二節季即チ六月十二月拂トスレトモ遠國等ノ取引ニハ一年以上ヲ經過スルモノアリ

又吳服ニ番組等ノ如キハ大凡ノ見積ヲ以テ入金ヲ爲シ取引ヲ重ネ數年間其勘定ヲ立テサルモノアリ然レトモ一節季限リノモノ尤モ多シトス

賣買ノ約束整ヒ其商品ヲ陸上ケスルニ方リ荷主問屋共ニ立會ヒ實際ノ量目及品位等級等ヲ仔細ニ檢閲シ之レカ直段ヲ附シ而シテ授受スベキ代金及ヒ檢閲シタル商品ノ實際ヲ詳記セシモノヲ仕切書ト云フサテ仕切書ナルモノハ(編者曰ク原本此ノ行ノ欄外ニ仕切書ノ性質ト朱書アリ)其性質タル固ヨリ商品賣買ノ計算書ニシテ之ヲ仕渡スニハ商品授受ノ際ト同時ノモノトス故ニ其數量及ヒ諸入費ノ詳カナラサルトキハ之

ヲ仕渡スコトナシト雖トモ商業ニ依リ或ハ先キニ商
品ヲ問屋ニ渡シ置キ然ル後チニ其賣買ヲ契約スルモ
ノアリ此ノ如キモノハ其賣買契約ノ成リシ際ニ之ヲ
渡スモノトス又仲買ノ如キ賣買ノ契約ヲ先キニスル
モノハ計算ノ仕切書ヲ製セントスルモ未タ商品ヲ授
受セサル際ハ其數量ノ詳カナラサルニ因リ之ヲ製ス
ル能ハス因テ契約ノ後幾日ヲ經ルモ商品授受ノ後ニ
於テ之ヲ渡スモノトス但シ仲買ニ於テハ多ク契約ノ
後チ便船ニテ其商品ヲ輸送スルモノナレバ積入ノ時
直チニ仕切書ヲ買主ヘ郵送スルヲ例トス尤モ買主立
會商品授受ノ際ハ直チニ之ヲ渡スモノトス但シ仕切
書ハ賣買者即チ問屋仲買共之ヲ差出スモノナリ然レ
トモ大阪ニ於テハ元來問屋仲買間及ヒ問屋間又ハ仲
買間ノ賣買ニハ仕切書ノ授受ヲ要スルコトナシ尤モ
仕切書ノ授受ハ問屋ニ於テハ之ヲ荷主ニ渡シ仲買ニ
於テハ之ヲ客先キ即チ需用人及ヒ他國商人ニ渡スモ

ノトス以上述フル處ノ仕切書ノ方法ハ普通商業人ノ
使用スル處ノモノニシテ商業ノ模様ニ依リ或ハ小異
同アルヲ免カ(レ)サルナリ左ニ普通仕切書ノ例ヲ掲
ク

仕切書(賣仕切)
一、、、、
此目方(或ハ枱量)、、、、
内、、、、
風袋又ハ入目引
正味
十貫目(或ハ壹石)ニ付
金何程替
此代金、、、、
又金、、、、
金、、、、
右之通りニ御座候

仲仕賃或ハ荷送
リ賃其他入費

年月日
得意先宛

仕切書(或ハ賣仕切)

一何々

此目方(或ハ枱量)、、、、

内、、、、
(風袋引或ハ
目方引)

正味貫(枱)、、、、

十貫目(或ハ壹石)ニ付

金、、、、替

此代金

内

金、、、、

金、、、、

金、、、、

口錢(或ハ手數料)

上荷賃

水上藏入仲士賃

金、、、、
金、、、、

藏敷料
目欠又枱欠引

小、、、、

差引、、、、

金、、、、

右賣拂代金悉皆此表無出入相濟申候
(或ハ右之通りニ御座候)

年月日

荷主宛

下職取締書(明治三年)

手拭染屋、絞リ染屋、形付紺屋、艶打屋、

茜染屋、南北晒屋、更紗屋、藍無地染屋、
 右八職ハ近年得意先々ヲ株同様ニ括リ合勝手出入不
 爲致様我儘ニ仕仲間手狹窮屈ニ御座候故七組行司相
 談之上下職勝手出入申付候尤拾ヶ年以前ハ職方仲間
 解放シ有之候ニ付此度以前ニ基キ職方左之通取極ニ
 相成申候

手拭染屋、絞リ染屋、形付紺屋、艶打屋、茜染屋
 右五職ハ行司ノ申聞候廉相用ヒ解放ノ承知致候間以
 來何レ成共其仲間ノ内ハ勝手地出シニ相成申候尤後
 日故障申聞敷旨一札取置七組箱元ニ有之候事

南北晒屋

右職方ハ出入解放致シ申聞候處從來ノ御得意方ニ付
 出入相放シ候而ハ難澁仕候間是迄之通出入爲致吳候
 様段々願出候ニ付任其意是迄之不取締爲相改七組一
 統地受之義晒屋年行司ニ而引受候一札取置是又七組
 箱元ニ有之候間其御心得ニ而御取致可被成候事

更紗屋
 右職方ハ前同様出入解放シ申聞候得共何分小職之事
 且ハ多分不用之職方ニ付別段一札取置無之候間此段
 御心得置可被成候事

藍無地染屋

右職方ハ出入解放シ申聞候處承知不致度々申諭候處
 漸々右仲間之内拾五人丈ケ承知イタシ則一札并調印
 延引詫一札取置御座候残り九人之者承知不致則名前
 左ニ

肝煎 大和屋清助

- | | |
|--------|--------|
| 伊勢屋忠兵衛 | 升屋卯兵衛 |
| 中濱屋與兵衛 | 大和屋彌兵衛 |
| 播磨屋平助 | 高鳴屋熊七 |
| 福島屋利兵衛 | 伊丹平事 |
| | 北國屋平兵衛 |

右九人ノモノ強情申立過ル十月十三日行司元相手取
 及出訴候得共行司ノ返答ニ而御上様ノ御利解ノ上ニ

而解放シ一札調印イタシ候得共右様調印致候迄者甚
 引合六ヶ敷數度手數相懸リ漸々同年壬子十月廿四日ニ
 斐濟相成申候以來残り強情九人之モノ如何様之義
 申參リ候共諸事其御心得ニ而御取致可被成候事
 一前八職共手板直段書ヲ以願出候義ハ致聞敷旨申付
 置候間若直段書持參致シ候共決テ御取致被下聞敷候
 事
 右之通職方取締置候間乃後手彼是故障ケ聞敷義申出
 候共夫々一札取置有之候間此書付得ト御披見之上ニ
 而御取斗可被成候尤毎年行司交代之節此義御傳言可
 被成候事

明治三年午十一月

- | | |
|--------|--------|
| 堺筋組年行司 | 池田屋善五郎 |
| | 和泉屋加兵衛 |
| 油町組年行司 | |

- | |
|---------|
| 丹波屋平兵衛 |
| 錢屋彌兵衛 |
| 東堀組年行司 |
| 播磨屋久吉 |
| 扇屋與兵衛 |
| 天滿組年行司 |
| 柏原屋嘉七 |
| 和泉屋保兵衛 |
| 北組年行司 |
| 平野屋庄左衛門 |
| 油屋治助 |
| 東京組年行司 |
| 播磨屋彦三郎 |
| 信濃屋豐太郎 |
| 上町組年行司 |
| 住吉屋五兵衛 |

大和屋重兵衛

小間物問屋仲買組合

商法規則御願 (明治六年)

昨年一般之商業株仲間御廢止相成束縛之舊習被解放候儀者全府下諸商業共銘々自由ニ任せ他之業體を不妨公平至當ニ基キ勝手之營業仕候様厚キ御趣意ニ候處奸商共解放ヲ幸トシ種々奸計詐術ヲ以聊之財產無之者外來商客之土地不案内ヲ見込種々謀言を構ひ多數之物品ヲ引受終ニハ無數之難澁相讓し候族有之此儘打過候而者入港之產物次第ニ減少し御府下之衰微眼前之事ニ付今般同業中一統遂衆議第一ニ信義ヲ本トシ他人之難澁ヲ生セス公平至當之商法ヲ取組外來

品者勿論土地物産彌増盛大相成候様仕度奉存候ニ付別紙之通規則相立入札公撰之上取締ヲ立不正之商業仕間敷且御府廳より御達之御趣意ニ基キ他人之業體ヲ妨ケ束縛之所業聊も仕候ハ、屹度御察當家リ可申此段御届旁申上置候宜御保護奉願上候以上
明治六年十二月廿五日

小間物問屋仲買惣代

東大組第二十三區

南久寶寺町三丁目

西川 伊兵衛

同組同區同町

萩原 吉兵衛

同組第二十區

北久太郎町二丁目

桃尾 得十郎

南大組第十二區

二ツ井戸町

藤原 玖兵衛

同組第五區

順慶町通二丁目

鹿野 平藏

組合申合規則

一今般同商業組合相立候儀者從前之株仲間御廢止相成舊弊一洗之目的屹度不相立候而者不相濟次第ニ付新規營業之者有之節者速ニ無異議加入爲致加入金振舞料等爲致出金候儀決而不相成繼而舊習ニ泥候所業互ニ相戒時々御達ニ相成候御布令之趣堅相守可申事
一小間物仕入賣買之儀者都而正路實直ニ取扱ヲ基ト

シ詐偽ヲ構不實之所業堅致問敷事

一物品之内まかひ物を以正直之品物与偽商ひ致し候者間々有之右様不正之所業かたく致問敷事

一諸方荷主へ當地ニ無之飛直段申遣し積登リ候節俄ニ直段下落杯申立荷主迷惑ニ相成候儀折々有之趣土地不繁榮之基ニ付右等之所業致し候ハ、衆議之上至當之過怠料爲差出可申事

一諸方荷主の積登リ候小間物實直丹誠を盡し土地盛大專一ニ心掛仕切可申事

一他國の問屋代呂物仕入ニ參リ候商人之内代價不拂之商人有之節ハ組合内へ名所等相通し置精々實意ニ掛合濟方示談可致示談中組内ニ而取引等見合可申若右様之次第乍存一己之利欲ニ迷ひ内密取引致候ハ、取締へ申出衆議之上至當之過怠料可爲差出事
附府下不拂之商人も示談中同斷之事

一 問屋業之者より下職人ニ注文いたし前金貸渡し置出來候品物職人手許より外方へ賣渡候儀致開敷右等之次第有之候へ、取締へ申出取調之上代呂物前金主へ爲相戻可申若代呂物先方ニ而賣拂品數不揃候へ、辨金可爲致候事

一 組合内ニ年限雇人共暇出し候者雇入申開敷無餘儀雇入候儀有之候へ、前雇主へ掛合之上差支無之承知ノ上雇入可申事

一 組合之内不時之損金有之代價拂方指支示談不行届之節者取締へ申出事實篤与取調之上可成丈官裁を不煩様取斗萬一難任其意ニ次第ニ相到り候へ、總區長へ熟談ニおよび俱々致心配雙方商業取續之手段可致事

一 一己自儘之取斗又者組合一體之差障等都而規則相背候へ、取締へ申出衆議之上輕重ニ寄至當之過怠料取置可申犯則之件々相重り組合相外候程之事件

ニ立至り候へ、總區長へ申出差圖請可申事
一 取締之義公撰入札を以四人相立一ヶ年限交代可致組合之爲筋を以取立候儀ニ付役料ケ開敷義申請開敷事

附毎年十一月入札ヲ以後役ノ者可申出事

一 過怠料之義者組中へ積置半年毎總區長へ檢印請可申事

一 組合入費割符ノ儀半年毎勘定仕立總區長へ檢印請割符可致尤勘定帳面組中へ相通し可申事

右之通組合規則相立候者全銘々互ニ約束を以事を正路ニ取斗可成丈官裁を煩サス諸事下方ニおるて協和を基とし互ニ約シ互ニ守ル事ニ付一切違背致開敷依之連印を以府廳へ御届奉申上其保護を希候もの也

小開物仲間

一 鬚附元結紅粉白粉香具類木櫛笄銅かんざし鼈甲并

ニ紛物象牙類并に紛もの袋物提もの并ニ金具きせる根付緒類珊瑚珠其外玉るい髪髻懸物類并ニ縮緬鹿の子硝子鏡并ニ眞田組紐之類扇子團扇并ニ手遊人形るいかもじ并ニ祝儀水引并ニ華かんざし右品々合併致し惣名小開物仲間与相唱へ組立仕度此段御採用被成下度奉願上候

明治六年十二月十八日

小開物仲間惣代

- 西川 伊兵衛
- 松下 作兵衛
- 藤原 玖兵衛
- 鹿野 平藏

總御區長中

受持

佐々木平兵衛

珊瑚珠玉類	西川伊兵衛
元結	尾新
紅粉	ひん正
香具類	はり半
木櫛	天平龜吉
花かんざし	山新
鼈甲	河喜
同紛物	菊伊攝平
象牙類	菊伊
牙物類	讚庄
提ものきせる	松下
金具根付緒	扇清
紙懸尺長	平久
縮緬鹿子	倉龜吉
硝子鏡	天平
眞田紐	象次郎

扇子團扇	天	庄
手遊人形	信	法
かもち	丸	三
鋳水引	大	彌
銅かんざし	但	下
硝子かんざし	大	勘
御壽津希櫛并ニ町床櫛	河	喜
銀かんざし	大	伊
地方小間物	いた	庄
	づじ	久

仕入染物形付同業
組合申合規則

附同商仲閒定ノ事

組合申合規則

一 今般同商業組合相立候儀ハ從前之株仲間御廢止ニ相成要弊一洗之目途屹度不相立候テハ不相濟次第ニ付新規營業之者有之節ハ速ニ無異議加入爲致加入金振舞料杯出金爲致候儀決テ不相成總テ舊習ニ泥ミ候所業互ニ相戒時々御達諸御布令ノ趣堅相守可申事

一 仕入染物形付組合ノ儀ハ絞リ染形附染手拭染色無地染摺込染形置折縫括并附屬之染物基仕入物都テ染方正路實直ニ取扱ヲ基とし詐欺を構へ不實之所業堅致閒敷候事

一 染草元仕入直段ニ不抱不當之代價申立候者有之右

ハ兼テ元仕入直段ニ基キ可相成丈ケ染代下直ニ相成候様時々衆議之上取極可申候間一同違背致閒敷事

一 染物請取候節直段引合等閑ニ致置染代請取の限日

ニ至リ彼是故障出來候儀杯雙方不行届より生し候

儀ニ付銘々染物請取候時ニ入念遂引合通ヒ帳へ直

段書入置限日ニ至リ不都合無之様可致事

一 組合内諸事爲取締公撰入札を以取締三人相立置一

ケ年限リ交代可致事

但毎年十二月後役の者入札可差出事

一 組合諸談寄合之節定の刻限無遲滯可致出席候萬一

遲刻致候ハ、違約金取立可申候尤熟談相極候儀不

參致置後日一己ノ故障堅申出閒敷事

一 取締之儀ハ組合爲筋を以取定候儀ニ付役料ケ閒敷

儀一切請申閒敷事

一 組合之内不時之損失等有之代價拂方差支示談不行

届ノ節ハ取締ニ於テ事實篤ト取調可成丈ケ

官裁ヲ不煩様取計萬一難任其意ニ次第ニも立至リ

候ハ、總區長ハ熟談俱々致心配雙方共商業取續之

手段可致事

一 規則相背候もの有之節ハ取締迄申出衆議の上輕重

ニ依リ至當之違約金可取立犯則之件々相重ナリ組

合相外シ候程之事件有之節ハ總區長へ申出可請差

圖事

但違約金之儀ハ其儘積置半年毎ニ總區長へ申立

檢印請置可申事

一 雇人又ハ習業弟子等定約年限中暇を請候者又ハ不

精勤にて暇差遣候者先雇主承知之上ならてハ組合

加入雇入等決テ不相成候事

一 組合加入又ハ休商轉宅名改仕候節ハ其時々御届申

上名前帳張替可申事

一 諸染艸之内藍玉製造之節紅粉紺粉紫粉之類取維一

時姦利を奪候者有之候趣ニ候間右品仕入之節ハ篤
ト入念買入可致ハ勿論組合ニおゐて同様之所業堅
致間敷若一己の利欲ニ迷ひ不實之所業致候者有之
節ハ衆議之上至當之違約金可爲差出事
右之通組合規則相立候ハ至銘々互之約束を以事を正
路ニ取計可成丈ケ
官裁を不煩諸事下方に於て協和を旨とし商業盛大ニ
スルノ意を約シテ守ル事ニ付一切違背致間敷候依之
連印を以御府廳へ御届其御保護を希もの也
明治七年二月

染物屋惣代

西大組第八區

阿波堀通二丁目

大森源助

同同町

川島市兵衛

西大組第十八區
南堀江上通四丁目
櫻木勝藏
〔原本此ノ所半丁空白〕

定

一 仕入染物形付組合題號之義ハ是迄仕入形付紺屋と
申傳候處此度市中一體染物屋一手之願立可致旨御
達ニ相成夫ニ付右題號變名致候處藍無地染屋ノ内
變心致候ニ付矢張從前之人數ニテ組合相立候事
一 都而規則之義ハ名前帳面ニ有之候得共組合爲筋取
締方有之候ハ、熟談之上此帳面へ相認俱々實直ニ
相守可申事
一 色染無地之義ハ當組合ノ可爲商業事
但藍無地染職之義ハ別段組合有之候間若望之者
有之節ハ其組合へ加入之上開業可致事
一 染直段之義別冊相場帳之通堅相守決テ違背致間敷

候且又取引先ヨリ染地請取候節通ヒ判取帳を以其
時之直段書載致シ請取可申候尤右通ヒ帳面へ御規
則相守御證印請置可申候萬一相背候ハ、取締第一
之事ニ候間格別之過怠金取立可申事
一 新規ニ組合加入之者有之節同商業ノ内ニ元雇入相
成候ものニ有之候ハ、其雇主ヨリ申出候ハ格別無
其義本人直ニ頼出候ハ、一切取扱申間敷候且又懇
意之者より右同様の義申出候ハ、右申出候者を身
元請人ニ取置加入爲致可申候猶又手續無之者加入
之義頼出候ハ、是亦身元篤ト相糺慥成者ニ候ハ、
組合集議之上加入爲致可申候尤請人取置可申事
一 組分差別有之候得共組合内ニテ若外組望之者有之
兩組致度候ハ、取締へ申出集議之上取計可申事
一 取引先ニ寄不得心之不揚嵩ニ申立勝手ニ直引被致
候方有之候節取締へ相答置一日取引相休可申事右
相背候者ハ相場外取引同様之事

一 弟子雇入之義ハ兼テ規則有之候へ共猶嚴重取締可
致譯柄ニ付聊間違有之候者規則之通り同様取計可
致事
一 組合臨時事出來取計方之儀ハ取締立會之上可及談
示事
但一組ニ談合之儀有之候節ハ取締立會之上集會
可致事
一 組合取締筋寄合之節差圖之刻限無遲滯可致出席候
萬一差支等有之缺席致候ハ、一同熟談相極儀違
背致間敷事
一 組合都テ相談之儀ハ他言致間敷萬一相洩候者有之
候ハ、相當ノ過怠金取立可申事
一 組合諸入費之儀組々勘定方ヨリ割出度毎無遲滯出
金可致候若及遲滯候ハ、前之規則之内重キ廉同様
取計可致事
但割出之度毎勘定帳面巨細相認可申事

一 近火之節銘々早速馳付助成可致候若類焼之節ハ組合一統ヨリ相應之見舞可差送候且不幸之節ハ及聞候方ヨリ早速勘定方へ爲相知右同様取計可申候尤組合一同以回章通達可致事

右申合之廉々不相用組合取締相妨候者有之候ハ、事柄ニ依リ除帳可致義ニ付其後改心之上自儘ヲ詫致再入候ハ、相當ノ過意金取立可申事

但取締并勘定方懇意ノ廉を以依情之取計致開敷候若シ不行届之儀有之候ハ、取締勘定方ニ不拘前條同様取計可申事

染形貸藍蠟製造組合

規則書 (明治七年二月)

組合申合規則

一 今般同商業組合相立候儀ハ従前之株仲間御廢止ニ相成惡弊一洗之目途^也岐度不相立候テハ不相濟候次第ニ付新規營業のもの有之候節ハ速に加入爲致加入金并振舞料^也出金爲致候儀ハ決テ不相成總テ舊習ニ泥ミ候所業互ニ相戒時々御達相成候諸御布令堅ク可相守事

一 藍蠟製造之儀者染形ニ染付候藍ヲ以藍蠟を製候儀ニテ正路實直ヲ基トシ詐僞ヲ構ヘ不實ノ所業致開敷追年土地繁榮相成候様營業可致事

一 物品目方相増候もの不正路之品取交製造堅ク致す開敷事

一 物品腐敗致し又ハ不潔ニシテ人害可相成品一切取

扱堅致開敷事

一出所不分明之藍蠟其外之品姦賣之儀頼來候共買取申開敷事

一 組合中所藏ノ染板僞製并紛ハ敷製造堅致開敷勿論他ノ業體ヲ妨ケ不實ノ所業決テ致開敷事

一 傭人日雇人共定約年限暇受候もの又ハ不精勤ニテ暇出候もの先雇主承知の上ならては雇入堅致開敷事

一 組合中ニテ不時之損失等有之商業差支候節取締ニ申出取締におゐて事實取調可成丈ケ官裁ヲ不煩様取計萬一其意ニ難任次第ニ立至リ候ハ、區長へ申出俱々心配いたし雙方共商業取續ノ手段可致事

一 組合諸件取締之ため公撰入札を以取締人壹人相立一ケ年毎ニ交代可致事

一 組合諸入費ハ時々區長之檢印を受け取集可申尤一ケ年限リ計算明細書ヲ以テ組合中へ可申通事

一 組合加入亦ハ商業轉居有之節ハ御府廳へ御届奉申上名前帳へ張紙可致事

一 規則相背候もの有之節ハ自他之無差別取締へ申出衆議之上其輕重ニより至當之違約金取立可申犯則之件相重ク組合外れ候程ノ事件有之節ハ區長へ申出差圖を受可申事

但違約金之儀ハ其儘積立置半年毎ニ區長へ相届檢印を受可申事

一 組合規則相立候上ハ銘々互ニ約束を以事ヲ正路ニ取計可成丈官裁ヲ不煩様諸事下方ニテ協和ヲ旨トシ商業ヲ盛大ニスルノ意ヲ互ニ約シ互ニ守候事ニ付一切違背致開敷候依之連印ヲ以

御府廳へ御届奉申上其御保護ヲ希もの也
明治七年九月

第三大區四小區

立賣堀北通二丁目

津田 藤兵衛印
 同阿波座中通二丁目
 上田 治兵衛
 同阿波堀裏町
 後藤 新兵衛

組合申合規則

一 今般同商業組合相立候儀ハ從前ノ株仲間御廢止ニ相成惡弊一洗之目途岐度不相立候テハ不相濟次第ニ付新規營業之者有之節ハ速ニ無異議加入爲致加入金振舞料杯出金爲致候儀決テ不相成總テ舊習ニ泥ミ候所業互ニ相戒時々御達相成諸布令之趣キ堅相守可申事

一 組合商業蘭買入之儀諸間屋ヨリ入着案内次第組合へ申通一統立會物品善惡見改實義ヲ本トシ正路之

買入可致若賣方ト馴合詐僞ヲ構奸利ヲ奪イ候者有之候ハ、至當之取計可致事

一 總テ無縁ノ者物品持參買頼出候共猥ニ買入申間敷尤出所明白之品ニ候ハ、證人相立正路之買方致置其段組合へ申通可申若一己ノ利欲ニ迷ヒ密ニ賣買致候者有之候ハ、取締へ申出衆議之上至當ノ取計可致事

一 組合一統衆議有之候ハ、案内次第當人罷出可申若不得止差支候節ハ名代人可差出若不參シ後ヨリ一己ノ見込申出候共更ニ頓着致間敷事

一 寄合之節ハ不及申入札ノ節タリトモ奢侈ケ間鋪義堅致間敷事

一 組合入費之儀時々區長ノ檢印ヲ受取集可致尤半年毎計算明細書ヲ以組合一統へ報知可致事

一 總テ物品買入候度每物品員數并ニ買直段共組合帳面ニ記載シ後日右品取調等致候節不都合無之様可

致事

一 組合之内幼少ニテ相續致兼候者有之節ハ互ニ助ケ合懇ニ取續方世話可致事

一 組合諸事爲取締公撰入札ヲ以取締二人相立一ケ年限リ交代可致事

但毎年十二月後役ノ者入札差出可申事

一 取締役ノ義ハ組合爲筋ヲ以テ取定候義ニ付役料ケ間敷義ハ一切受申間敷事

一 規則相背候者有之節ハ取締迄申出衆議之上輕重ニ依リ至當ノ違約金可相立犯則ノ件々相重リ組合相外シ候程ノ事件有之節ハ區長へ申出可受差圖事

但違約金ノ義ハ半年毎ニ區長へ申達檢印請置可申事

一 組合加入亦ハ休商變宅名改致候節ハ其時々届出名前帳張替可申事

右之通規則相定候ハ全ク銘々互ニ約束ヲ以事ヲ正路

ニ取計可成文官裁ヲ煩ササル様諸事下方ニ於テ協和ヲ旨トシ商業盛大ニスルノ意ヲ互ニ約シ守ル事ニ付一切違背致間敷依之連印ヲ以御府廳へ御届其御保護ヲ希モノ也

明治七年六月十七日

蘭商組合惣代
 西大組第八區
 阿波座上通二丁目
 大藤 庄兵衛
 右 同 町
 大 島 儀 助
 右區内戸長
 田松 龜次郎

紅製造業仲間規約

明治十四年當府甲第二百二拾二號布達ニ基キ四區及
接近郡村同業者一同協議決定之上一致團結シ別紙仲
間規約ヲ相設ケ候ニ付御衆議被成下度此段相願候也

紅製造業取締

東區今橋一丁目十四番地
西川 仁右衛門印
東區内本町橋詰町五十三番地
山田豊吉代理
樞 本 由 兵 衛 印

大阪商法會議所御中

紅製造業仲間申合規約

一 去明治十四年十月大阪府甲第二百二拾二號布達ニ
基キ今般我仲間一致團結シ協議之上其規約ヲ設ク

ルコト左ノ如シ

第一章 總 則

- 第一條 我仲間ハ紅花ヲ以テ染紅又ハ粧紅ニ製造シ
之レヲ販賣シ或ハ染紅洋粉紅鬱金ヲ以テ木綿及紋
羽絹布麻苧絲類ヲ染ムルヲ以テ業トス
- 第二條 我仲間組合ハ大坂四區及接近郡村同業者ヲ
以テ團結組織スルモノトス
- 第三條 我同業仲間ハ組合ノ資格ヲ以テ營利事業ヲ
爲サ、ルモノトス
- 第四條 廢止業及代替リ轉住其他商業上ノ事ニ關シ
官府へ差出ス諸願伺届等ノ文書ニハ必ズ取締ノ證
印及所在ノ戸長ノ奥印ヲ受クベシ
- 第五條 我仲間中ニ於テ他ノ仲間ニ係ル物品ヲ取扱
フトキハ其部分ニ於テ該仲間へ兼業加入スベシ
- 第六條 我仲間ハ正副取締ニ於テ其名目ヲ記シタル
標札ヲ製シ各自之レヲ店頭ニ掲クベシ

第七條 我仲間ニ於テ一名ノ商業鑑札ヲ以テ支店或

ハ出店ト唱へ別戸分店スルヲ得ズ親族ノモノタリ
ト雖鑑札ヲ貸渡スヲ禁ズ若シ二三男或ハ雇人等ヲ
シテ分店シ同業ヲ營マシメント欲スルモノハ總テ
他人ノ新タニ加入スルニ比シキ手數ヲ盡シ同業仲
間ノ一人トスベシ

第八條 我仲間組合ノ事蹟及費用決算表ハ毎年六月
府廳へ届出スルモノトス

第九條 我仲間組合ノ事務所者東區今橋壹丁目十四
番地第一番戸ニ設置ス

第十條 我仲間ノ賣買取行ヲシテ確實鄭重ナラシメ
ンガ爲メ各自ニ染料仕入帳賣上帳荷物判取帳ヲ備
ヘ置クベシ

第十一條 我仲間費用ハ豫テ仲間會議ニ於テ賦課方
法ヲ議定シ其決議ニ從フテ徵收スルモノトス

第十二條 我仲間中ヨリ一名ヲ撰舉シ仲間中ノ委員

トシテ商法會議所ノ議員タラシメ仲間一般ニ代リ
發言投票ノ權ヲ委託スベシ

第十三條 前條ノ委員ハ仲間一般ニ代リ商法會議所
ノ議員タラシムルモノナレバ其商法會議所ニ於テ
當仲間商業上ニ係リ議決シタル件々ハ總テ仲間一
統遵守スベキモノトス

第十四條 我仲間規約ヲ改正増補セントスルトキハ
仲間會議ノ決ニ依リ商法會議所ノ公議ヲ經テ府廳
ノ認可ヲ得タル上實行スルモノトス

第十五條 我仲間中ニ於テ若シ違約及不正ノ所業ヲ
爲スノ聞アラバ懇切ニ説諭ヲ加ヘ改心セシムベシ
而テ尙ホ之レヲ用ヒズ其行跡著シキトキハ速ニ封
書ヲ以テ正副取締ノ内へ申告スベシ

第二章 取締撰舉及其權限

第十六條 我仲間中毎年六月投票ヲ以テ正副貳名ノ
取締ヲ撰舉スベシ

但接近郡村ハ最寄區ト合シ其取締人ヲ置クモノトス

第十七條 正副取締ノ就職或ハ交代ノ節ハ其都度新舊連署ヲ以府廳郡區役所及商法會議所ヘ届出ツベシ

第十八條 正副取締ノ在職年限ハ一ケ年トシ滿期改撰スベシ若シ再撰ニ當ルモノハ重任スルヲ得又缺員アルトキハ臨時撰舉シテ補充スルヲ得ト雖モ其當撰者ハ前任ノ期限ヲ以テ任期トスベシ

第十九條 正副取締ハ自カラ仲間會議ノ議員ヲ兼ヌルモノトス

第二十條 正副取締ハ仲間一般ノ事務ヲ總轄スベシ又仲間會議及商法會議所ニ於テ我仲間營業上ニ係リ議決シタル事柄ハ之レヲ遵守シテ其仲間中ニ實行スルノ權アルベシ

第廿一條 正副取締ハ仲間一般ノ爲メ營業上ニ利便

ヲ致サンコトヲ注意スベシ而テ假令小事ト雖モ仲間一般ニ係ル事柄ニ於テハ仲間會議ニ付シ其決議ヲ得テ施行スルモノトス

第廿二條 正副取締ハ同業者ノ連名簿ヲ製シ閉止業ノ人名ヲ簿中ニ記載シ轉任名前替及休止業等ハ之レヲ更正スベシ

第廿三條 正副取締ハ仲間中ノ閉止業者ハ一ケ月分ヲ纏メ翌月五日迄ニ之レヲ仲間中ニ廣告スベシ

第廿四條 正副取締ハ同業仲間中ニ違約及不正ノ所業ヲ爲ス者アルヲ認メ又ハ仲間中ヨリ之レヲ申告スル封書ノ出デタルトキハ尙ホ實際ヲ探索シ仲間中ノ會議ニ付シ第六章第四十二條ニ定ムル所ニ據テ其所置ヲ爲スベシ而テ其申告セシモノ、姓名ハ正副取締ノ外ヘ決シテ漏スベカラズ

第廿五條 我仲間ノ費用ハ常ニ節儉ヲ主トシ半年毎ニ一覽表ヲ作り仲間中ニ報告スベシ

第廿六條 我仲間費用帳簿ハ仲間中ノモノニシテ請求スルトキハ何時ニテモ之レヲ一覽セシムベシ

第廿七條 正副取締ト雖モ此規約ニ違背シタルトキハ總テ仲間一般ノモノト同シク處置スベシ

第三章 仲間議員撰舉法及其權限

第廿八條 我仲間中投票ヲ以テ五名ノ議員ヲ撰定スベシ

第廿九條 仲間議員ノ在職年限ハ一ケ年トシ滿期改撰スベシ若シ再撰ニ當ルモノハ重任スルヲ得又タ缺員アルトキハ臨時撰舉シテ補充スルヲ得ルト雖モ其當撰者ハ前任ノ期限ヲ以テ任期トス

第三十條 仲間議員ハ定式臨時ノ仲間會議ニ於テ仲間一般ニ代リ其利害得失ヲ審議シ及違約者處分等一切ノ事ヲ議定スルノ權アルベシ然レトモ其議決ノ施行ハ正副取締ノ職掌ニシテ議員直チニ之レヲ實行スルヲ得ズ

第卅一條 我仲間ノ委員トシテ商法會議所ノ議員タラシムルモノナレバ仲間議員中ヨリ投票ヲ以テ之レヲ撰定スベシ

第四章 他ノ仲間ヘ對スル關係措置法

第卅二條 我仲間ニテ專業トスル一部ヲ他ノ仲間ニ於テ取扱フモノハ我仲間ヘ加入セシムベシ又我仲間ニ於テ他仲間ノ營業ノ一部ヲ取扱フモノハ其仲間ヘ加入セシムベシ

第卅三條 我仲間ニ於テ取扱物品中粉紅ハ小開物商仲間ニ於テ小賣スルモ妨ケナシ

第卅四條 小粉染屋ト唱ヘ行々紅染并鬱金染スルモノハ妨ナシト雖モ若シ之レヲ自宅ニ於テ問屋仲買ヨリ委託ヲ受ケ多數賃染スルモノハ必ス我仲間ヘ兼業加入スベシ

第卅五條 我仲間ニ於テ他ノ仲間ノ關係ニ依リ紛議ヲ生シ和解ニ至ラザルトキハ商法會議所ノ公議ヲ

請ヒ其議決ノ旨ニ遵フベシ

第五章 自他ノ公害ヲ豫防スルノ方法

第卅六條 我仲間中私利ニ奔リ奸策ヲ用ヒ仲間營業上ノ妨害ヲ爲シ或ハ他ノ仲間ノ障害ヲナスモノハ仲間會議ノ上相當ノ處分ヲナスベシ

第卅七條 我仲間中ニ於テ他ノ商業上ニ影響スベキ物品ノ價格ヲ非常ニ競争シ又ハ龔惡ノ物品ヲ製造シ自他ノ公害ヲ來タス所爲アルモノト認ムルトキハ正副取締ノ内ヘ申告スベシ

第卅八條 賣品染價不拂者アリテ示談整ハザル節ハ其人名ヲ正副取締ヘ申告シ正副取締ハ事實聞糺シ不拂者ノ住所姓名ヲ我仲間中ニ通告シ各自之レヲ店頭ニ掲ケ置キ示談行届マテ其者ト取引ヲ爲スベカラズ

但示談行届キタルトキハ直チニ其旨正副取締ヘ申告スベシ正副取締ハ之レヲ仲間中ヘ通告シ其

不拂人名書ヲ除去セシムベシ

第卅九條 我仲間中違約者又ハ不正者アリテ取引中止或ハ取引止メヲナシ其旨ヲ店內ニ掲ケタルトキハ關係アル他ノ仲間ヘ其巨細ヲ通知スベシ又他ノ仲間ヨリ右ノ如キ報告ヲ得タルトキハ我仲間中其者ト取引ヲサバブルベシ

第四十條 仲間外ノモノニシテ不正ノ所業ヲナシ夫レガ爲メ仲間中ニ於テ損害ヲ請ケ仲間中其者ト取引ヲ禁シタルトキハ關係アル他ノ仲間ヘ報告スベシ又タ他ノ仲間ヨリ右之如キ報告ヲ得タルトキハ我仲間ニ於テモ其者ト取引ヲサバブルベシ

第四十一條 我仲間中ノ雇人ノ都合ノ事アツテ暇ヲ出ストキハ雇主ヨリ其旨ヲ正副取締ヘ届出デ正副取締ハ之レヲ仲間中ニ廣告スベシ又其雇主ヨリ直チニ廣告ストモ其便宜ニ從フベシ而テ其者ハ仲間中互ニ雇入ル、ヲ得ス

但事情輕クシテ舊雇主ニ於テ差支ナキ旨ヲ述ルトキハ此限ニアラズ又假令差支アリトスルモ其

意私怨偏頗ニ出ルトキハ仲間中協議之上之レヲ雇入ル、ヲアルベシ

第六章 違約者處分法

第四十二條 我仲間ニ違約又ハ不正ノ所業ヲ爲シタルモノハ都テ仲間會議ノ議決ニ從ヒ其輕重ヲ定メ左ニ列記スル箇條ニ依リ處分スルモノトス

但シ其事柄ノ最モ重キハ會議ノ決ニ依リ數條ヲ併用スルヲアルベシ

一 三圓ヨリ少カラズ三十圓ヨリ多カラザル違約金ヲ出サシムル

二 取引中止或ハ取引止ヲナシ之レヲ仲間中ニ通知スル

三 取引中止或ハ取引止ノ旨ヲ仲間中各店内ニ掲クル

四 取引中止或ハ取引止メノ旨ヲ仲間中各店内ニ掲ケ尙ホ關係アル他ノ仲間ヘ通知スル

五 其筋ヘ申告スル

第七章 仲間會議事務章程

第四十三條 仲間會議ハ第三章ノ正式ニ據リ撰舉シタル仲間議員正副取締ヲ以成立ツモノトス

第四十四條 仲間會議ハ定式臨時ノ別ナク其決議シタル事柄ハ仲間一般之レヲ遵守スベキ義務アルモノトス

第四十五條 正副議長ハ議員中ヨリ公撰スルモノトス

第四十六條 定式會ハ一ケ年毎ニ一回ツ、正副取締ノ定ムル場所ニ於テ開設スベシ

第四十七條 臨時會ハ正副取締或ハ議長ノ考按ニ據ル乎又ハ議員半數以上ノ請求ニ依リテハ何時ニテモ之レヲ開クヲ得ルモノトス

第四十八條 定式臨時會トモ其人員半數以上出席セザレバ開會スルヲ得ズ

第四十九條 總テ會議ハ同說ノ多數ヲ以テ之レヲ決スベシ可否相半スルトキハ議長之レヲ決スベシ

第五十條 會議決議ハ之レヲ正副取締ヘ報告シ正副取締ニ於テ其施行ヲナスモノトス

右第五十條ノ規約ハ我同業仲間一致團結シ協議ノ上商法會議所ノ公議ヲ經而シテ府廳ノ認可ヲ請ケ取極タルモノナレハ仲間一般ニ於テ確守履行スルノ證トシテ此ニ各自姓名ヲ記シ調印スルモノ也

東區今橋壹丁目十四番地
西川仁右衛門 印

東區內本町橋詰町五十三番地
山田豐吉代理 印

廢業 榎本由兵衛 印

南區末吉橋通壹丁目五番地

田中彌介 印

東區北濱壹丁目十七番地
中野大右衛門 印

北區若松町九番地築山甚治郎後見
谷口五十八郎廢業築山喜兵衛 印

東區內本町橋詰町三番地
村田久兵衛 印

東區豊後町四番地
加藤孫七 印

北區堂島裏貳丁目五十六番地
廢業 辻田佐兵衛 印

東區北濱三丁目二十番地
手塚幸介 印

北區堂島裏三丁目二十五番地
吉岡奈良吉 吉岡松兵衛 印

東區材木町十二番地

南部又右衛門 印

西區江戶堀北通四丁目廿番地
廢業 戶部安右衛門 印

外ニ八名

仲 閉 規 約 達 (明治十四年)

何々業

明治十四年十月大阪府廳甲第二百二十二號ノ布達ニ基キ今般我同業者一致團結シ協議ノ上其規約ヲ設クルコト左ノ如シ

第一章 總 則

第一條 我カ何々業ハ何々品ヲ何々スルヲ以テ業トス

第二條 開止業及ヒ代替轉任其他商業上ノ事ニ關シ

官府ヘ差出ス諸願伺届等ノ文書ハ必ス取締ノ證印及ヒ所在戸長ノ奥印ヲ受クヘシ

第三條 我仲間ニ於テ他ノ仲間ニ係ル物品(事柄)ヲ取扱フトキハ其部分ニ於テハ該仲間ヘ兼業加入スヘシ

第四條 我仲間ハ取締ニ於テ其營業ノ名目ヲ記載シタル標札ヲ製シ各自之レヲ店頭ニ掲クヘシ

第五條 我仲間ニ於テハ一名ノ營業鑑札ヲ以テ支店或ハ出店ト唱ヘ別戸分店スルヲ得ス親屬ノモノト雖トモ鑑札ヲ貸渡スヲ禁ス若シ二三男或ハ傭人等ヲシテ分店シ同業ヲ營マシメント欲スルモノハ總テ他人ノ新タニ加入スルニ比シキ手數ヲ盡シ同業仲間中ノ一人トスヘシ

第六條 我カ仲間ノ費用ハ豫ネテ仲間會議ニ於テ賦課方法ヲ議定シ其決議ニ從フテ徵收スヘシ

第七條 我カ仲間中ヨリ何名ヲ撰舉シ仲間中ノ委員

トシテ商法會議所ノ議員タラシメ仲間一般ニ代リ發言投票ノ權ヲ委託スヘシ

第八條 前條ノ委員ハ仲間一般ニ代リテ商法會議所ノ議員タラシムルモノナレハ其商法會議所ニ於テ當仲間營業上ニ係リ議決シタル件々ハ總テ仲間一統遵守スヘキモノトス

第九條 我仲間規約ヲ改正増補セントスルトキハ仲間會議ノ決ニ依リ商法會議所ノ公議ヲ經府廳ノ認可ヲ得タル上實行スルモノトス

第十條 我仲間中ニ於テ若シ違約及ヒ不正ノ所業ヲ爲スノ聞ヘアラハ懇切ニ説諭ヲ加ヘ改心セシムヘシ而シテ尙ホ之ヲ用キス其行跡彌々著シキトキハ速カニ封書ヲ以テ取締ニ申告スヘシ

第二章 取締撰舉法及ヒ其權限

第十一條 我仲間中投票ヲ以テ一區毎ニ何名ノ取締ヲ撰舉スヘシ

但シ接近郡村ハ最寄區ト合シテ取締人ヲ置クモノトス

第十二條 撰舉セラレタル取締ハ互ノ投票ヲ以テ取締ノ中ヨリ總取締一名(副總取締何名)(若シコレアラハ)ヲ撰舉スヘシ

第十三條 正副總取締及ヒ取締ノ就職或ハ交代ノ節ハ其都度新舊連署ヲ以テ府縣郡區役所及ヒ商法會議所ヘ届出ヘシ

第十四條 正副取締及ヒ取締ノ在職年限ハ何ケ年トシ滿期改撰スヘシ若シ再撰ニ當ルモノハ重任スルヲ得(或ハ得^〇)又缺員アルトキハ臨時撰舉シテ補充スルヲ得ルト雖トモ其當撰者ハ前任ノ期限ヲ以テ任期トスヘシ

第十五條 (仲間ノ便宜ニ依リ正副總取締及ヒ取締ハ自カラ仲間會議ノ議員ヲ兼ヌルモノナレハ此ニ其條ヲ掲クヘシ)

第十六條 總取締ハ仲間一般ノ事務ヲ總轄スヘシ又仲間會議及ヒ商法會議所ニ於テ當仲間營業上ニ係リ議決シタル事柄ハ之ヲ遵守シテ其仲間中ニ實行スルノ權アルヘシ(副總取締ハ總取締病氣其他ノ事故アリテ缺勤ストキハ之レカ代理ヲナスヘシ)

取締ハ其區内同業者ノ事務ヲ調理シ仲間一般ニ關スル事件ハ之レヲ總取締ニ申達スヘシ

第十七條 正副總取締及ヒ取締ハ常ニ仲間一般ノタメニ營業上利便ヲ致サン^レヲ注意スヘシ而カシテ假令小事ト雖トモ仲間一般ニ係ル事柄ニ於テハ仲間會議ニ付シ其決議ヲ得テ施行スヘシ

第十八條 取締ハ一區内同業者ノ連名簿ヲ製シ開業ノ人名ヲ簿中ニ記載シ轉任名前替及ヒ休止業等ハ之ヲ更正スヘシ

第十九條 取締ハ仲間中ノ開止業者ハ一ヶ月分ヲ纏メテ翌月何日迄ニ總取締ニ申達スヘシ總取締ハ又

之ヲ仲間中ニ廣告スヘシ

第二十條 正副總取締及ヒ取締ハ同業仲間中ニ違約及ヒ不正ノ所業ヲナスモノアルヲ認メ又ハ仲間中ヨリ之ヲ申告スル封書ノ出テタルトキハ猶ホ實際ヲ探索シ仲間中ノ會議(違約或ハ不正者及ヒ其連累ト認ムルモノヲ除キ)ニ附シ第何章ノ第何條ニ定ムル所ニ據テ其處置ヲ爲スヘシ而カシテ其申告セシモノ、姓名ハ取締ノ外ヘ決シテ漏スヘカラス

第廿一條 我仲間ノ費用ハ常ニ節儉ヲ主トシ遺拂ヲ明細ニ記載シ月々(半季)一覽表ヲ作り仲間中ニ報告スヘシ

第廿二條 我仲間費用ノ諸帳簿ハ仲間中ノモノニテ請求スルトキハ何時ニテモ之レヲ一覽セシムヘシ